

1.0

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

# 医療需給総覧 version 1.0

地域分析

## 愛知県 | 名古屋・尾張中部医療圏

(医療圏コード：2313)

# 目次

## 1. 地域の概況

- 二次医療圏の概況
- 二次医療圏における人口変化率の推計
- 医療機関別の許可病床数
- 医療機関の指定状況

## 2. 医療提供体制の概況

- 人口10万人あたり医療機関数・病床数
- 人口10万人あたり医療従事者数の比較
- 都道府県内の医療圏の医師偏在指標
- 都道府県別の医師偏在指標
- 診療科別医師数
- 病床数及び診療実績の推移
- 地域の入院患者数と平均在院日数
- 医療機関別職員数
- 病床機能別の病床数の推移と必要病床数
- 病床機能別・医療機関別の許可病床数
- 入院料別病床数（病院のみ）
- 二次医療圏別の1日平均入院患者数
- 二次医療圏別の流出入状況（DPC症例数）
- 患者流出入状況の年度推移（DPC症例数）
- MDC別退院患者数の推移

## 3. 医療需要の将来推計

- 人口推計
- 高齢化の状況
- 1日平均患者数
- 受療率の比較
- ICD別の患者数推計・増減率
- 精神病床の1日平均患者数
- DPC患者数の推計
- DPC症例数と平均入院期間の推移
- 手術件数の推計
- 疾患別患者数の推計（悪性腫瘍・脳卒中・虚血性心疾患・糖尿病）
- 在宅医療の需要推計（患者数・算定回数）
- 要介護者数の推計（年齢区分・要介護度別）

## 4. 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

- ポジショニングマップ
- 入退棟経路の傾向
- 救急車受入を行う病院の概要
- 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数
- 救急医療の提供状況
- 救急医療の提供状況の類似区域との比較
- DPC対象病院における平均在院日数
- MDC別退院患者数および医療機関シェア
- DPC退院患者数のシェア

# 1/ 地域の概況

---

人口動態や地理特性から、地域の特性を把握する。

高齢化率の推移

生産年齢人口

可住地面積比率

人口構造等の地域の特徴を全国平均との比較や、  
基幹的な役割を担う医療機関を確認することで、医療圏内の地域特性を把握する。

# 愛知県 | 二次医療圏の概況

都道府県内の二次医療圏の人口および面積を整理しています。

医療計画においては、二次医療圏の人口が20万人未満、かつ、二次医療圏内の病院の流入患者割合が20%未満かつ流出患者割合が20%以上の場に見直しの検討が必要とされています。

二次医療圏	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	可住地面積割合 (%)
海部	325,234	208.47	1,560.1	100%
尾張東部	475,816	230.14	2,067.5	66%
尾張西部	514,824	193.17	2,665.1	100%
尾張北部	735,278	295.96	2,484.4	80%
知多半島	628,495	392.20	1,602.5	90%
西三河北部	484,282	950.51	509.5	34%
西三河南部西	701,627	363.76	1,928.8	93%
西三河南部東	427,103	443.92	962.1	42%
東三河北部	52,751	1,052.43	50.1	13%
東三河南部	695,479	671.04	1,036.4	74%
名古屋・尾張中部	2,501,526	368.41	6,790.1	97%
愛知県 計	7,542,415	5,170.01	1,458.9	58%
全国	126,146,099	372,864.20	338.3	33%

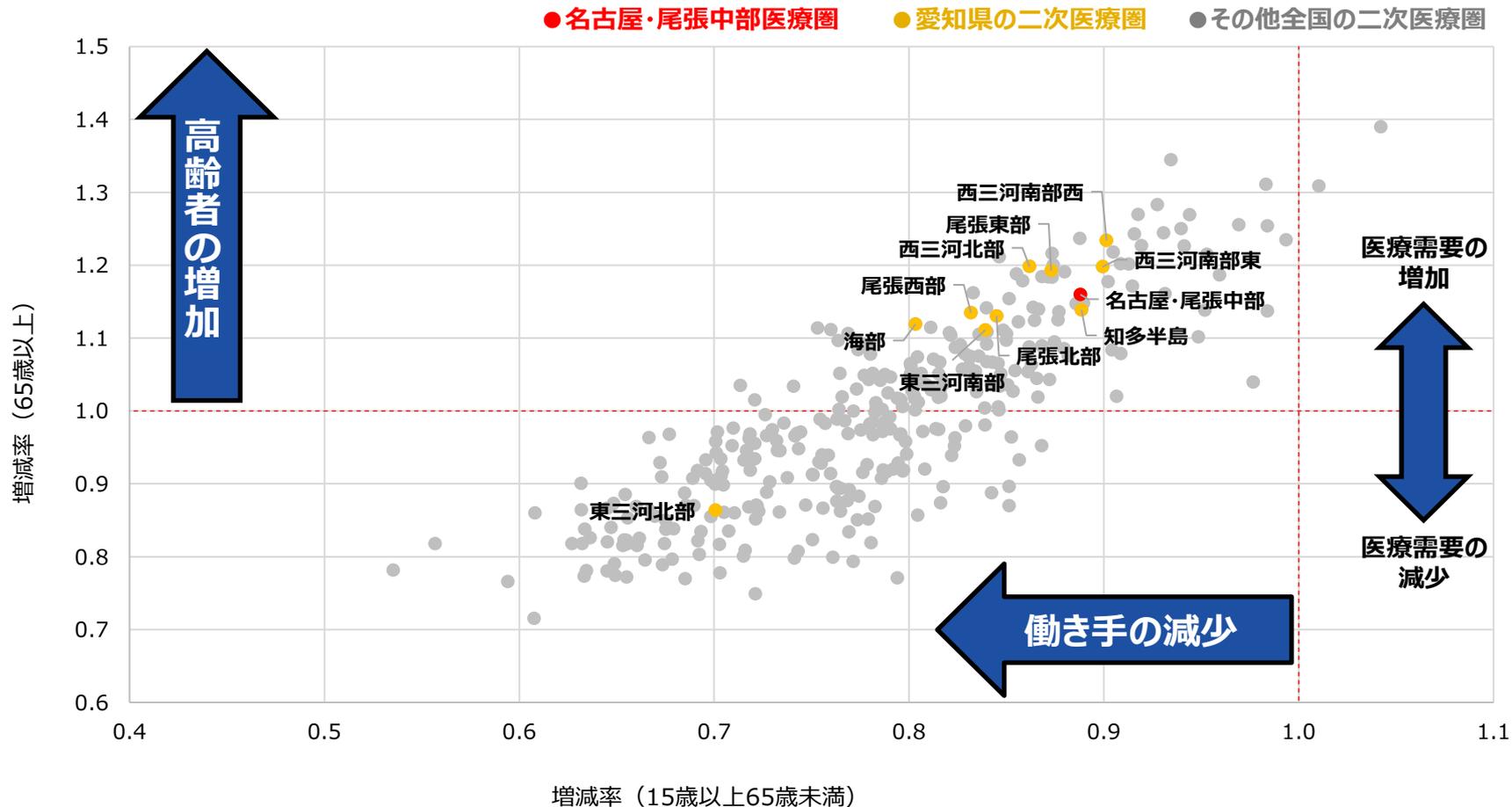
\* 可住地面積とは、総面積(北方地域および竹島を除く)から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出したもの

出典：「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

：「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局)2020年度

# 愛知県 | 二次医療圏における人口変化率の推計（2025年～2050年）

高齢者の増減割合と生産年齢人口の増減割合の2軸で、全国の二次医療圏における当該医療圏の立ち位置を示しています。需給の変化に対して医療提供体制を確保できるか、という観点で課題を整理する必要があります。



# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



No	医療機関名	市町村名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答	総計
1	名古屋大学医学部附属病院	名古屋市昭和区	1,030					1,030
2	日赤 名古屋第二病院	名古屋市昭和区	804					804
3	愛知県がんセンター	名古屋市千種区	8	492				500
4	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	名古屋市千種区	274	214				488
5	NHO東名古屋病院	名古屋市名東区		42	92	155	41	330
6	聖霊病院	名古屋市昭和区		149	34		15	198
7	KKR東海病院	名古屋市千種区		120	46			166
8	紘仁病院	名古屋市守山区				133	28	161
9	名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院	名古屋市名東区			36	104		140
10	吉田病院	名古屋市千種区		57		51		108
11	守山いつき病院	名古屋市守山区		58		43		101
12	メイトウホスピタル	名古屋市名東区		40	42	19		101
13	和田内科病院	名古屋市千種区			31	47		78
14	星ヶ丘マタニティ病院	名古屋市千種区		58				58
15	木村病院	名古屋市名東区			58			58
16	川島病院	名古屋市守山区			56			56
17	すぎやま病院	名古屋市名東区				55		55
18	ちくさ病院	名古屋市千種区			53			53
19	かわな病院	名古屋市昭和区			53			53
20	はちや整形外科病院	名古屋市千種区		52				52
21	いのこし病院	名古屋市名東区				52		52
22	愛知学院大学歯学部附属病院	名古屋市千種区		44				44
23	安井病院	名古屋市昭和区			38			38
24	昌峰会 加藤病院	名古屋市千種区			34			34
25	白楊会病院	名古屋市名東区					24	24
26	守山友愛病院	名古屋市守山区				20		20
	総計		2,116	1,326	573	679	108	4,802

※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



No	医療機関名	市町村名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答	総計
1	NHO名古屋医療センター	名古屋市中区	518	100				618
2	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	名古屋市北区	261	239				500
3	名鉄病院	名古屋市中区	12	361				373
4	KKR名城病院	名古屋市中区	6	273	47			326
5	重工大須病院	名古屋市中区		70	180			250
6	総合上飯田第一病院	名古屋市北区		196	40			236
7	愛知県済生会リハビリテーション病院	名古屋市中区			199			199
8	愛知県青い鳥医療療育センター	名古屋市中区				170		170
9	AOI名古屋病院	名古屋市中区		48	48	71		167
10	大隈病院	名古屋市北区		81	76			157
11	勝又病院	名古屋市中区				118		118
12	上飯田リハビリテーション病院	名古屋市北区			98			98
13	中日病院	名古屋市中区			42	51		93
14	名古屋市重症心身障害児者施設	名古屋市北区				90		90
15	名春中央病院	名古屋市北区			32	52		84
16	すみれ会中央病院	名古屋市中区				81		81
17	名古屋ハートセンター	名古屋市中区	64					64
18	眼科杉田病院	名古屋市中区		60				60
19	横山記念病院	名古屋市中区				56		56
20	米田病院	名古屋市中区		54				54
21	北病院	名古屋市北区		52				52
22	眼科三宅病院	名古屋市北区		48				48
23	橋本内科	名古屋市中区				27		27
	総計		861	1,582	762	716	0	3,921

※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



No	医療機関名	市町村名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答	総計
1	名古屋市立大学病院	名古屋市瑞穂区	725	47				772
2	JCHO中京病院	名古屋市南区	459	202				661
3	名古屋記念病院	名古屋市天白区	145	271				416
4	大同病院	名古屋市南区	311	83				394
5	南生協病院	名古屋市緑区		301			12	313
6	並木病院	名古屋市天白区				212		212
7	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	名古屋市緑区		100	105			205
8	相生山病院	名古屋市緑区		56	54	52		162
9	名南病院	名古屋市南区		158				158
10	新生会第一病院	名古屋市天白区		48		96		144
11	第一なるみ病院	名古屋市緑区		42	88			130
12	笠寺病院	名古屋市南区			128			128
13	野垣病院	名古屋市瑞穂区		99				99
14	善常会リハビリテーション病院	名古屋市南区			95			95
15	小松病院	名古屋市南区			48	42		90
16	名古屋市総合リハビリテーションセンター-附属病院	名古屋市瑞穂区			80			80
17	山口病院	名古屋市南区		60				60
18	名南ふれあい病院	名古屋市南区			60			60
19	南医療生協かなめ病院	名古屋市南区			60			60
20	平岩病院	名古屋市緑区			60			60
21	八事病院	名古屋市天白区			60			60
22	プラザ-記念病院	名古屋市瑞穂区				59		59
23	北村病院	名古屋市南区			43			43
24	稲熊病院	名古屋市瑞穂区				34		34
25	西本病院	名古屋市瑞穂区				32		32
	総計		1,640	1,467	881	527	12	4,527

※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



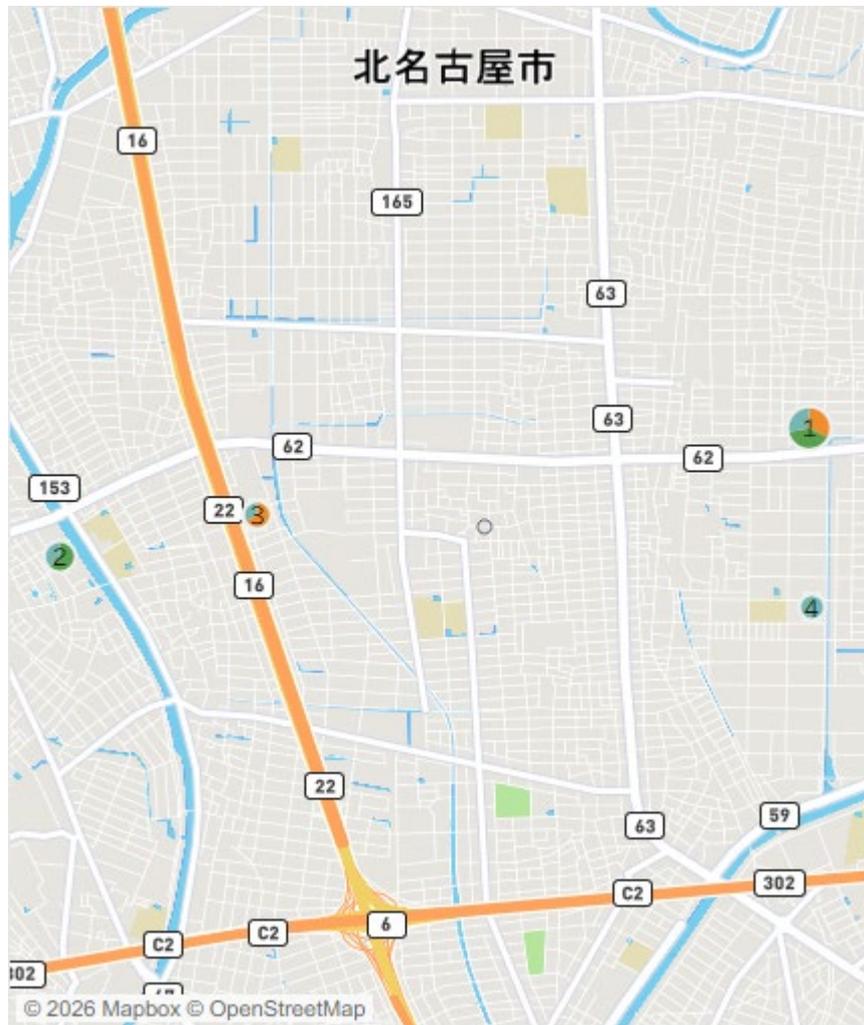
No	医療機関名	市町村名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答	総計
1	日赤 名古屋第一病院	名古屋市中村区	783	35			34	852
2	名古屋掖済会病院	名古屋市中川区	379	204		19		602
3	中部労災病院	名古屋港区	10	411			128	549
4	協立総合病院	名古屋熱田区		308	16		110	434
5	藤田医科大学ばんだね病院	名古屋市中川区	190	180				370
6	まつかげシニアホスピタル	名古屋市中川区			56	232		288
7	八田なみき病院	名古屋市中村区				207		207
8	名古屋セントラル病院	名古屋市中村区	18	180				198
9	名古屋港湾福祉厚生協会臨港病院	名古屋港区		142		44		186
10	熱田リハビリテーション病院	名古屋熱田区			160			160
11	名古屋共立病院	名古屋市中川区		111	45			156
12	鶴飼リハビリテーション病院	名古屋市中村区			150			150
13	東洋病院	名古屋港区			42	88		130
14	鶴飼病院	名古屋市中村区		60		60		120
15	城西病院	名古屋市中村区			60	60		120
16	名古屋西病院	名古屋市中川区			56	56		112
17	増子記念病院	名古屋市中村区		102				102
18	幸会南陽病院	名古屋港区		51		48		99
19	あずまりハビリテーション病院	名古屋港区			90			90
20	富田病院	名古屋市中川区				60		60
21	名古屋泌尿器科病院	名古屋市中川区			59			59
22	三恵会服部病院	名古屋熱田区			56			56
23	春田仁愛病院	名古屋市中川区				56		56
24	共愛病院	名古屋市中川区				52		52
25	大菅病院	名古屋市中村区		48				48
26	水谷病院	名古屋熱田区		47				47
27	岩田病院	名古屋市中村区		46				46
28	広徳会 佐藤病院	名古屋市中川区				41		41
29	かいせい病院	名古屋市中川区		41				41
30	大平病院	名古屋市中川区				29		29
	総計		1,380	1,966	790	1,052	272	5,460

※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



No	医療機関名	市町村名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答	総計
1	済衆館病院	北名古屋市		108	130	93		331
2	五条川リハビリテーション病院	清須市			100	60		160
3	はるひ呼吸器病院	清須市		80		40		120
4	光寿会リハビリテーション病院	北名古屋市				100		100
	総計		0	188	230	293	0	711

※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	名古屋大学医学部附属病院	1,080	大学			地域	総合	地域拠点	PSC	
2	紘仁病院	940								
3	日赤 名古屋第二病院	806	特定	○	○	地域	総合	地域拠点	PSCコア	
4	愛知県がんセンター	500	標準					都道府県拠点		
5	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	498	特定	○	○	地域			PSCコア	
6	もりやま総合心療病院	484								
7	NHO東名古屋病院	370								
8	愛知県精神医療センター	273								
9	NHO東尾張病院	233								
10	杉田病院	208								
11	聖霊病院	198	標準							
12	精治寮病院	179								
13	KKR東海病院	166								支援病3
14	名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院	140								
15	吉田病院	108								支援病3
16	メイトウホスピタル	101								支援病2
17	守山いつき病院	101								支援病3
18	和田内科病院	78								支援病2
19	木村病院	58								支援病2
20	星ヶ丘マタニティ病院	58								
21	川島病院	56								支援病1
22	すぎやま病院	55								支援病2
23	かわな病院	53								支援病2
24	ちくさ病院	53								支援病2
25	いのこし病院	52								支援病3

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	はちや整形外科病院	52								
27	愛知学院大学歯学部附属病院	44								
28	安井病院	38								支援病3
29	昌峰会 加藤病院	34								
30	白楊会病院	24								
31	守山友愛病院	20								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	NHO名古屋医療センター	656	標準	○	○	地域		地域拠点	PSCコア	
2	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	500	標準	○		地域	地域	地域拠点		
3	名鉄病院	373	標準							在後病
4	KKR名城病院	326	標準	○						在後病
5	重工大須病院	250								在後病
6	総合上飯田第一病院	236	標準							
7	楠メンタルホスピタル	217								
8	愛知県済生会リハビリテーション病院	199								
9	愛知県青い鳥医療療育センター	170								
10	AOI名古屋病院	167								
11	大隈病院	157	標準						PSC	支援病3
12	勝又病院	118								支援病3
13	上飯田リハビリテーション病院	98								
14	中日病院	93								
15	名古屋市重症心身障害児者施設	90								
16	名春中央病院	84								
17	すみれ会中央病院	81								
18	名古屋ハートセンター	64								
19	眼科杉田病院	60								
20	横山記念病院	56								
21	米田病院	54								
22	北病院	52								支援病3
23	眼科三宅病院	48								
24	橋本内科	27								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	名古屋市立大学病院	800	大学		○	地域	総合	地域拠点	PSCコア	
2	JCHO中京病院	661	特定	○	○	地域		地域拠点	PSCコア	
3	八事病院	530								
4	名古屋記念病院	416	標準	○		地域				
5	大同病院	404	標準				地域		PSC	在後病
6	南生協病院	313	標準							在後病
7	あいせい紀年病院	218								
8	並木病院	212								
9	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	205	標準							在後病
10	笠寺精治療病院	180								
11	相生山病院	162								支援病 2
12	名南病院	158								支援病 2
13	新生会第一病院	144								支援病 1
14	第一なるみ病院	130								
15	笠寺病院	128								支援病 2
16	野垣病院	99								支援病 3
17	善常会リハビリテーション病院	95								
18	小松病院	90								支援病 3
19	山口病院	60								支援病 3
20	名南ふれあい病院	60								
21	南医療生協かなめ病院	60								
22	平岩病院	60								支援病 3
23	ブラザー記念病院	59								
24	北村病院	43								支援病 3
25	名古屋市総合リハビリセンター附属病院	39								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療支援病院	救命救急センター	災害拠点病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	稲熊病院	34								
27	西本病院	32								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	日赤 名古屋第一病院	852	特定	○	○	地域	総合	地域拠点	PSC	
2	名古屋掖済会病院	602	標準	○	○	地域			PSCコア	
3	中部労災病院	556	標準	○		地域			PSC	
4	松蔭病院	535								
5	協立総合病院	434	標準							
6	まつかげシニアホスピタル	380								
7	藤田医科大学ばんだね病院	370	標準	○					PSCコア	
8	北林病院	345								
9	八田なみき病院	207								
10	名古屋セントラル病院	198	標準						PSC	
11	名古屋港湾福利厚生協会臨港病院	186								
12	熱田リハビリテーション病院	160								
13	名古屋共立病院	156	標準							
14	鶴飼リハビリテーション病院	150								
15	東洋病院	130								支援病 1
16	鶴飼病院	120								支援病 3
17	城西病院	120								支援病 2
18	名古屋西病院	112								支援病 3
19	増子記念病院	102	標準							
20	幸会南陽病院	99								
21	あずまりリハビリテーション病院	90								
22	富田病院	60								
23	名古屋泌尿器科病院	59								
24	三恵会服部病院	56								支援病 3
25	春田仁愛病院	56								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	共愛病院	52								
27	大平病院	50								
28	大菅病院	48								
29	水谷病院	47								
30	岩田病院	46								
31	かいせい病院	41								支援病 2
32	広徳会 佐藤病院	41								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療支援病院	救命救急センター	災害拠点病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	済衆館病院	331	標準						PSC	在後病
2	五条川リハビリテーション病院	160								支援病 3
3	はるひ呼吸器病院	120								支援病 3
4	光寿会リハビリテーション病院	100								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

## 2/ 医療提供体制の概況

---

地域の医療提供体制を、医療資源の供給量や受療動向から整理する。

病床数

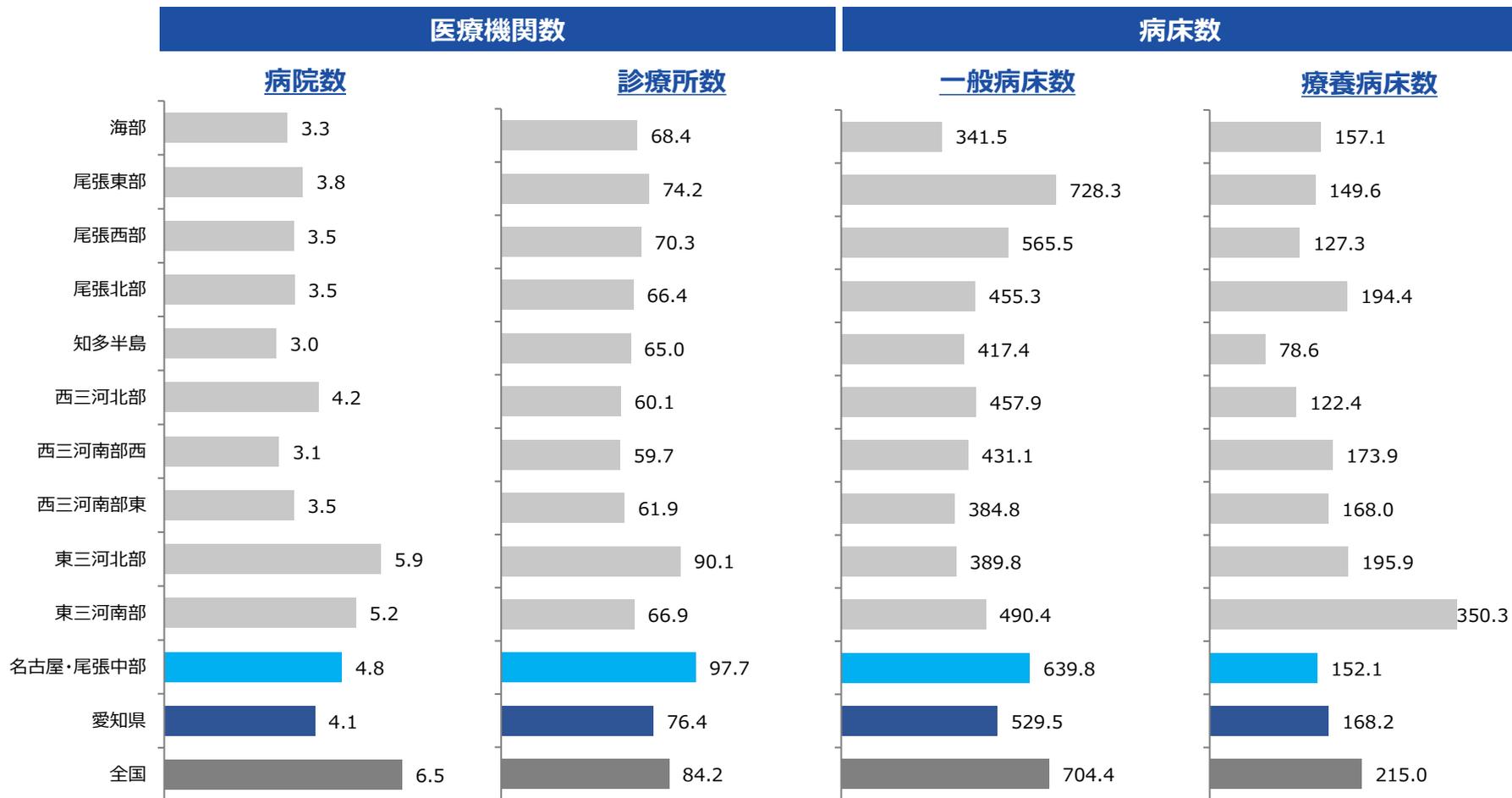
医師数

職種別人員配置

全国・県平均や医師偏在指標との比較から、地域の供給構造における不足や偏りを把握する。患者流出入や平均在院日数などを踏まえ、医療資源の効率性と機能分化の進展を評価する。

# 愛知県 | 人口10万人あたり医療機関数・病床数

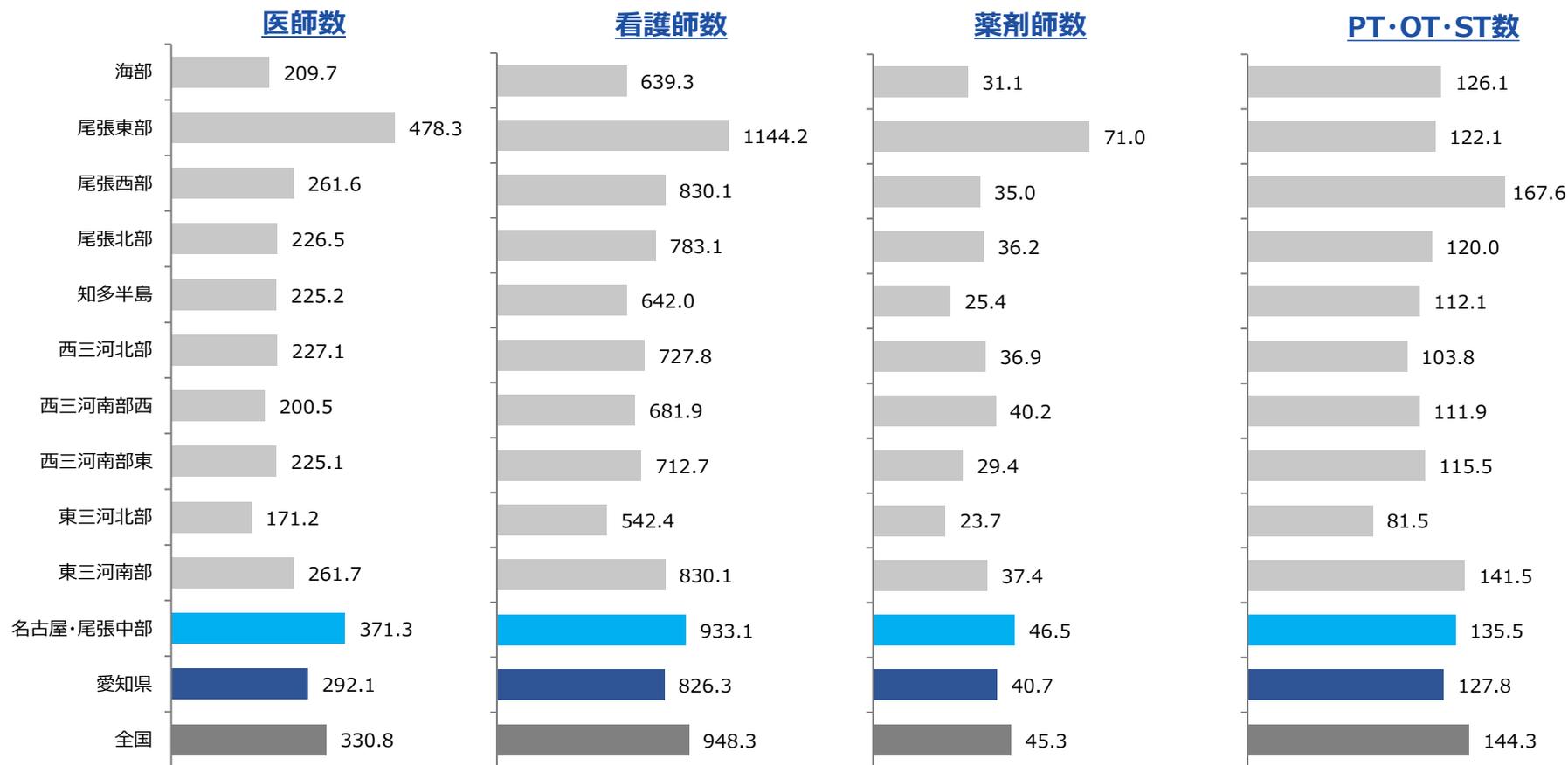
都道府県内二次医療圏の、人口10万人あたりの医療機関数と病床数を比較しています。  
 全国よりも病院数や病床数が多い場合には、医療資源が分散している可能性があります。  
 診療所が少ない場合は、かかりつけ医の確保が課題となっている可能性があります。



# 愛知県 | 人口10万人あたり医療従事者数の比較

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医療従事者数を比較しています。

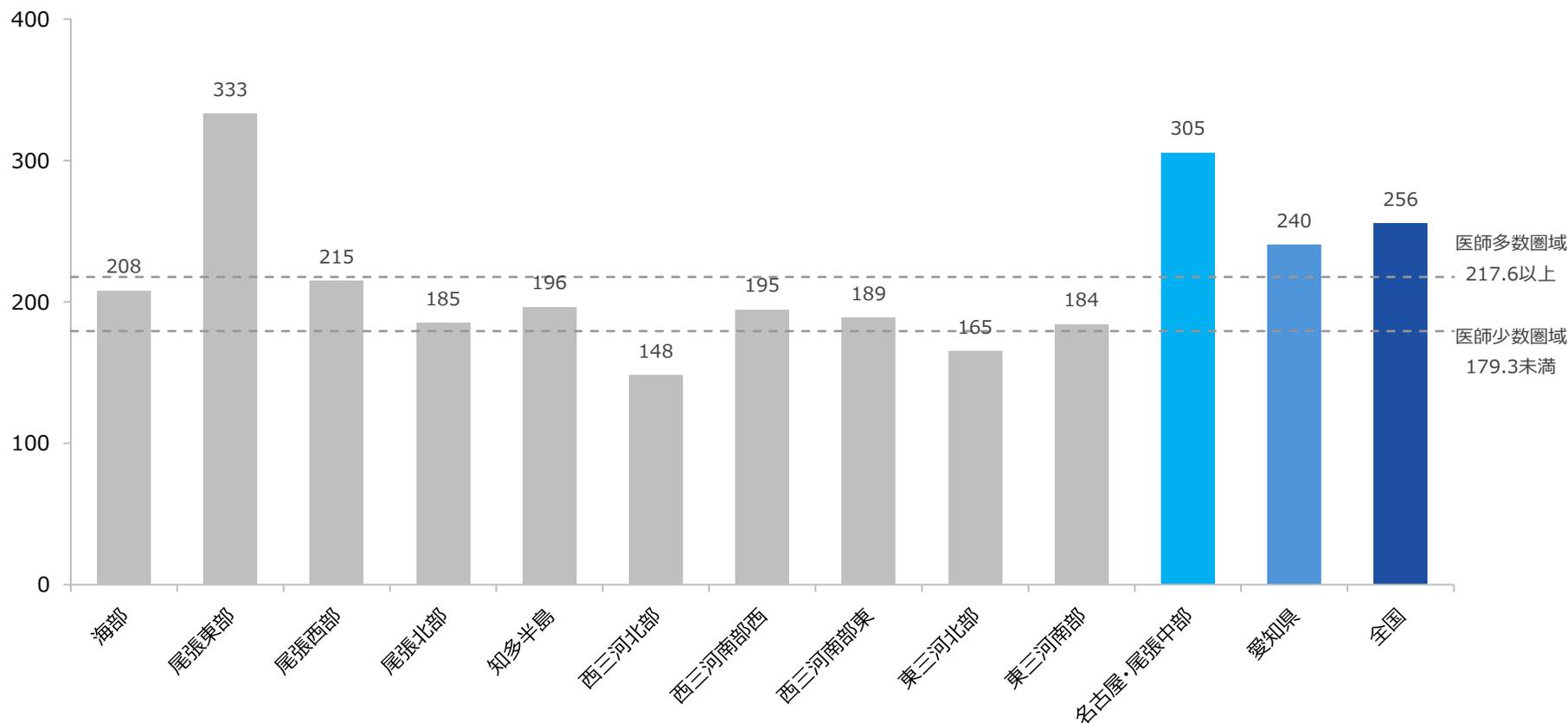
地域全体の医療従事者に不足がないかを確認し、医療従事者の確保が現状において困難となっていないか確認します。



# 愛知県 | 都道府県内の医療圏の医師偏在指標

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医師数を比較しています。

医師偏在指標は、患者の流出入等の患者動向や医師の年齢等の条件を調整し、全国の二次医療圏と患者数に対する医師のマンパワーを比較する指数となります。

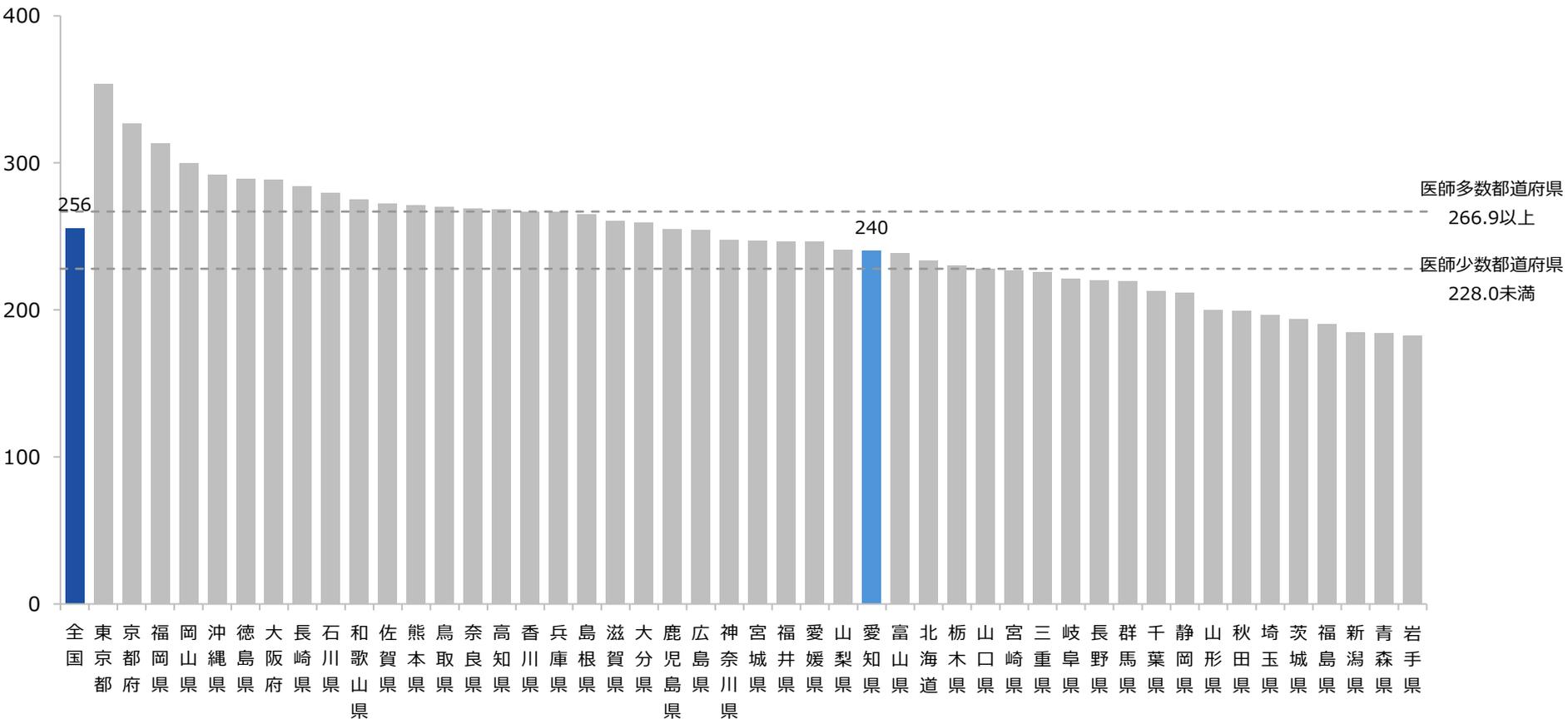


# 都道府県別の医師偏在指標

医師偏在指標を他の都道府県と比較しています。

都道府県全体で医師数が不足している場合、当該医療圏での医師確保は比較的困難となります。

当該医療圏以外の動向も含めて整理をする必要があります。



出典：「医師偏在指標関連データ（令和6年1月公表版）」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 診療科別医師数

当該医療圏の65歳以上人口10万人あたりの医師数を、診療科別で比較しています。

地域内に不足している診療科を確認できます。

区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		医療圏	全国	圏域-全国	割合	区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		
		医療圏	全国	圏域-全国	割合							医療圏	全国	圏域-全国	割合	
内科系	内科	213.3	86.5	126.8	+147%					小児・	小児科	67.7	25.2	42.5	+169%	
	呼吸器内科	33.5	9.9	23.6	+239%					周産期	小児外科	2.8	1.2	1.6	+134%	
	循環器内科	46.1	19.1	27	+142%						産婦人科	52.7	16	36.6	+228%	
	消化器内科(胃腸内科)	58.6	22.6	36.1	+160%						産科	2.3	0.7	1.6	+229%	
	腎臓内科	33.5	8	25.5	+320%						婦人科	10.6	2.9	7.7	+263%	
	脳神経内科	28.9	8.3	20.6	+250%					眼科・耳鼻・	眼科	60.9	19.2	41.8	+218%	
	糖尿病内科(代謝内科)	25.1	8.4	16.7	+197%					皮膚・美容	耳鼻いんこう科	39.3	13.3	26	+196%	
	血液内科	15.5	4.2	11.3	+267%						皮膚科	48.4	14.2	34.2	+241%	
	アレルギー科	0.5	0.3	0.2	+87%						美容外科	12.5	1.8	10.8	+611%	
	リウマチ科	6.6	2.7	3.9	+142%					麻酔・	麻酔科	41	14.6	26.3	+180%	
	感染症内科	1.8	0.9	0.9	+109%					集中治療系	救急科	12.1	5.5	6.5	+118%	
外科系	外科	40.5	18.1	22.4	+124%						集中治療科	1.8	1.3	0.5	+40%	
	呼吸器外科	7.4	3	4.4	+146%					放射線・	放射線科	31	10.3	20.7	+201%	
	心臓血管外科	13.2	4.6	8.6	+189%					検査系	病理診断科	9.1	3.2	5.9	+186%	
	乳腺外科	11.2	3.3	8	+245%						臨床検査科	1.7	0.9	0.7	+79%	
	気管食道外科	0.3	0.1	0.2	+127%					リハビリ	リハビリテーション科	10.7	4.4	6.4	+146%	
	消化器外科(胃腸外科)	23.1	8.2	14.9	+182%					精神	精神科	63.4	23.8	39.6	+166%	
	泌尿器科	24.8	11.2	13.6	+122%						心療内科	2.5	1.2	1.3	+103%	
	肛門外科	1.5	0.6	0.9	+135%					その他	その他	105.8	36.7	69.1	+188%	
	脳神経外科	27.9	10.6	17.3	+162%					総計	総計	1275.6	463.3	812.3	+175%	
	整形外科	77.1	31.8	45.3	+142%											
	形成外科	8.8	4.5	4.2	+93%											

出典：「令和6年医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）  
：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

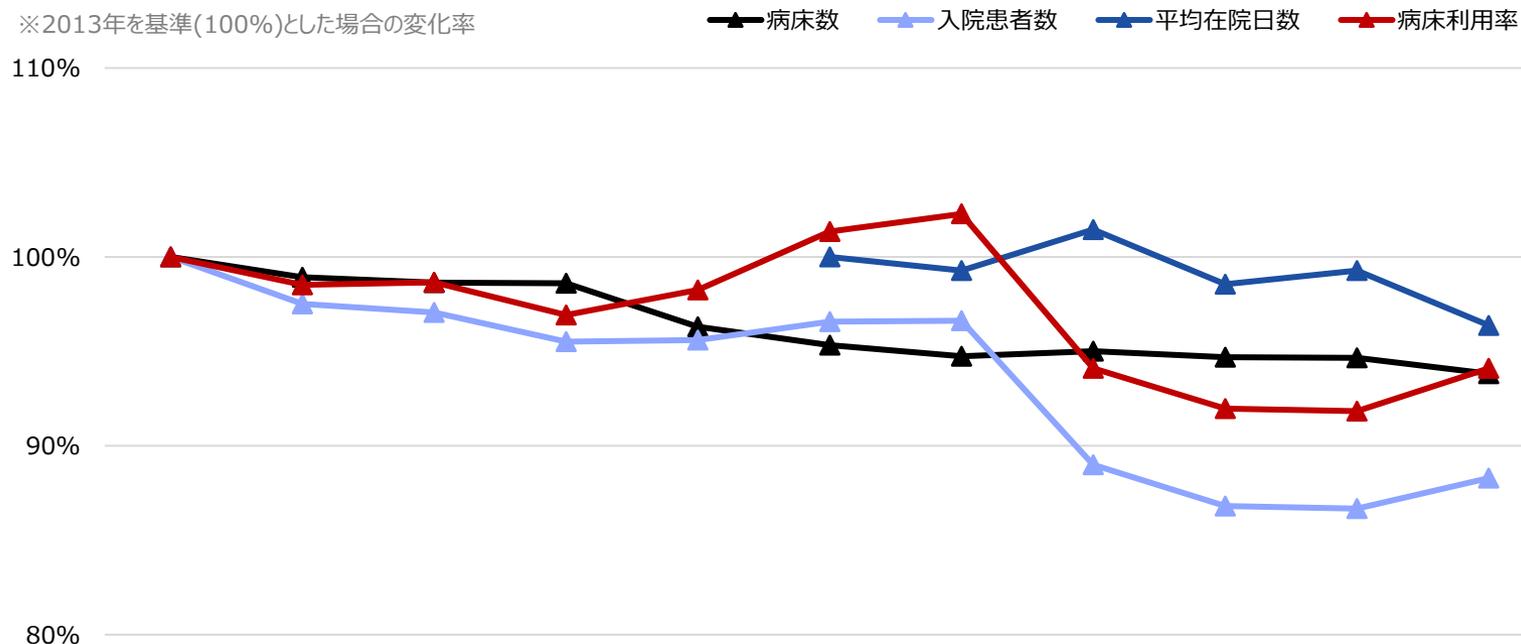
# 名古屋・尾張中部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般病床）

当該医療圏の一般病床における、診療実績の推移を示しています。

入院患者数が減少しているか、また、それが平均在院日数の短縮によるものかを確認します。

入院患者数の減少に合わせて病床数が減少しているか、病床利用率が低下していないか確認します。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



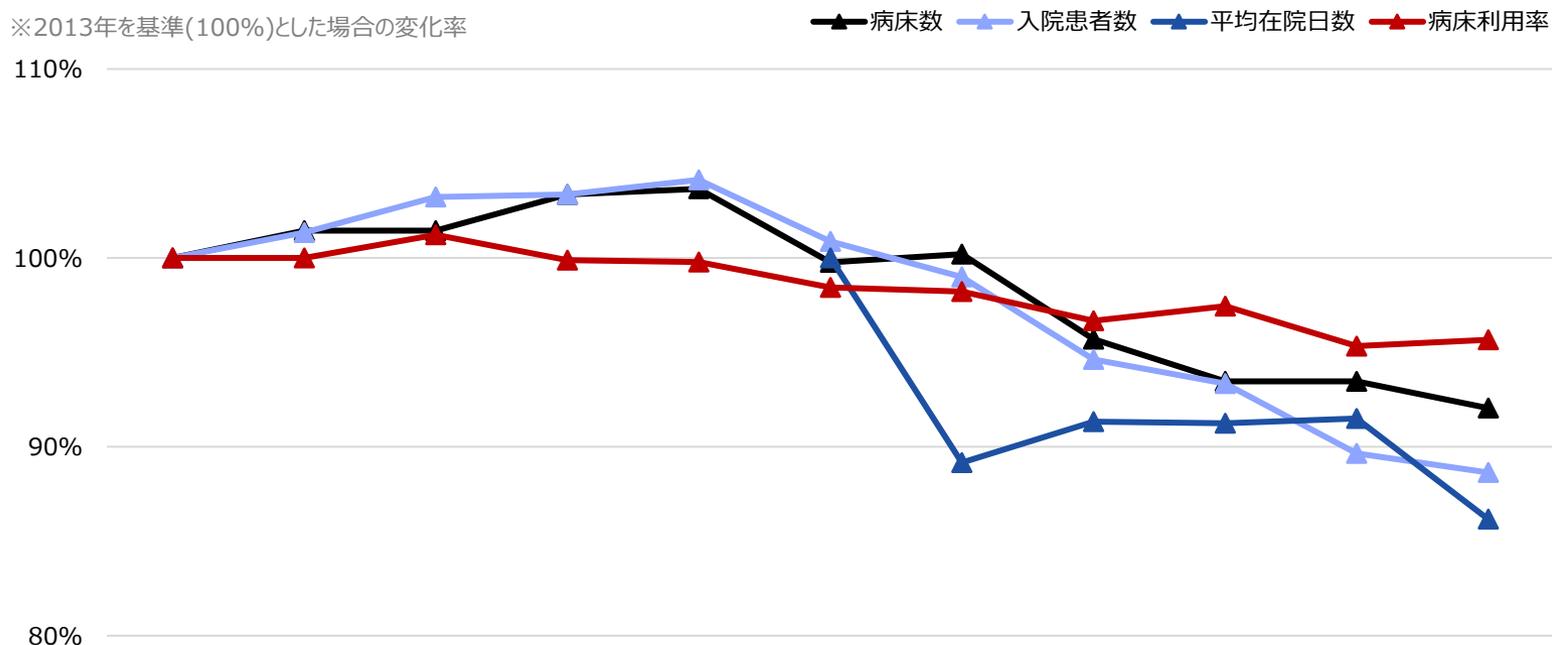
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	16,764	16,583	16,537	16,531	16,143	15,982	15,881	15,927	15,873	15,869	15,728	▲6.2%
入院患者数 (人/日)	12,563	12,251	12,193	12,000	12,009	12,133	12,138	11,181	10,907	10,889	11,092	▲11.7%
平均在院日数 (日)						13.8	13.7	14	13.6	13.7	13	-
病床利用率 (%)	74.7	73.6	73.7	72.4	73.4	75.7	76.4	70.3	68.7	68.6	70	▲5.9%

※医療圏再編に伴い、2013～2017年の平均在院日数のデータなし

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（療養病床）

当該医療圏の療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



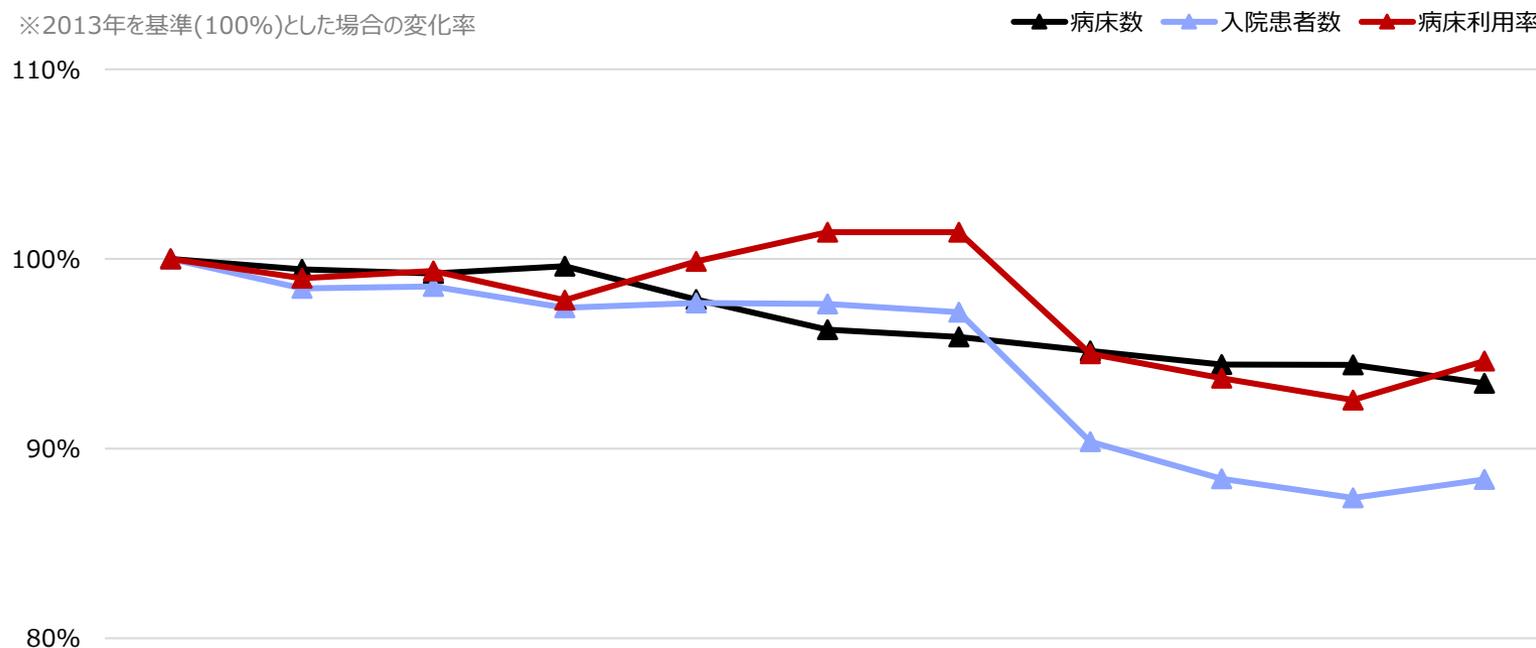
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	4,515	4,580	4,580	4,667	4,680	4,504	4,524	4,321	4,220	4,220	4,156	▲8.0%
入院患者数 (人/日)	4,040	4,094	4,170	4,176	4,207	4,075	3,999	3,823	3,771	3,622	3,581	▲11.4%
平均在院日数 (日)						120.0	107	109.6	109.5	109.8	103	-
病床利用率 (%)	90.0	90.0	91.1	89.9	89.8	88.6	88.4	87.0	87.7	85.8	86	▲4.3%

※医療圏再編に伴い、2013～2017年の平均在院日数のデータなし

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般+療養）

当該医療圏の一般病床と療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	21,279	21,163	21,117	21,198	20,823	20,486	20,405	20,248	20,093	20,089	19,884	▲6.6%
入院患者数 (人/日)	16,603	16,345	16,363	16,176	16,216	16,208	16,137	15,004	14,678	14,511	14,673	▲11.6%
病床利用率 (%)	78.0	77.2	77.5	76.3	77.9	79.1	79.1	74.1	73.1	72.2	74	▲5.4%

※医療圏再編に伴い、2013～2017年の平均在院日数のデータなし

# 愛知県 | 都道府県内の医療圏の入院患者数と平均在院日数

都道府県内の二次医療圏ごとの、入院患者数の推移と平均在院日数の変化を示しています。

都道府県全体と近隣の医療圏と比較することで、各医療圏の傾向を確認できます。

医療圏	入院患者数(総数)					平均在院日数				
	2013年	2018年		2023年		2013年	2018年		2023年	
	実績	実績	2013年比	実績	2013年比	実績	実績	2013年比	実績	2013年比
全国	1,275,347	1,246,867	▲2.2%	1,123,654	▲11.9%	30.6	27.8	▲9.2%	26.3	▲14.1%
愛知県	55,016	54,652	▲0.7%	50,515	▲8.2%	25.8	23.5	▲8.9%	21.9	▲15.1%
海部	2,000	1,975	▲1.3%	1,740	▲13.0%	33.0	29.6	▲10.3%	25.7	▲22.1%
尾張東部	4,873	4,835	▲0.8%	4,557	▲6.5%	24.2	21.5	▲11.2%	19.4	▲19.8%
尾張西部	3,454	3,747	+8.5%	3,537	+2.4%	24.0	21.9	▲8.8%	19.5	▲18.8%
尾張北部	4,787	4,990	+4.2%	4,826	+0.8%	27.0	24.9	▲7.8%	24.5	▲9.3%
知多半島	3,077	2,995	▲2.7%	2,786	▲9.5%	25.6	22.8	▲10.9%	21.5	▲16.0%
西三河北部	2,770	2,720	▲1.8%	2,779	+0.3%	22.0	20.1	▲8.6%	20.3	▲7.7%
西三河南部西	3,903	3,990	+2.2%	3,553	▲9.0%	21.8	20.9	▲4.1%	19.6	▲10.1%
西三河南部東	2,496	2,332	▲6.6%	2,427	▲2.8%	34.9	33.3	▲4.6%	25.9	▲25.8%
東三河北部	362	277	▲23.5%	167	▲53.9%	35.5	34.4	▲3.1%	25.0	▲29.6%
東三河南部	6,576	6,598	+0.3%	5,948	▲9.5%	36.6	32.3	▲11.7%	29.7	▲18.9%
名古屋・尾張中部	20,719	20,194	▲2.5%	18,194	▲12.2%	-	21.8	-	20.6	-

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	名古屋大学医学部附属病院	758.4	442	1,135.2	35.1	53.1	90.2	2,324.7
2	日赤 名古屋第二病院	290.3	281	981.4	11.4	55.0	50.9	1,553.8
3	愛知県がんセンター	139.0	123	419.2	20.3	7.0	37.8	699.0
4	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	180.7	112	567.4	46.0	24.0	40.4	961.0
5	聖霊病院	34.3	28	150.6	0	25.7	9.0	250.6
6	NHO東名古屋病院	24.5	24	220.8	7.8	68.0	9.0	351.6
7	ちくさ病院	32.7	24	76.0	11.0	19.0	3.0	146.7
8	紘仁病院	60.0	21	270.0	98.0	12.0	8.0	466.0
9	KKR東海病院	19.6	17	116.1	2.7	20.0	8.3	194.3
10	名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院	21.6	16	100.0	5.5	48.0	6.0	200.5
11	星ヶ丘マタニティ病院	12.3	10	36.2	1.0	0	6.2	59.0
12	守山いつき病院	15.4	9	76.8	24.8	21.0	4.9	172.4
13	愛知学院大学歯学部附属病院	8.9	8	32.0	0	3.5	4.0	277.0
14	はちや整形外科病院	21.0	8	37.0	5.0	16.0	2.0	93.0
15	木村病院	30.0	8	48.0	19.0	63.4	2.0	171.4
16	すぎやま病院	10.4	6	45.5	15.6	6.0	1.8	93.3
17	川島病院	10.1	6	31.5	19.3	59.7	2.8	132.5
18	メイトウホスピタル	6.8	5	52.1	27.6	47.9	3.2	142.9
19	かわな病院	13.2	4	67.3	10.2	27.1	3.8	133.5
20	吉田病院	7.6	4	52.8	27.0	14.0	1.0	111.4
21	守山友愛病院	4.0	2	17.8	10.0	0	2.0	44.8
22	安井病院	3.3	2	14.0	5.4	4.4	1.0	29.1
23	和田内科病院	4.3	2	21.0	12.0	9.0	2.0	52.3
24	いのこし病院	2.5	1	14.3	13.1	2.9	1.0	34.8
25	昌峰会 加藤病院	0	0	13.4	8.4	27.8	0.5	51.1
26	白楊会病院	0	0	0	0	0	0	0
	総計	1,710.9	1,163	4,596.4	436.2	634.5	300.8	8,746.7

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	NHO名古屋医療センター	199.5	135	654.8	33.5	46.8	34.6	1,096.0
2	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	179.3	129	599.4	30.9	19.0	38.7	985.0
3	名鉄病院	92.5	87	348.3	19.0	32.0	26.6	596.2
4	KKR名城病院	68.0	65	279.7	14.8	20.0	16.5	453.6
5	総合上飯田第一病院	63.4	56	243.8	44.6	58.2	12.2	472.6
6	重工大須病院	34.0	34	305.3	96.0	384.2	6.0	864.7
7	大隈病院	24.9	19	103.8	37.2	23.2	6.0	218.9
8	名古屋ハートセンター	20.6	14	88.8	12.7	8.3	3.8	171.4
9	愛知県済生会リハビリテーション病院	13.6	13	80.0	34.2	110.0	5.0	247.8
10	眼科杉田病院	18.2	12	64.5	6.5	0	8.7	104.0
11	中日病院	25.3	11	85.2	10.0	10.1	4.0	168.9
12	眼科三宅病院	13.0	9	39.0	5.0	0	5.4	66.4
13	AOI名古屋病院	15.2	7	97.1	24.0	16.0	5.1	176.5
14	愛知県青い鳥医療療育センター	7.0	7	125.0	0	21.6	2.6	163.5
15	米田病院	7.0	4	40.0	0	11.0	1.0	66.0
16	名春中央病院	5.6	4	21.5	9.5	3.0	1.0	45.6
17	上飯田リハビリテーション病院	8.0	3	52.8	23.8	67.4	1.9	156.9
18	北病院	9.3	3	46.0	10.1	14.0	2.0	83.4
19	勝又病院	3.4	3	39.1	34.8	13.3	2.0	102.6
20	横山記念病院	5.4	3	23.2	11.6	0.1	2.0	46.2
21	名古屋市重症心身障害児者施設	3.6	2	72.1	29.0	5.1	3.0	115.2
22	すみれ会中央病院	3.5	1	22.5	23.5	0	1.0	50.6
23	橋本内科	0	0	11.1	11.8	2.0	1.5	27.4
	総計	820.3	621	3,443.0	522.5	865.3	190.6	6,479.4

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	名古屋市立大学病院	535.2	311	1,064.3	44.1	31.0	63.6	1,919.6
2	JCHO中京病院	203.8	195	559.1	74.5	31.0	34.8	1,031.7
3	大同病院	157.0	150	452.2	23.3	76.0	23.0	874.8
4	名古屋記念病院	98.0	89	326.3	43.3	15.8	19.0	569.4
5	南生協病院	74.8	59	265.3	15.2	18.0	18.2	435.4
6	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	39.7	31	181.3	12.0	14.0	14.0	293.0
7	八事病院	24.6	19	235.3	34.0	17.1	5.0	325.0
8	相生山病院	13.4	11	85.6	23.3	24.0	7.8	169.3
9	新生会第一病院	10.1	10	90.8	32.9	16.0	6.0	189.8
10	笠寺病院	16.0	9	91.8	26.0	22.9	6.7	177.4
11	名古屋市総合リハビリセンター附属病院	10.3	9	56.2	0	38.8	3.0	116.8
12	第一なるみ病院	10.4	8	61.4	25.0	32.0	4.1	143.9
13	並木病院	10.4	7	88.3	57.5	33.0	5.1	200.7
14	名南病院	17.7	7	87.2	22.2	26.1	13.9	185.1
15	野垣病院	9.6	7	33.0	1.0	2.0	0.8	50.3
16	善常会リハビリテーション病院	7.1	5	50.7	27.0	95.7	3.6	190.1
17	小松病院	8.9	5	28.3	26.3	8.2	4.4	81.1
18	山口病院	6.5	4	41.2	6.1	5.0	2.7	66.5
19	南医療生協かなめ病院	6.2	4	36.5	15.5	42.9	1.0	105.7
20	平岩病院	5.4	4	29.1	9.0	4.0	2.4	52.5
21	西本病院	3.9	3	6.3	8.0	1.3	1.7	23.3
22	ブラザー記念病院	7.7	3	39.4	7.0	2.0	3.2	74.5
23	北村病院	3.6	3	21.0	7.4	5.1	1.0	40.5
24	稲熊病院	5.6	3	36.2	11.2	8.2	2.0	66.0
25	名南ふれあい病院	4.3	1	20.4	9.2	42.4	2.0	82.2
	総計	1,290.2	957	3,987.2	561.0	612.5	249.0	7,464.6

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	日赤 名古屋第一病院	295.0	287	969.2	1.0	48.0	45.5	1,504.9
2	名古屋掖済会病院	212.7	200	665.5	126.0	47.3	49.4	1,235.3
3	藤田医科大学ばんだね病院	156.9	138	375.6	63.4	0	0	661.7
4	中部労災病院	133.8	133	440.1	5.4	33.0	27.0	720.0
5	協立総合病院	78.3	70	304.7	30.2	22.2	16.7	488.2
6	名古屋セントラル病院	64.3	60	277.6	17.8	6.0	16.0	422.9
7	名古屋共立病院	34.6	23	170.5	40.7	28.9	11.0	337.3
8	増子記念病院	23.1	18	129.3	9.0	15.0	5.0	220.4
9	名古屋西病院	16.5	12	59.1	27.7	13.0	5.4	134.2
10	熱田リハビリテーション病院	9.4	9	96.5	33.8	93.3	4.0	247.0
11	まつかげシニアホスピタル	11.5	8	112.0	69.0	9.0	3.0	217.5
12	鶴飼リハビリテーション病院	7.7	7	74.1	18.7	111.2	3.7	219.4
13	城西病院	14.2	7	94.8	37.8	12.0	4.0	179.8
14	名古屋港湾福利厚生協会臨港病院	8.6	6	55.9	22.4	3.0	3.8	106.2
15	鶴飼病院	10.1	6	67.1	19.8	41.9	3.0	146.9
16	富田病院	6.4	5	21.2	21.7	3.5	1.2	58.0
17	あずまリハビリテーション病院	5.0	5	35.0	14.0	60.2	2.0	119.2
18	大菅病院	7.3	5	43.0	8.4	7.5	2.0	78.1
19	水谷病院	7.4	5	26.2	5.0	7.1	1.1	51.9
20	東洋病院	7.1	3	50.2	31.4	6.0	2.6	104.3
21	かいせい病院	4.2	3	20.2	1.3	0	1.0	29.9
22	八田なみき病院	5.4	3	43.4	46.0	6.1	3.5	109.6
23	三恵会服部病院	5.1	3	31.4	13.7	10.0	2.8	70.0
24	春田仁愛病院	4.9	3	20.0	8.8	0	1.8	38.6
25	幸会南陽病院	8.5	2	33.3	12.7	1.0	2.0	61.5

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | 医療機関別職員数②

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
26	広徳会 佐藤病院	2.5	2	11.6	7.7	5.0	1.0	28.8
27	岩田病院	3.5	2	30.6	0	0	2.0	39.1
28	共愛病院	29.0	2	13.0	8.0	0	0	53.0
29	大平病院	5.0	2	15.0	10.0	1.0	3.0	35.0
30	名古屋泌尿器科病院	3.1	2	15.0	3.2	0.5	1.0	25.9
	総計	1,181.1	1,031	4,301.1	714.6	591.7	224.5	7,744.6

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

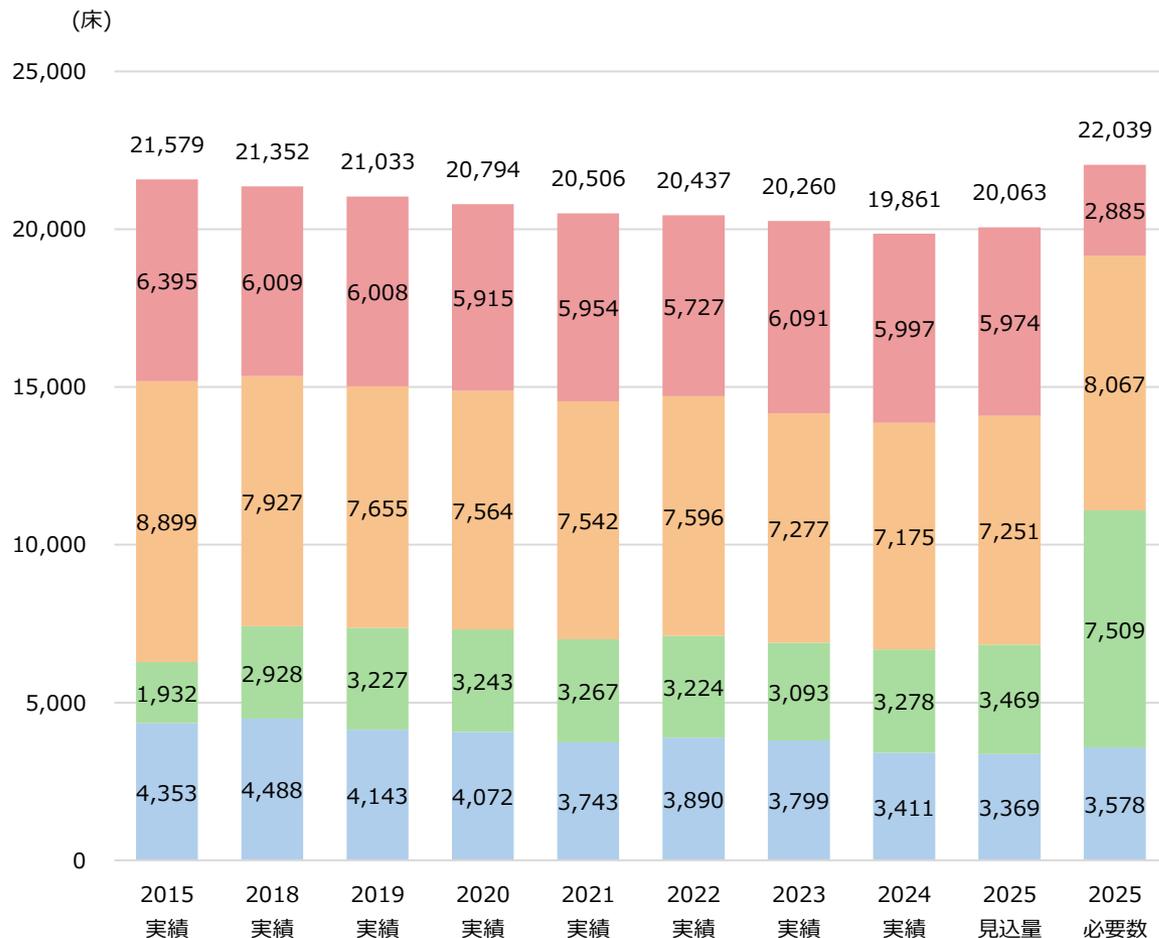
No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	済衆館病院	45.6	36	209.2	70.9	92.3	7.4	502.0
2	はるひ呼吸器病院	21.0	9	101.0	2.0	8.0	8.0	160.0
3	五条川リハビリテーション病院	8.9	5	77.6	34.8	52.6	2.8	189.1
4	光寿会リハビリテーション病院	7.8	4	46.2	35.0	11.0	2.0	118.9
	総計	83.3	54	434.0	142.7	163.9	20.2	970.0

# 名古屋・尾張中部区域 | 病床機能別の病床数の推移と必要病床数

当該構想区域の病床機能別の病床数の推移と、2025年の必要病床数を示しています。

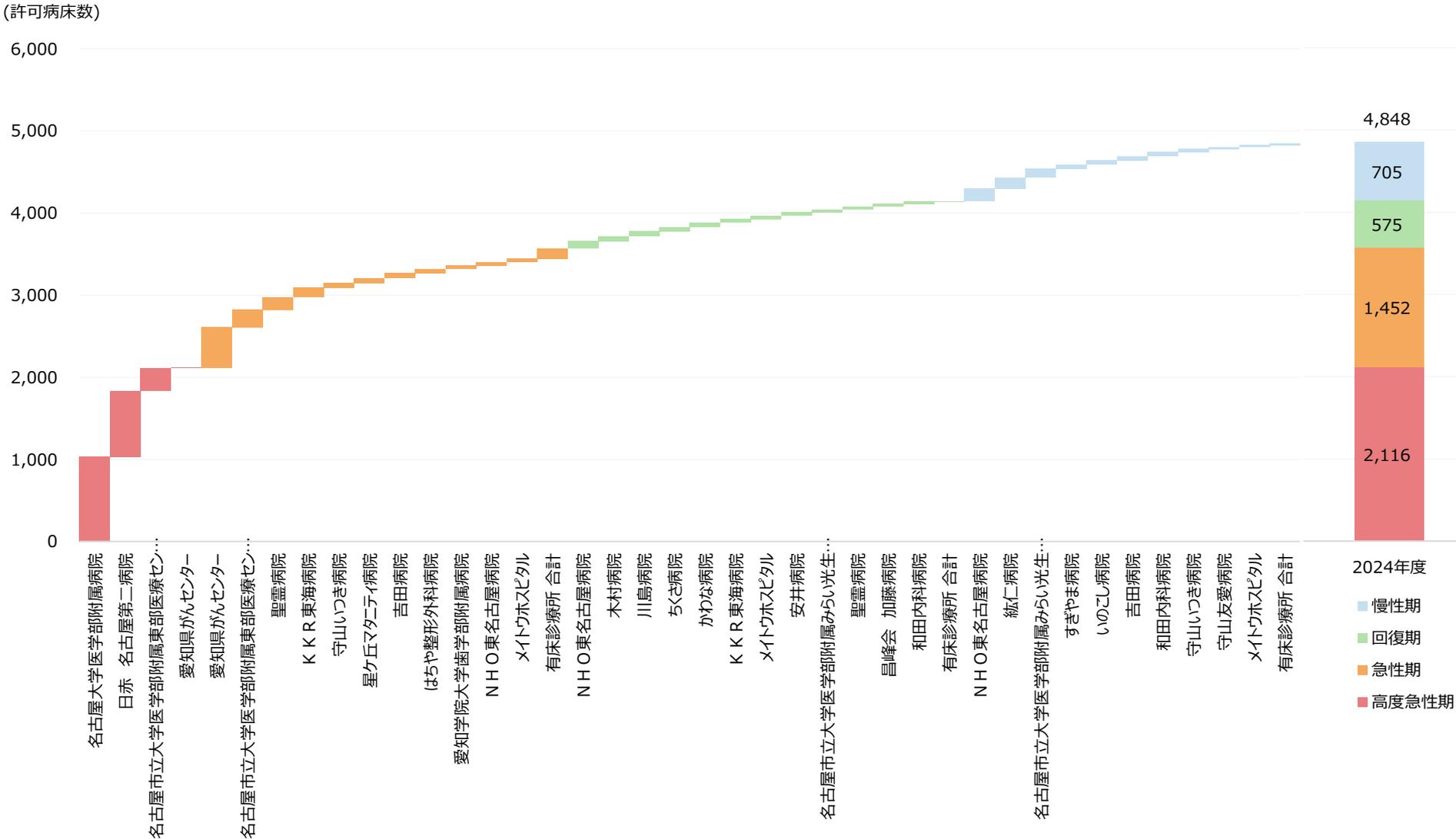
病床数全体の推移だけでなく、機能ごとの増減や、必要病床数との差を検証します。

高度急性期・急性期が少ない場合は急性期の確保、回復期が少ない場合は機能分化が課題として挙げられます。



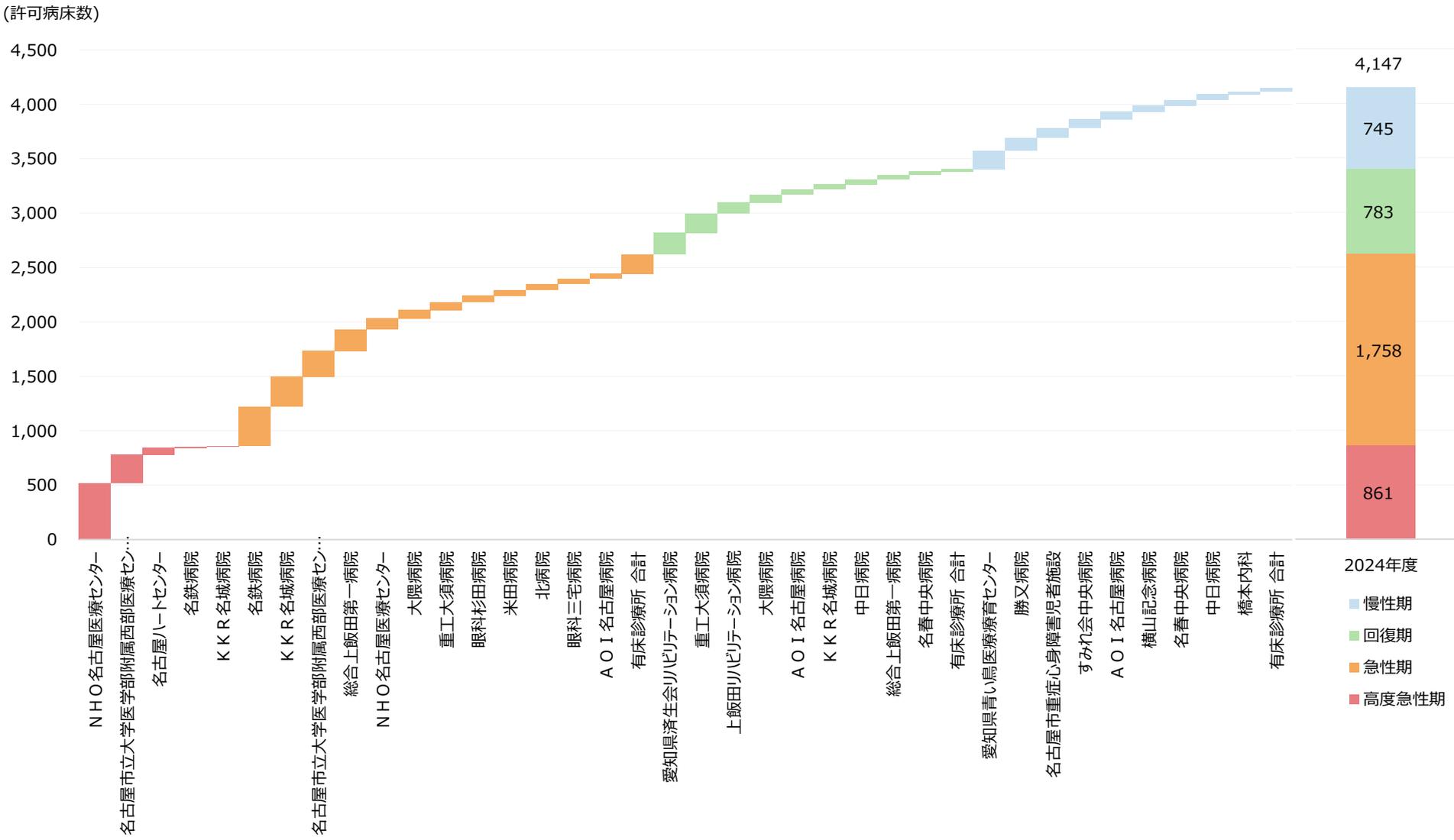
病床機能	2024年 7月時点	2025年 必要数	差分
高度急性期	5,997	2,885	+3,112
急性期	7,175	8,067	▲892
回復期	3,278	7,509	▲4,231
慢性期	3,411	3,578	▲167
合計	19,861	22,039	▲2,178

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



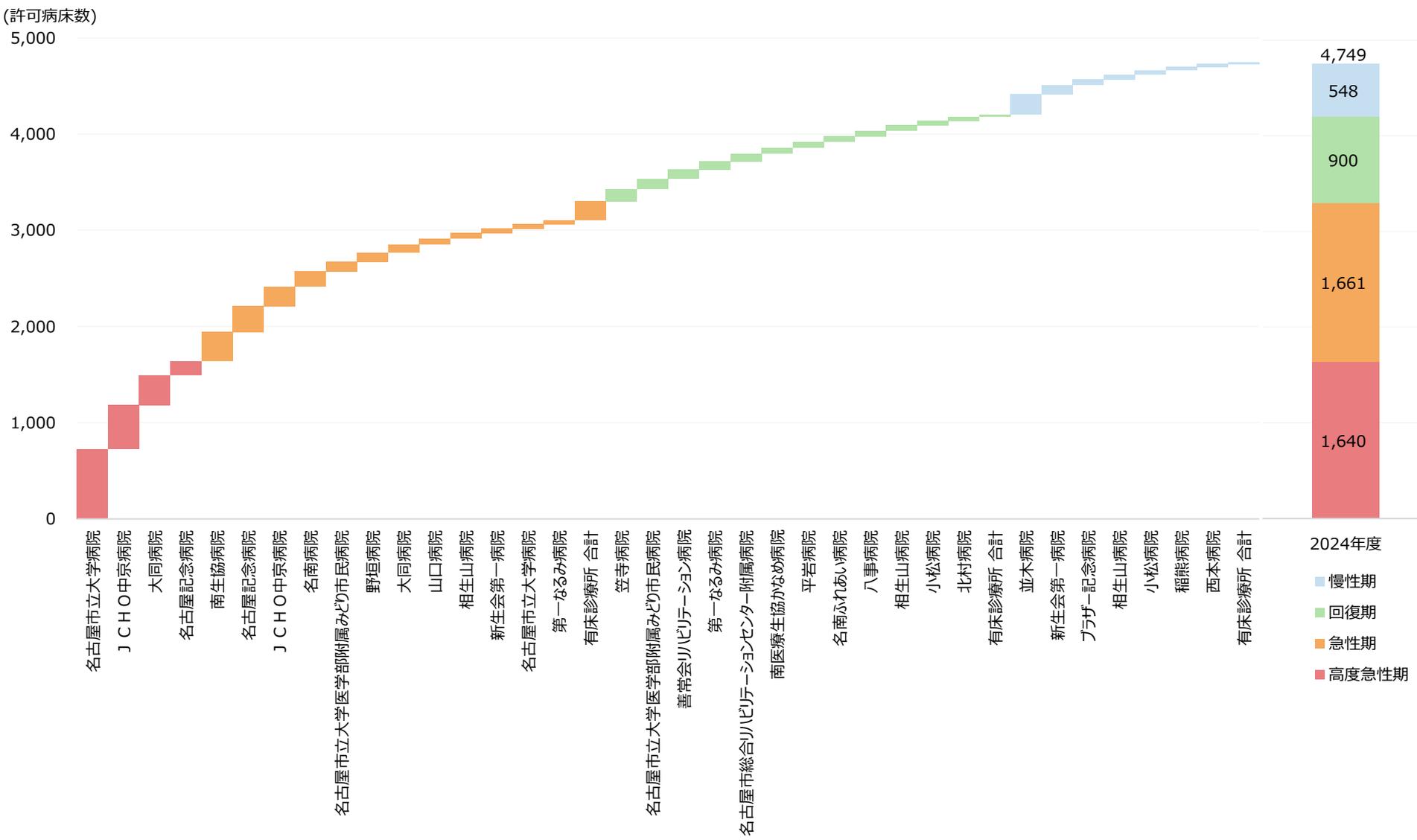
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



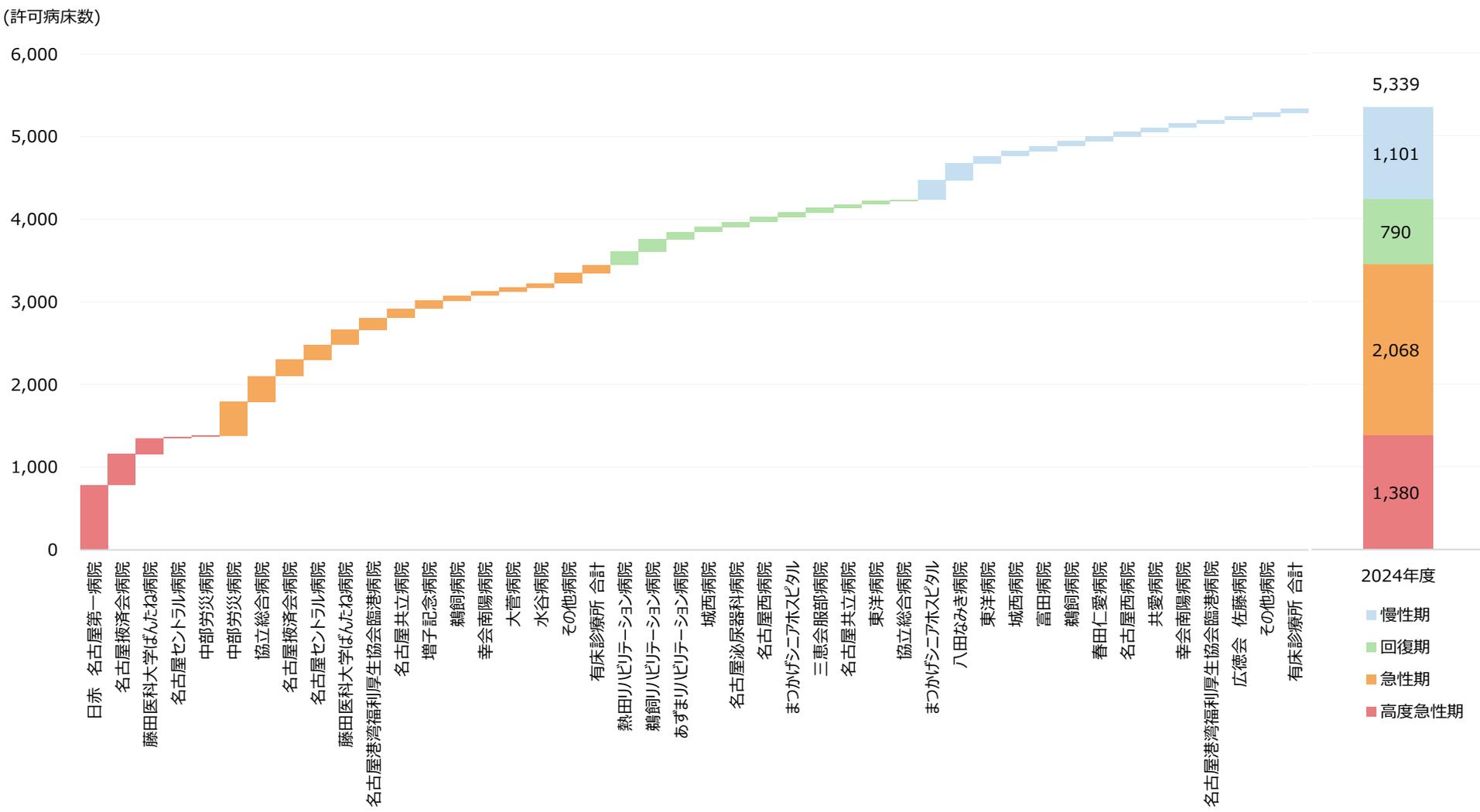
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



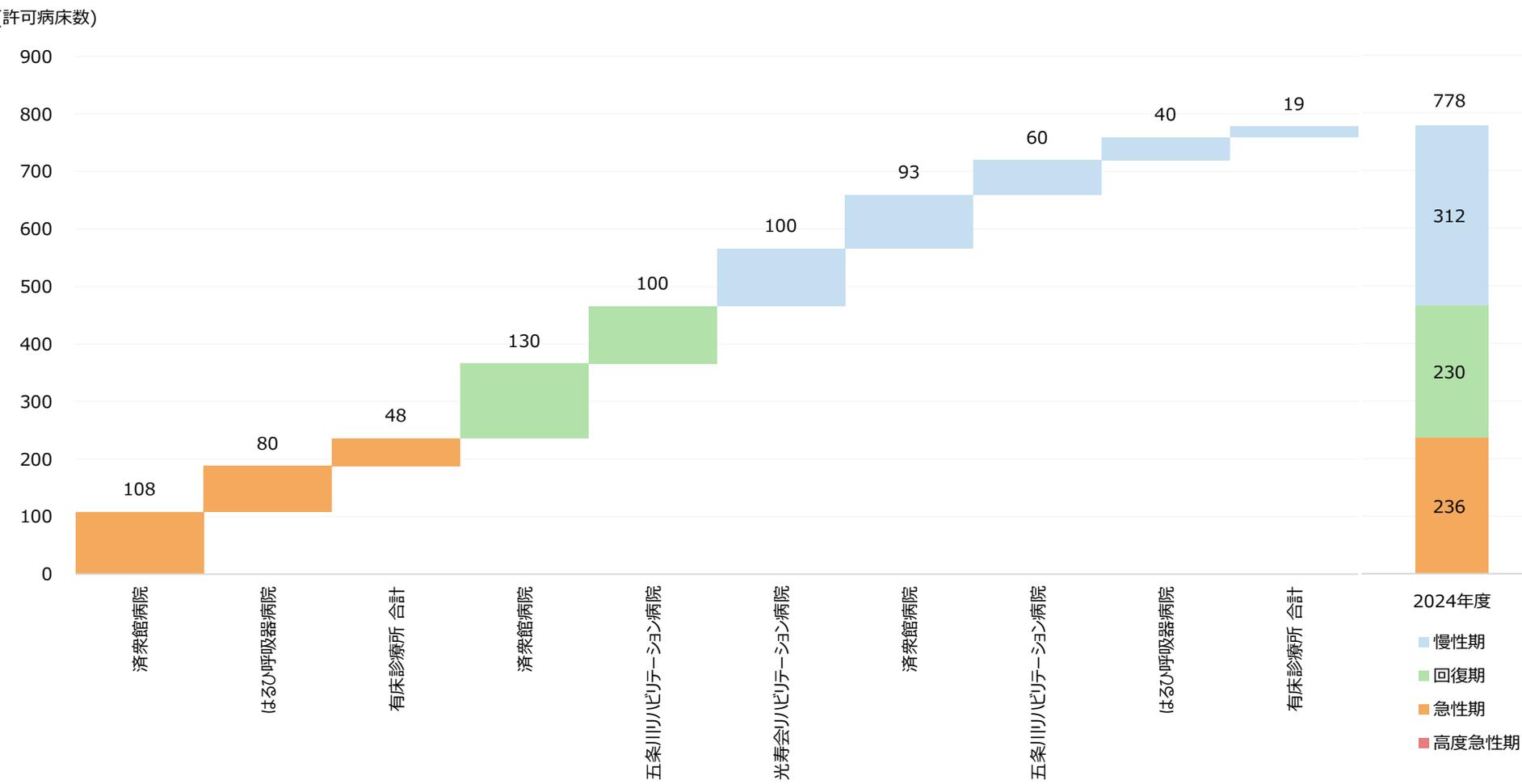
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



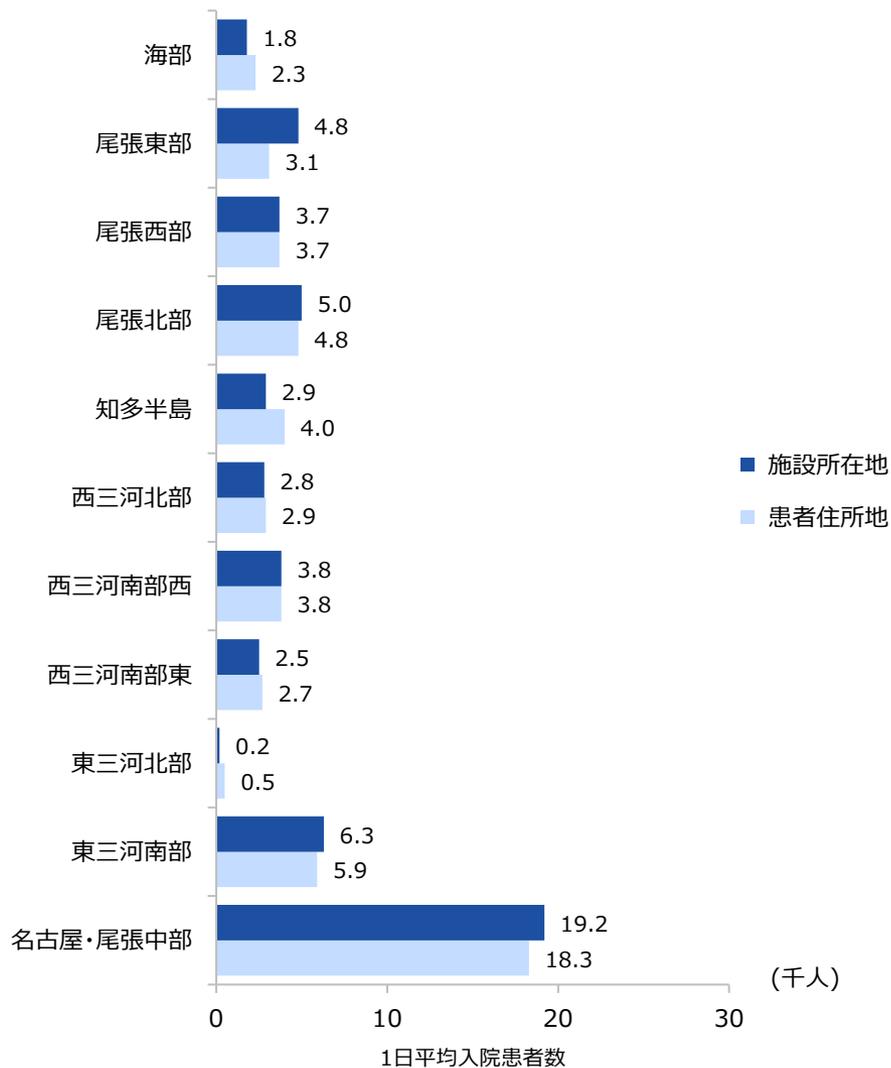
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）



# 愛知県 | 二次医療圏別の1日平均入院患者数

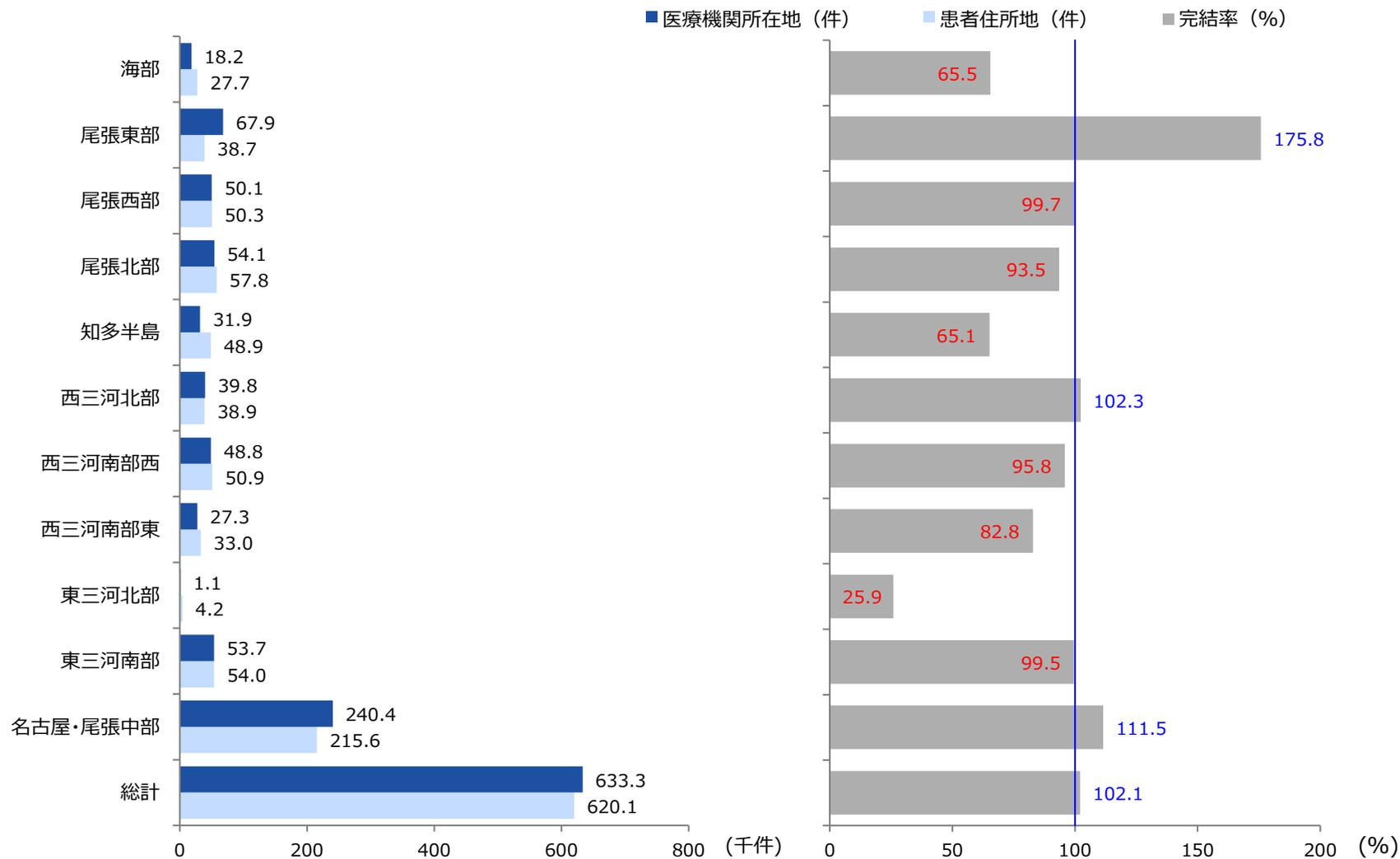
左図は、都道府県内の二次医療圏における1日平均入院患者数の流出入の状況を示しています。

右表では、当該医療圏におけるICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入を示しています。



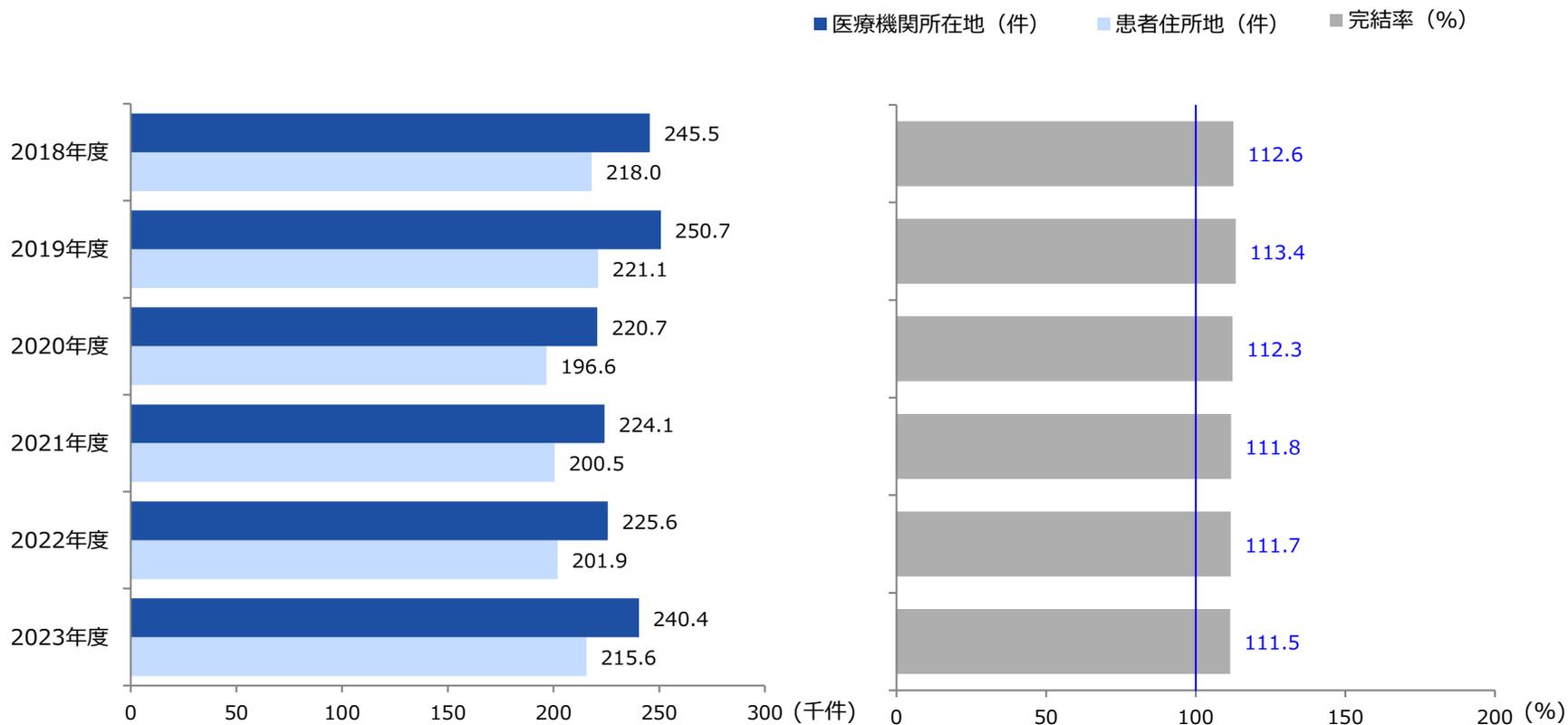
傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0.3	0.3	0
II 新生物	2.6	2.1	0.5
III 血液	0.1	0.1	0
IV 内分泌	0.6	0.5	0.1
V 精神	3.3	3.3	0
VI 神経系	1.4	1.6	▲0.2
VII 眼	0.3	0.2	0.1
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	2.7	2.7	0
X 呼吸器	1.6	1.5	0.1
X I 消化器	1.0	1.0	0
X II 皮膚	0.2	0.2	0
X III 筋骨格	1.0	0.9	0.1
X IV 腎尿路	0.9	0.8	0.1
X V 妊娠, 分娩	0.2	0.2	0
X VI 周産期	0.1	0.1	0
X VII 先天奇形	0.2	0.1	0.1
X VIII 症状, 徴候	0.2	0.2	0
X IX 損傷, 中毒	2.3	2.2	0.1
X X I 保健サービス	0.1	0	0.1
X X II 特殊目的用	0.3	0.3	0
総数	<b>19.4</b>	<b>18.3</b>	<b>1.1</b>

# 愛知県 | 二次医療圏別の流出入状況（DPC症例数）



# 名古屋・尾張中部医療圏 | 患者流出入状況の年度推移 (DPC症例数)

都道府県内の二次医療圏におけるDPC症例数の流出入の状況を示しています。

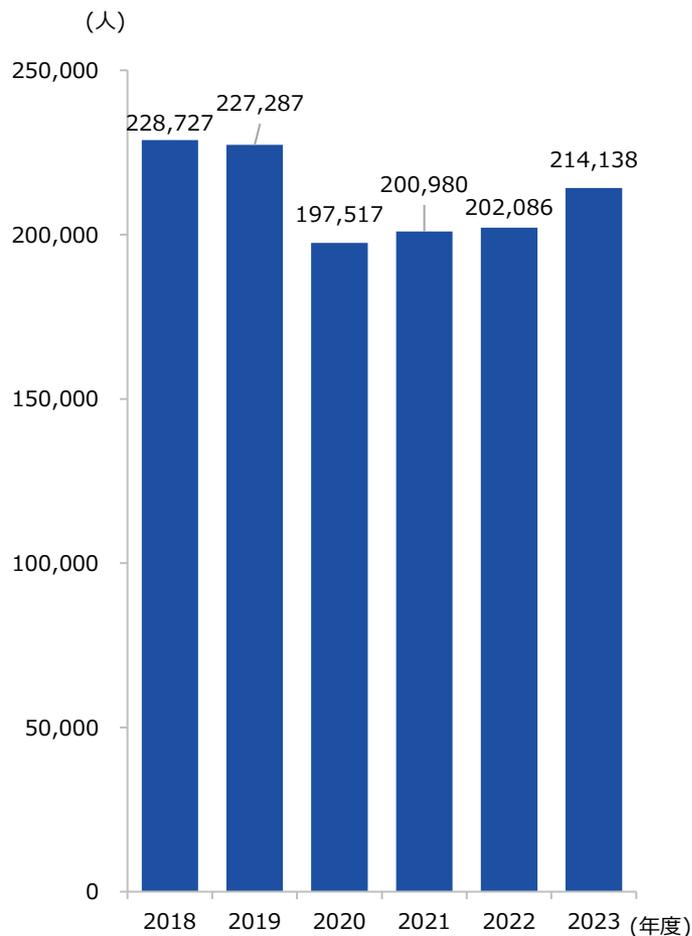


# 名古屋・尾張中部医療圏 | MDC別退院患者数の推移 (DPC病院のみ)

左図は、当該医療圏のDPC対象病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

## 退院患者数：合計



## 退院患者数：MDC別

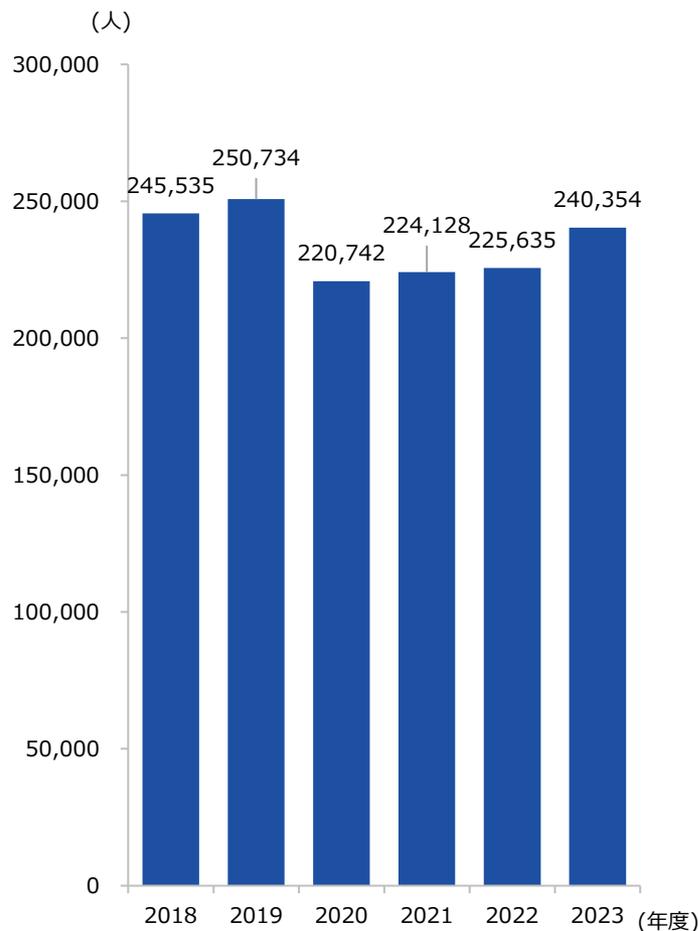
MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	14,621	14,698	13,789	13,725	13,439	13,832	▲5.4%	6.5%
MDC02 眼科系	11,240	11,185	8,083	7,869	7,975	8,797	▲21.7%	4.1%
MDC03 耳鼻咽喉科系	11,042	10,737	8,276	8,261	8,053	9,963	▲9.8%	4.7%
MDC04 呼吸器系	30,002	28,681	20,284	21,451	21,790	25,973	▲13.4%	12.1%
MDC05 循環器系	20,114	20,351	18,758	19,057	18,654	18,859	▲6.2%	8.8%
MDC06 消化器系, 肝臓・胆道・膵臓	52,019	51,181	45,357	46,064	46,860	47,690	▲8.3%	22.3%
MDC07 筋骨格系	11,919	12,227	10,804	11,180	11,370	11,557	▲3.0%	5.4%
MDC08 皮膚・皮下組織	3,573	3,772	3,361	3,290	3,102	3,415	▲4.4%	1.6%
MDC09 乳房	3,560	3,592	3,378	3,437	3,705	3,807	6.9%	1.8%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	6,775	6,795	5,933	6,186	6,227	7,151	5.5%	3.3%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	19,671	20,478	18,911	19,335	18,977	18,835	▲4.2%	8.8%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	14,913	14,812	13,437	13,599	13,492	13,490	▲9.5%	6.3%
MDC13 血液・造血器・免疫機構	6,285	5,897	5,930	5,510	6,156	6,567	4.5%	3.1%
MDC14 新生児・先天性奇形	5,194	4,936	4,428	4,616	4,680	4,675	▲10.0%	2.2%
MDC15 小児	857	867	452	586	606	800	▲6.7%	0.4%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	13,062	13,123	12,595	12,629	13,178	14,423	10.4%	6.7%
MDC17 精神	356	364	275	250	231	247	▲30.6%	0.1%
MDC18 その他	3,524	3,591	3,466	3,935	3,591	4,057	15.1%	1.9%
総計	228,727	227,287	197,517	200,980	202,086	214,138	▲6.4%	100.0%

# 名古屋・尾張中部医療圏 | MDC別退院患者数の推移 (出来高病院含む)

左図は、当該医療圏のDPC対象病院・出来高病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

## 退院患者数：合計



## 退院患者数：MDC別

MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	15,201	15,345	14,432	14,336	14,097	14,571	▲4.1%	6.1%
MDC02 眼科系	11,663	14,095	12,624	12,733	12,966	15,732	34.9%	6.5%
MDC03 耳鼻咽喉科系	11,608	11,331	8,575	8,617	8,486	10,451	▲10.0%	4.3%
MDC04 呼吸器系	32,297	31,137	22,097	23,058	23,480	28,095	▲13.0%	11.7%
MDC05 循環器系	22,955	23,234	21,621	21,857	21,841	22,135	▲3.6%	9.2%
MDC06 消化器系、肝臓・胆道・膵臓	55,648	56,853	50,362	51,115	51,722	52,492	▲5.7%	21.8%
MDC07 筋骨格系	13,702	14,393	12,925	13,400	13,403	13,578	▲0.9%	5.6%
MDC08 皮膚・皮下組織	3,719	3,981	3,530	3,444	3,261	3,587	▲3.5%	1.5%
MDC09 乳房	3,740	3,729	3,477	3,507	3,812	3,851	3.0%	1.6%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	7,177	7,362	6,471	6,671	6,749	7,677	7.0%	3.2%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	20,537	21,323	19,683	19,938	19,650	19,526	▲4.9%	8.1%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	15,411	15,480	14,139	14,214	13,909	13,977	▲9.3%	5.8%
MDC13 血液・造血管器・免疫機構	6,463	6,072	6,082	5,649	6,280	6,665	3.1%	2.8%
MDC14 新生児、先天性奇形	5,294	5,162	4,575	4,775	4,823	4,830	▲8.8%	2.0%
MDC15 小児	858	870	453	590	609	805	▲6.2%	0.3%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	15,069	16,068	15,638	15,779	16,441	17,752	17.8%	7.4%
MDC17 精神	416	455	380	345	361	376	▲9.6%	0.2%
MDC18 その他	3,777	3,844	3,678	4,100	3,745	4,254	12.6%	1.8%
総計	245,535	250,734	220,742	224,128	225,635	240,354	▲2.1%	100.0%

# 3/ 医療需要の将来推計

---

人口推計と受療率をもとに、将来の医療・介護需要を整理する。

疾患領域別の患者数推計

入院・外来・在宅の需要構造

2040年以降の需要変化

将来の患者数の増減や需要構造の変化を把握し、地域医療における課題を整理する。  
需要の時間的な変化を踏まえ、機能転換や医療資源配分を検討するための基礎資料とする。

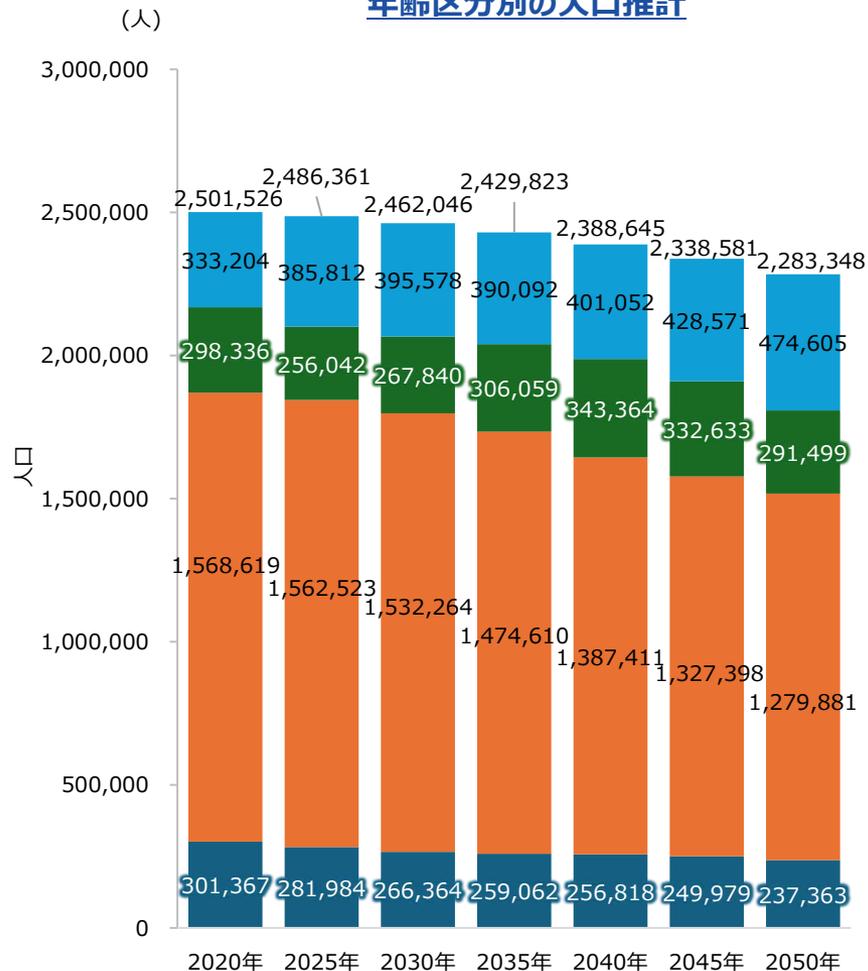
# 名古屋・尾張中部医療圏 | 人口推計

2050年までの人口の将来推計を示しています。

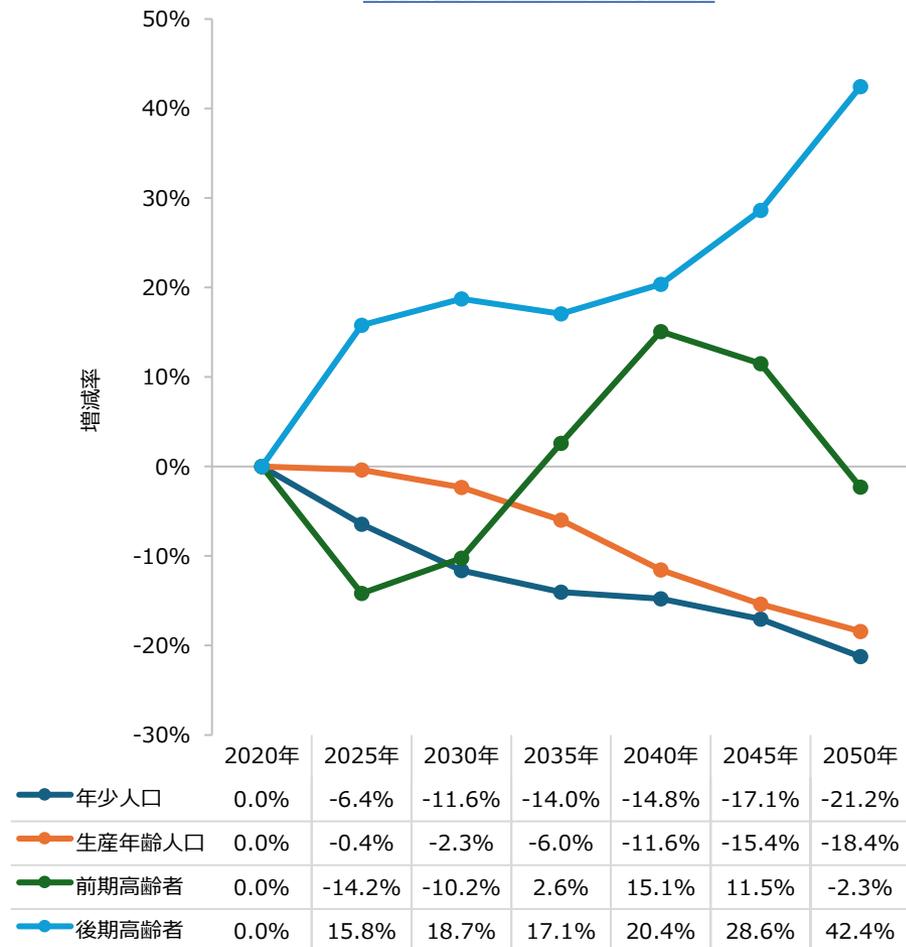
多くの地域において、総人口は減少しますが、高齢者人口は増加傾向にあります。

特に、医療介護の複合的なニーズを持つ後期高齢者の増加幅と、支え手となる生産年齢人口の減少幅について確認が必要です。

### 年齢区分別の人口推計



### 年齢区分別の人口増減率



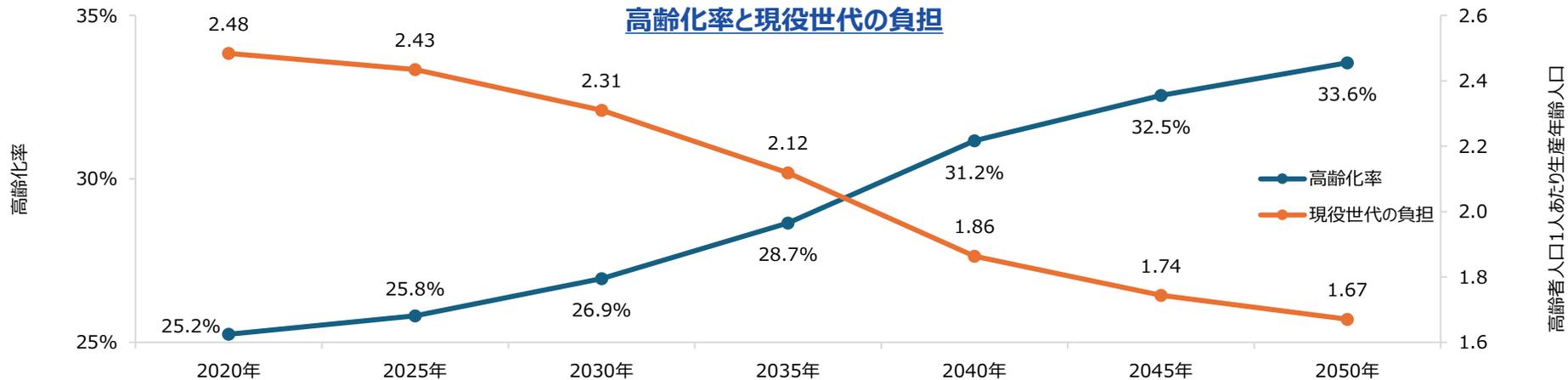
# 名古屋・尾張中部医療圏 | 高齢化の状況

高齢化率と現役世代の負担（高齢者1人あたり生産年齢人口）を示しています。  
 全国の2020年時点の高齢化率は28.6%、現役世代の負担は2.1となっています。

### 生産年齢人口と高齢者の将来推計



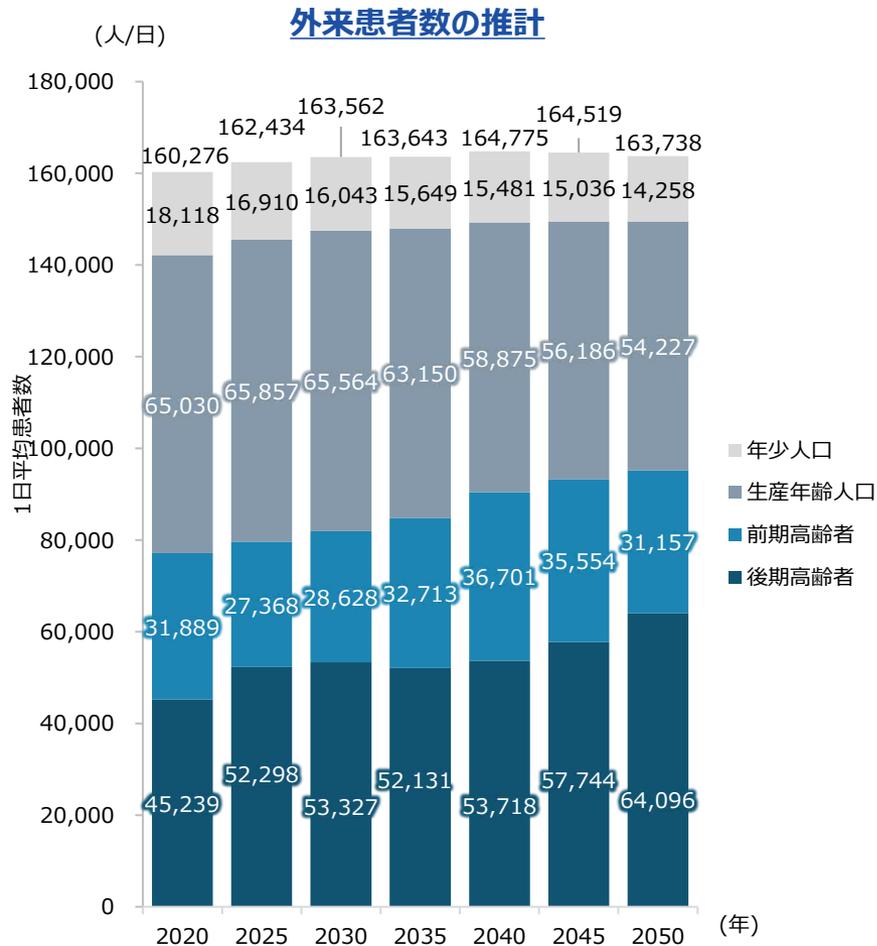
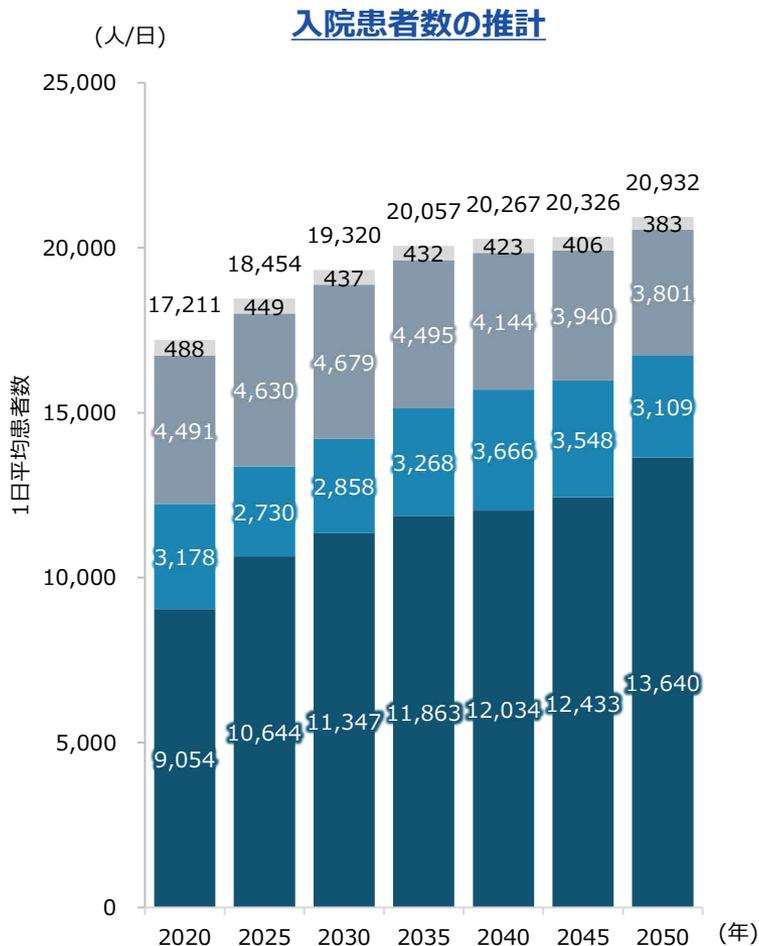
### 高齢化率と現役世代の負担



# 名古屋・尾張中部医療圏 | 1日平均患者数

都道府県受療率に基づく、2050年までの入院患者数および外来患者数の需要予測を示しています。

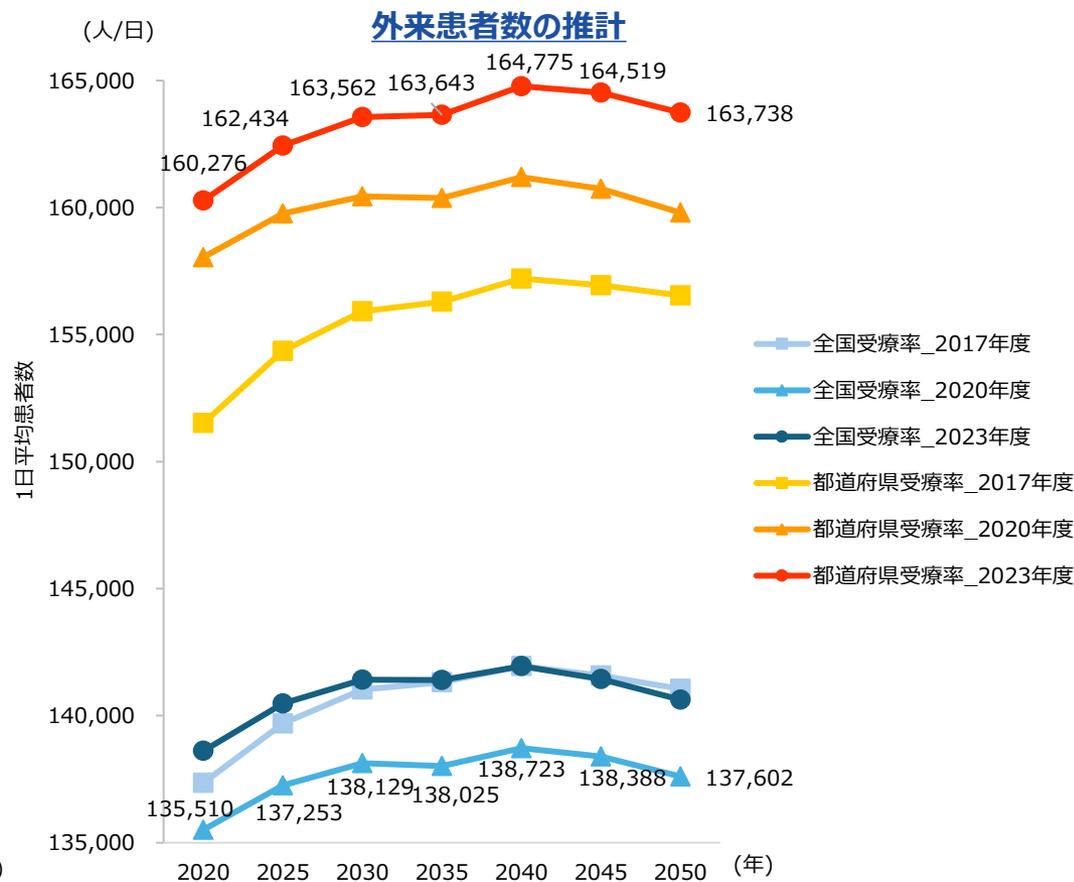
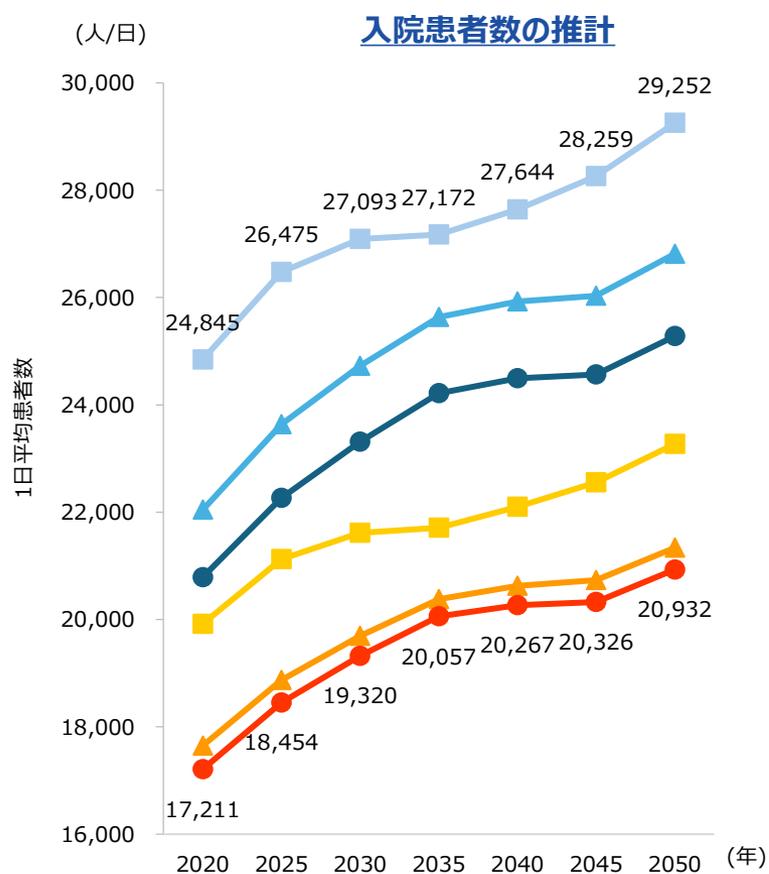
多くの地域では入院需要が増加、外来需要が減少傾向にあり、需要の変化に合わせた医療提供体制の構築が求められます。



# 名古屋・尾張中部医療圏 | 受療率の比較

3つの調査年（2017年、2020年、2023年）における、全国および都道府県の受療率を対象医療圏の人口に乗じて算出した患者数の将来推計を示しています。

全国の受療率よりも受療率が高い場合は、入院需要の縮小のリスクが想定されます。



# 名古屋・尾張中部医療圏 | ICD別の入院患者数推計

疾患別の入院患者数の将来推計を示しています。

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	270	288	299	308	312	313	322
II 新生物<腫瘍>	1,939	2,025	2,088	2,131	2,187	2,216	2,250
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	102	110	115	119	122	124	129
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	480	527	563	601	607	605	631
V 精神及び行動の障害	3,032	3,093	3,153	3,167	3,161	3,130	3,090
VI 神経系の疾患	1,308	1,395	1,448	1,492	1,506	1,513	1,560
VII 眼及び付属器の疾患	198	207	212	212	216	220	223
VIII 耳及び乳様突起の疾患	36	38	40	41	40	40	39
IX 循環器系の疾患	2,649	2,931	3,117	3,280	3,325	3,354	3,518
X 呼吸器系の疾患	1,350	1,509	1,616	1,723	1,745	1,759	1,865
X I 消化器系の疾患	954	1,019	1,066	1,108	1,120	1,121	1,151
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	191	207	219	231	233	232	240
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	849	907	949	984	1,006	1,017	1,046
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	751	824	874	921	934	941	984
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	275	273	267	259	251	238	220
X VI 周産期に発生した病態	133	121	121	121	117	111	104
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	85	81	81	80	77	74	70
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	216	245	264	284	286	286	303
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,115	2,349	2,500	2,641	2,665	2,677	2,813
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	56	56	57	58	57	55	53
X X II 特殊目的用コード	222	253	276	300	303	303	322
総数	17,215	18,457	19,323	20,061	20,271	20,329	20,934

# 名古屋・尾張中部医療圏 | ICD別の入院患者数増減率

疾患別の入院患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	270	6.5%	10.7%	13.9%	15.3%	15.9%	19.1%
II 新生物<腫瘍>	1,939	4.4%	7.7%	9.9%	12.8%	14.3%	16.1%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	102	7.6%	11.9%	16.3%	18.9%	20.8%	26.2%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	480	9.7%	17.3%	25.2%	26.4%	26.0%	31.2%
V 精神及び行動の障害	3,032	2.0%	4.0%	4.5%	4.3%	3.2%	1.9%
VI 神経系の疾患	1,308	6.7%	10.7%	14.1%	15.1%	15.7%	19.3%
VII 眼及び付属器の疾患	198	4.2%	6.7%	7.0%	9.2%	10.8%	12.3%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	36	4.6%	10.2%	13.0%	11.8%	9.5%	9.0%
IX 循環器系の疾患	2,649	10.6%	17.6%	23.8%	25.5%	26.6%	32.8%
X 呼吸器系の疾患	1,350	11.8%	19.7%	27.6%	29.2%	30.3%	38.1%
X I 消化器系の疾患	954	6.8%	11.7%	16.1%	17.4%	17.5%	20.6%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	191	8.4%	15.0%	21.0%	22.2%	21.8%	25.7%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	849	6.8%	11.7%	15.9%	18.5%	19.8%	23.2%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	751	9.7%	16.4%	22.6%	24.4%	25.3%	31.0%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	275	-0.9%	-2.9%	-5.9%	-8.7%	-13.7%	-20.0%
X VI 周産期に発生した病態	133	-9.4%	-9.3%	-8.7%	-11.8%	-16.4%	-22.0%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	85	-4.9%	-5.7%	-7.0%	-10.2%	-13.9%	-18.0%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	216	13.0%	22.2%	31.1%	32.0%	32.1%	39.9%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,115	11.0%	18.2%	24.8%	26.0%	26.5%	33.0%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	56	-0.6%	0.7%	2.1%	1.5%	-1.8%	-5.3%
X X II 特殊目的用コード	222	13.7%	24.1%	35.2%	36.4%	36.5%	45.1%
総数	17,215	7.2%	12.2%	16.5%	17.8%	18.1%	21.6%

# 名古屋・尾張中部医療圏 | ICD別の外来患者数推計

疾患別の外来患者数の将来推計を示しています。

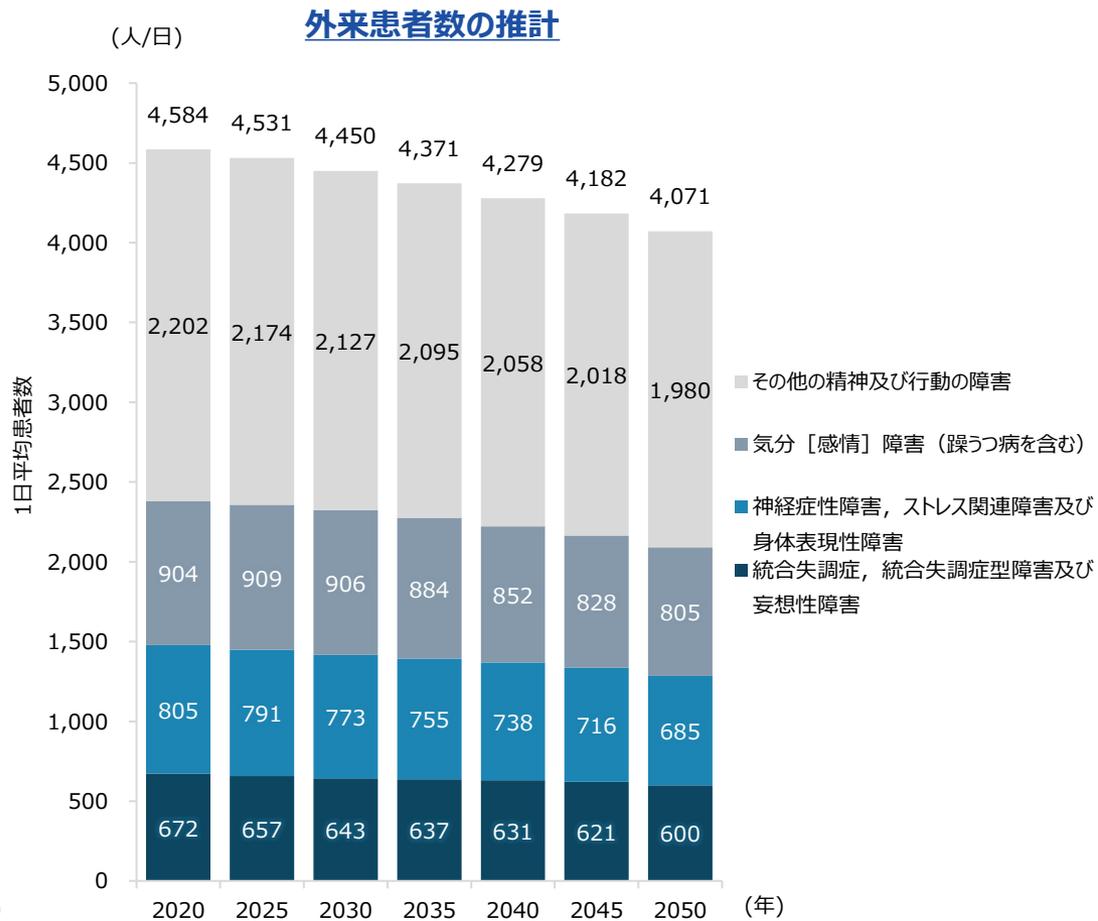
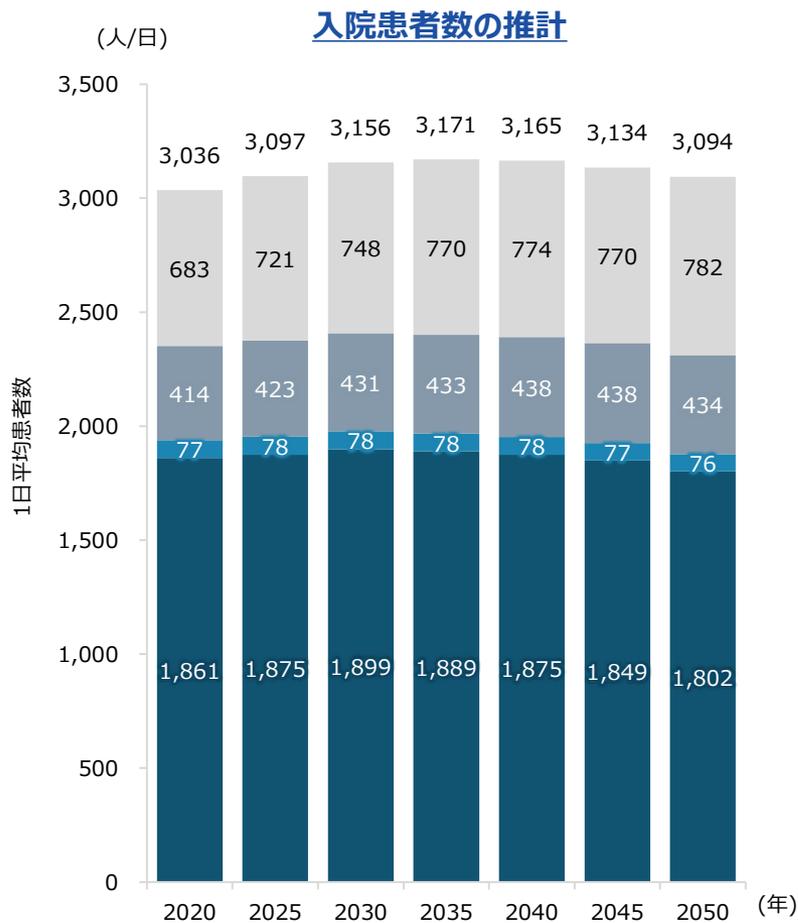
ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	4,371	4,361	4,315	4,284	4,282	4,251	4,205
II 新生物<腫瘍>	4,698	4,843	4,918	4,902	4,957	5,003	5,021
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	430	432	425	422	420	419	419
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,861	9,018	9,232	9,352	9,563	9,604	9,533
V 精神及び行動の障害	4,580	4,527	4,446	4,367	4,275	4,179	4,068
VI 神経系の疾患	2,797	2,930	2,982	2,990	3,008	3,027	3,082
VII 眼及び付属器の疾患	7,360	7,484	7,546	7,497	7,565	7,584	7,537
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1,976	1,969	1,980	1,992	1,998	1,981	1,959
IX 循環器系の疾患	15,518	16,504	17,102	17,434	17,842	18,161	18,671
X 呼吸器系の疾患	13,556	13,189	12,938	12,760	12,576	12,279	11,898
X I 消化器系の疾患	26,118	26,137	26,137	26,019	26,053	25,841	25,406
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	11,410	11,393	11,302	11,176	11,087	10,953	10,785
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,201	17,843	18,238	18,402	18,777	19,007	19,220
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	7,891	7,947	8,026	8,089	8,105	7,990	7,848
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	209	205	201	196	191	180	168
X VI 周産期に発生した病態	74	68	67	66	65	62	58
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	335	318	311	312	310	300	287
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,911	1,935	1,937	1,926	1,921	1,914	1,905
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,253	7,306	7,274	7,219	7,158	7,082	7,020
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	23,130	23,436	23,611	23,676	24,079	24,176	24,145
X X II 特殊目的用コード	603	592	579	564	548	529	506
総数	160,281	162,438	163,566	163,646	164,778	164,523	163,740

# 名古屋・尾張中部医療圏 | ICD別の外来患者数増減率

疾患別の外来患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	4,371	-0.2%	-1.3%	-2.0%	-2.0%	-2.8%	-3.8%
II 新生物<腫瘍>	4,698	3.1%	4.7%	4.4%	5.5%	6.5%	6.9%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	430	0.5%	-1.3%	-1.9%	-2.4%	-2.6%	-2.6%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,861	1.8%	4.2%	5.5%	7.9%	8.4%	7.6%
V 精神及び行動の障害	4,580	-1.1%	-2.9%	-4.6%	-6.6%	-8.8%	-11.2%
VI 神経系の疾患	2,797	4.8%	6.6%	6.9%	7.5%	8.2%	10.2%
VII 眼及び付属器の疾患	7,360	1.7%	2.5%	1.9%	2.8%	3.0%	2.4%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1,976	-0.4%	0.2%	0.8%	1.1%	0.2%	-0.9%
IX 循環器系の疾患	15,518	6.4%	10.2%	12.3%	15.0%	17.0%	20.3%
X 呼吸器系の疾患	13,556	-2.7%	-4.6%	-5.9%	-7.2%	-9.4%	-12.2%
X I 消化器系の疾患	26,118	0.1%	0.1%	-0.4%	-0.2%	-1.1%	-2.7%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	11,410	-0.2%	-1.0%	-2.0%	-2.8%	-4.0%	-5.5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,201	3.7%	6.0%	7.0%	9.2%	10.5%	11.7%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	7,891	0.7%	1.7%	2.5%	2.7%	1.3%	-0.5%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	209	-1.6%	-3.5%	-5.9%	-8.5%	-13.5%	-19.6%
X VI 周産期に発生した病態	74	-8.5%	-10.0%	-10.3%	-12.7%	-16.6%	-21.7%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	335	-5.0%	-7.1%	-6.8%	-7.4%	-10.3%	-14.4%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,911	1.3%	1.4%	0.8%	0.5%	0.2%	-0.3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,253	0.7%	0.3%	-0.5%	-1.3%	-2.4%	-3.2%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	23,130	1.3%	2.1%	2.4%	4.1%	4.5%	4.4%
X X II 特殊目的用コード	603	-1.7%	-4.0%	-6.4%	-9.1%	-12.2%	-16.0%
総数	160,281	1.3%	2.0%	2.1%	2.8%	2.6%	2.2%

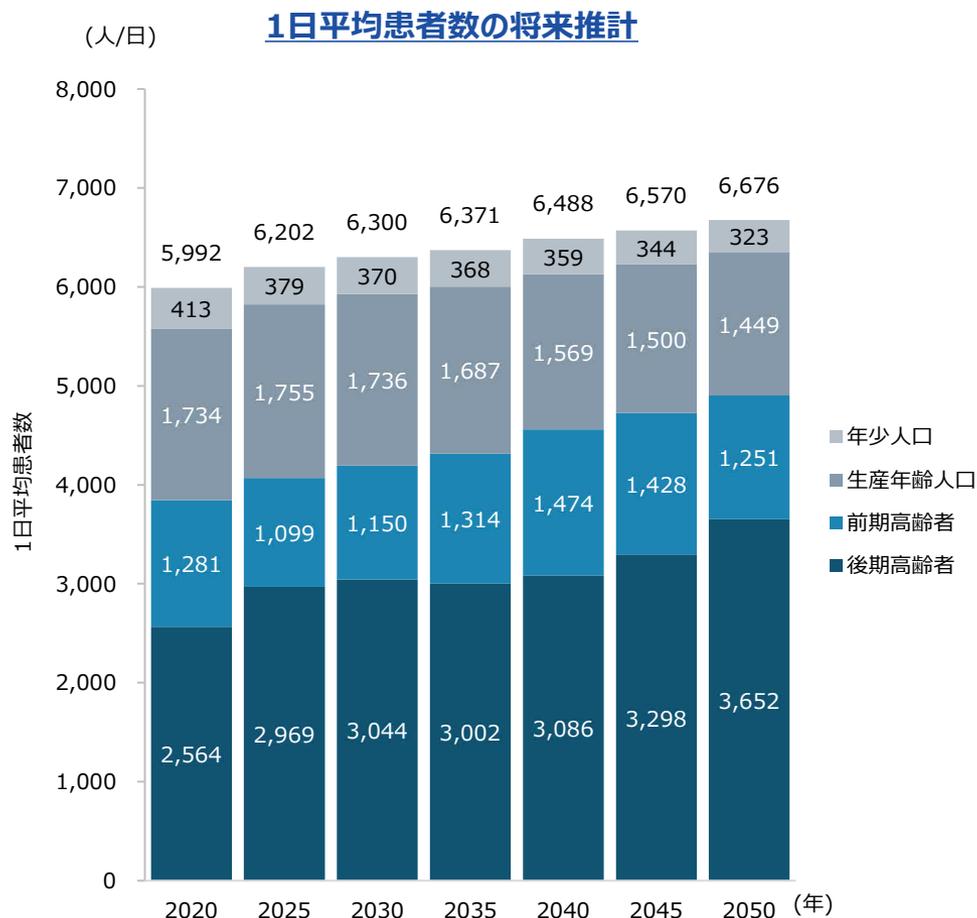
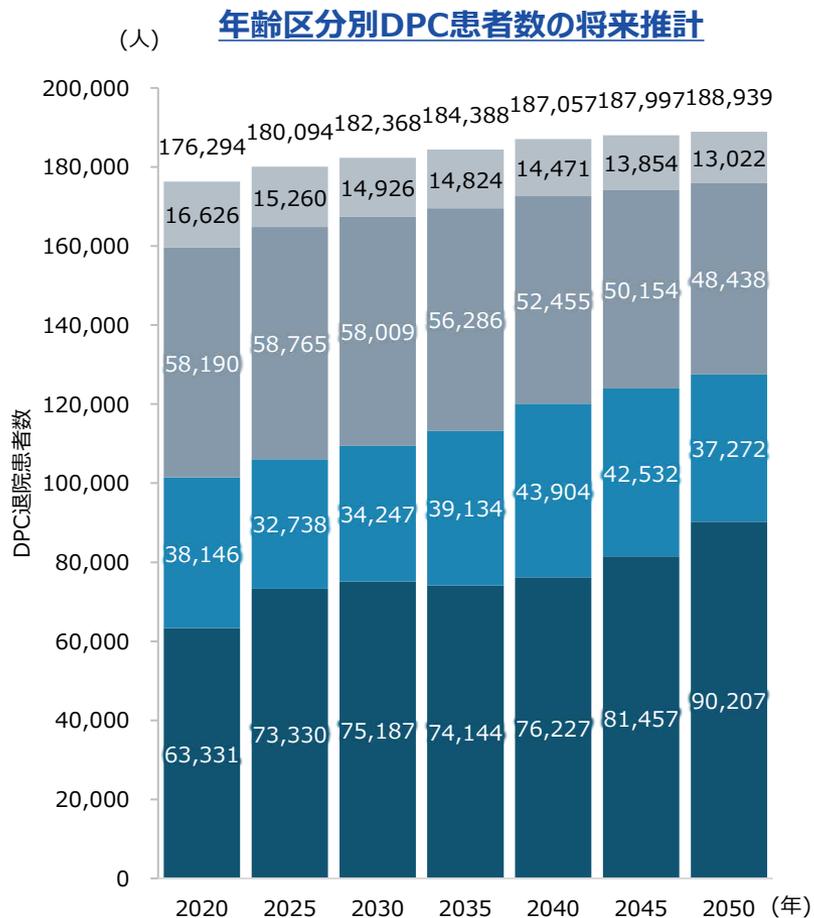
# 名古屋・尾張中部医療圏 | 精神病床の1日平均患者数



# 名古屋・尾張中部医療圏 | DPC患者数の推計

年齢層別のDPC患者数の将来推計を示しています。

多くの地域は後期高齢者のDPC患者数および1日平均患者数が増加傾向にありますが、その他の人口において減少が見られ、従来の手術を中心とした急性期医療は減少する見込みです。

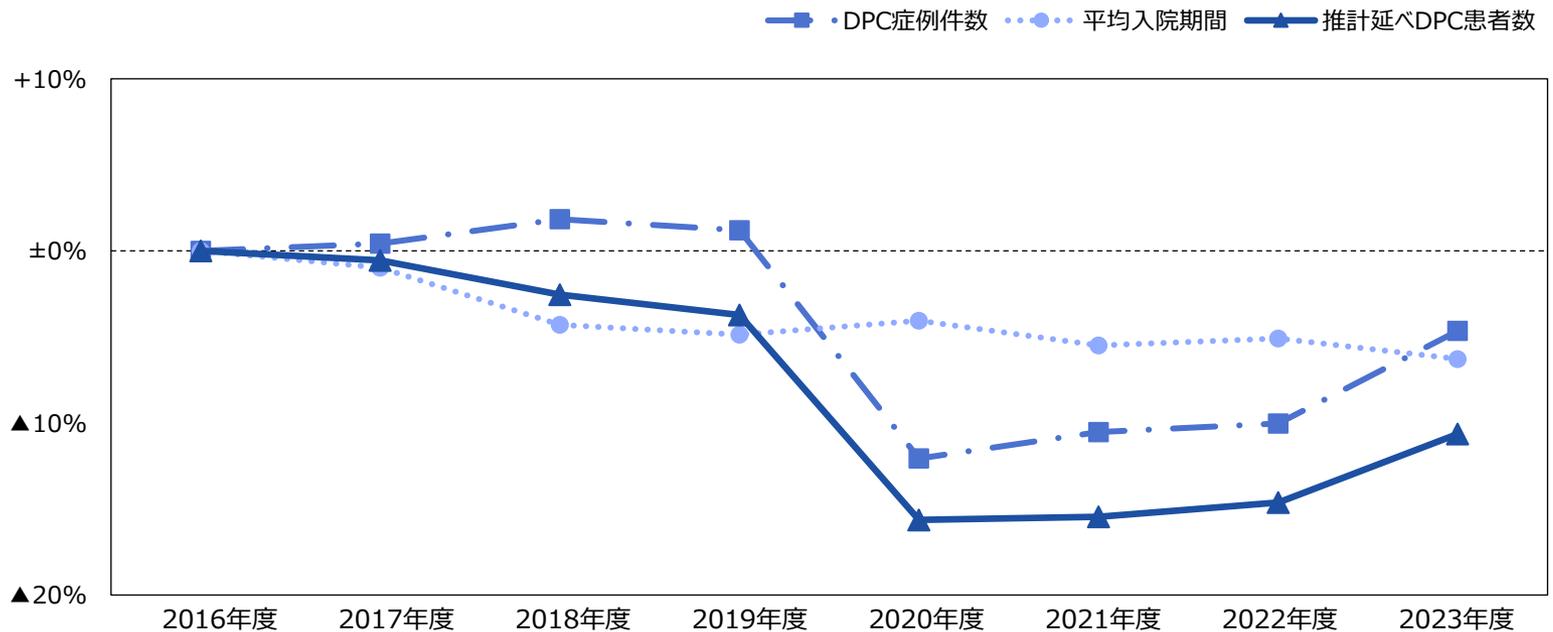


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

# 参考：名古屋・尾張中部医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移 (2016～2023年度にDPCに参加した病院)

当該医療圏内のDPC参加病院におけるDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



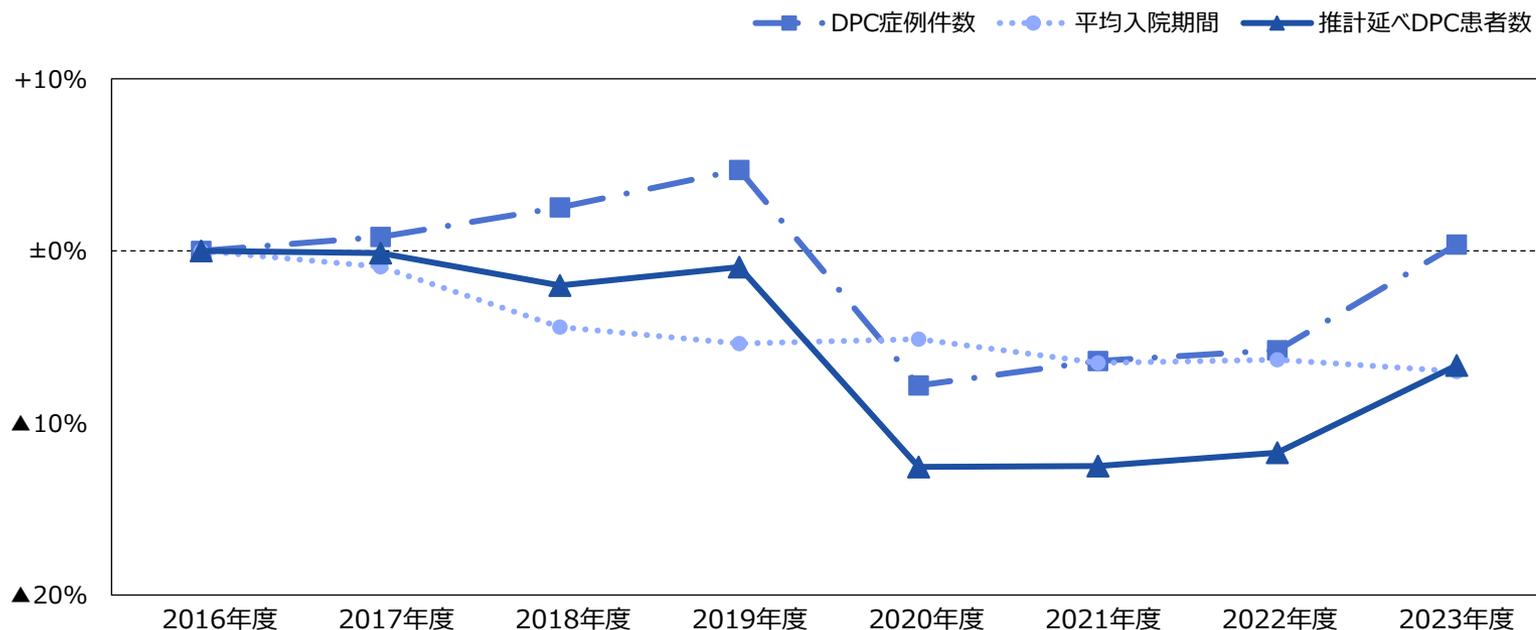
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	25	25	25	25	25	25	25	25
DPC症例件数	223,446	224,384	227,553	226,120	196,487	199,922	201,038	213,058
(2016年比)	-	+0.4%	+1.8%	+1.2%	▲12.1%	▲10.5%	▲10.0%	▲4.6%
平均入院期間	12.3	12.2	11.8	11.7	11.8	11.6	11.7	11.5
(2016年比)	-	▲1.0%	▲4.3%	▲4.9%	▲4.1%	▲5.5%	▲5.1%	▲6.3%
推計延べDPC患者数	2,752,533	2,737,059	2,682,593	2,649,760	2,322,197	2,327,348	2,350,225	2,459,690
(2016年比)	-	▲0.6%	▲2.5%	▲3.7%	▲15.6%	▲15.4%	▲14.6%	▲10.6%

# 参考：名古屋・尾張中部医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移

(全病院：出来高病院を含む)

出来高病院を含むDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	50	53	66	76	78	86	90	98
DPC症例件数	239,472	241,420	245,535	250,734	220,742	224,128	225,635	240,354
(2016年比)	-	+0.8%	+2.5%	+4.7%	▲7.8%	▲6.4%	▲5.8%	+0.4%
平均入院期間	12.3	12.2	11.8	11.7	11.7	11.5	11.5	11.5
(2016年比)	-	▲0.9%	▲4.4%	▲5.4%	▲5.1%	▲6.5%	▲6.3%	▲7.0%
推計延べDPC患者数	2,948,819	2,945,150	2,889,385	2,921,167	2,578,608	2,580,076	2,602,893	2,752,459
(2016年比)	-	▲0.1%	▲2.0%	▲0.9%	▲12.6%	▲12.5%	▲11.7%	▲6.7%

# 参考：都道府県別DPC参加病院の平均入院日数の推移（2016～2023年度）

全国および都道府県の平均入院日数の推移を示しています。

全ての都道府県で在院日数が短縮されており、今後も政策効果等の影響で短縮していくことが見込まれます。

No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率		No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
					2018対2016	2023対2016						2018対2016	2023対2016
-	全国計	12.43	12.05	11.72	▲3.0%	▲5.7%	24	三重県	12.58	12.10	11.78	▲3.8%	▲6.3%
1	北海道	12.49	12.10	11.67	▲3.1%	▲6.5%	25	滋賀県	12.51	12.01	11.53	▲4.0%	▲7.8%
2	青森県	13.82	13.23	13.26	▲4.3%	▲4.0%	26	京都府	12.16	11.71	11.22	▲3.7%	▲7.8%
3	岩手県	12.87	12.48	12.25	▲3.0%	▲4.8%	27	大阪府	12.22	11.77	11.41	▲3.7%	▲6.7%
4	宮城県	12.42	11.72	11.41	▲5.6%	▲8.2%	28	兵庫県	11.95	11.54	11.47	▲3.4%	▲4.0%
5	秋田県	12.89	12.53	12.15	▲2.8%	▲5.7%	29	奈良県	12.50	12.36	11.99	▲1.1%	▲4.1%
6	山形県	13.03	12.84	12.74	▲1.5%	▲2.2%	30	和歌山県	13.33	12.60	12.53	▲5.5%	▲6.0%
7	福島県	13.40	13.13	12.53	▲2.0%	▲6.5%	31	鳥取県	13.01	12.35	12.29	▲5.1%	▲5.5%
8	茨城県	12.45	12.21	11.78	▲2.0%	▲5.4%	32	島根県	12.67	12.00	11.66	▲5.3%	▲8.0%
9	栃木県	12.90	12.79	12.48	▲0.9%	▲3.3%	33	岡山県	12.15	12.03	11.50	▲1.0%	▲5.3%
10	群馬県	12.16	11.69	11.68	▲3.9%	▲3.9%	34	広島県	12.36	12.15	11.36	▲1.7%	▲8.1%
11	埼玉県	12.49	12.19	11.98	▲2.4%	▲4.1%	35	山口県	13.50	12.99	12.73	▲3.8%	▲5.7%
12	千葉県	12.19	12.01	12.07	▲1.5%	▲1.0%	36	徳島県	12.08	11.76	11.77	▲2.6%	▲2.6%
13	東京都	11.94	11.58	11.16	▲3.0%	▲6.5%	37	香川県	12.79	12.41	12.06	▲2.9%	▲5.7%
14	神奈川県	11.70	11.25	11.25	▲3.8%	▲3.9%	38	愛媛県	13.01	12.69	12.03	▲2.5%	▲7.6%
15	新潟県	13.08	12.83	12.45	▲1.9%	▲4.8%	39	高知県	13.38	13.17	11.99	▲1.6%	▲10.4%
16	富山県	12.31	12.03	11.70	▲2.3%	▲4.9%	40	福岡県	12.79	12.52	12.13	▲2.1%	▲5.2%
17	石川県	12.91	12.50	11.65	▲3.2%	▲9.8%	41	佐賀県	13.61	13.12	12.71	▲3.6%	▲6.6%
18	福井県	12.43	11.82	11.53	▲4.9%	▲7.2%	42	長崎県	13.19	12.47	12.07	▲5.5%	▲8.5%
19	山梨県	11.88	11.61	11.76	▲2.3%	▲1.0%	43	熊本県	12.82	12.33	12.05	▲3.8%	▲6.0%
20	長野県	12.22	11.97	11.67	▲2.1%	▲4.5%	44	大分県	13.58	13.00	12.12	▲4.2%	▲10.7%
21	岐阜県	12.25	12.09	11.74	▲1.3%	▲4.2%	45	宮崎県	13.43	12.74	11.93	▲5.1%	▲11.2%
22	静岡県	12.58	12.32	11.96	▲2.0%	▲4.9%	46	鹿児島県	13.17	12.92	12.13	▲1.8%	▲7.9%
23	愛知県	12.21	11.74	11.39	▲3.8%	▲6.7%	47	沖縄県	12.35	12.07	11.90	▲2.3%	▲3.6%

## 参考：名古屋・尾張中部医療圏 | DPC参加病院の平均入院日数の推移

当該医療圏のMDC別の平均入院期間の推移を示しています。

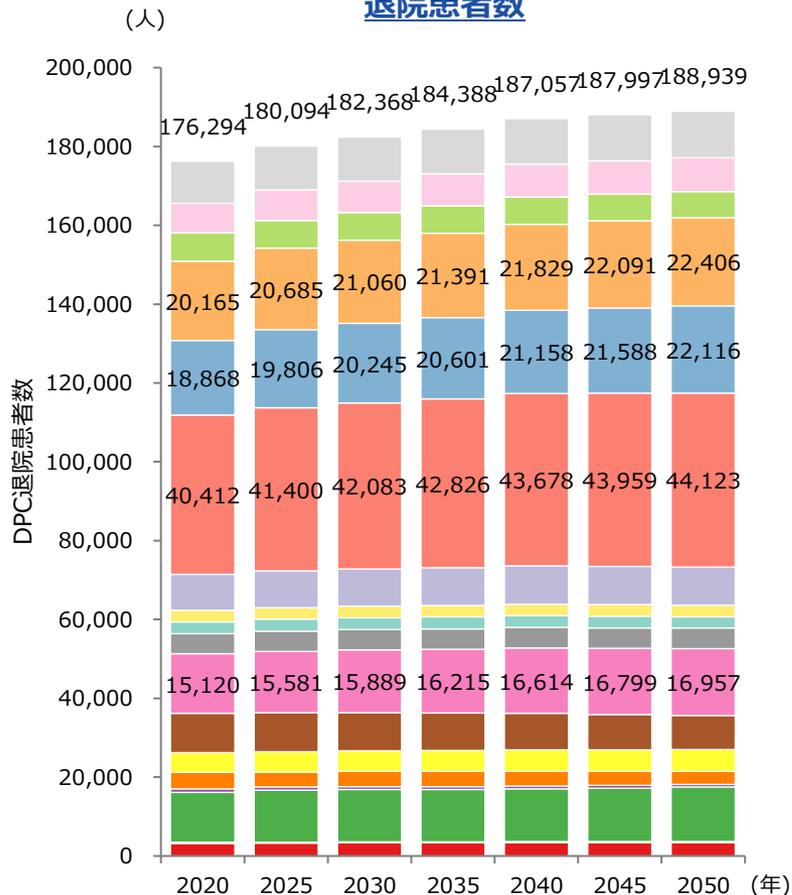
MDC名称	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
				2018対2016	2023対2016
01_神経系	17.66	16.61	15.81	▲5.9%	▲10.5%
02_眼科系	5.38	5.12	4.85	▲4.7%	▲9.8%
03_耳鼻咽喉系	8.32	7.93	7.81	▲4.7%	▲6.1%
04_呼吸器系	14.37	13.65	13.96	▲5.0%	▲2.9%
05_循環器系	12.12	11.77	11.83	▲2.9%	▲2.4%
06_消化器系	11.50	10.93	10.37	▲4.9%	▲9.8%
07_筋骨格系	15.61	14.86	14.63	▲4.8%	▲6.3%
08_皮膚・皮下組織	10.88	10.01	10.31	▲8.0%	▲5.2%
09_乳房	8.70	8.71	7.55	0.1%	▲13.2%
10_内分泌・栄養・代謝	13.23	12.90	11.43	▲2.5%	▲13.6%
11_腎・尿路系	10.32	9.86	9.76	▲4.5%	▲5.5%
12_女性疾患	9.20	8.52	7.65	▲7.4%	▲16.8%
13_血液系	21.65	19.62	18.39	▲9.4%	▲15.1%
14_新生児	13.47	12.90	13.38	▲4.2%	▲0.7%
15_小児疾患	6.89	7.19	6.77	4.3%	▲1.8%
16_外傷・熱傷・中毒	14.50	13.77	13.46	▲5.0%	▲7.1%
17_精神疾患	8.58	7.65	7.21	▲10.9%	▲16.0%
18_その他	17.10	16.29	15.32	▲4.7%	▲10.4%
全体	12.32	11.77	11.53	▲4.5%	▲6.4%

# 名古屋・尾張中部医療圏 | MDC別DPCの退院患者数の推計

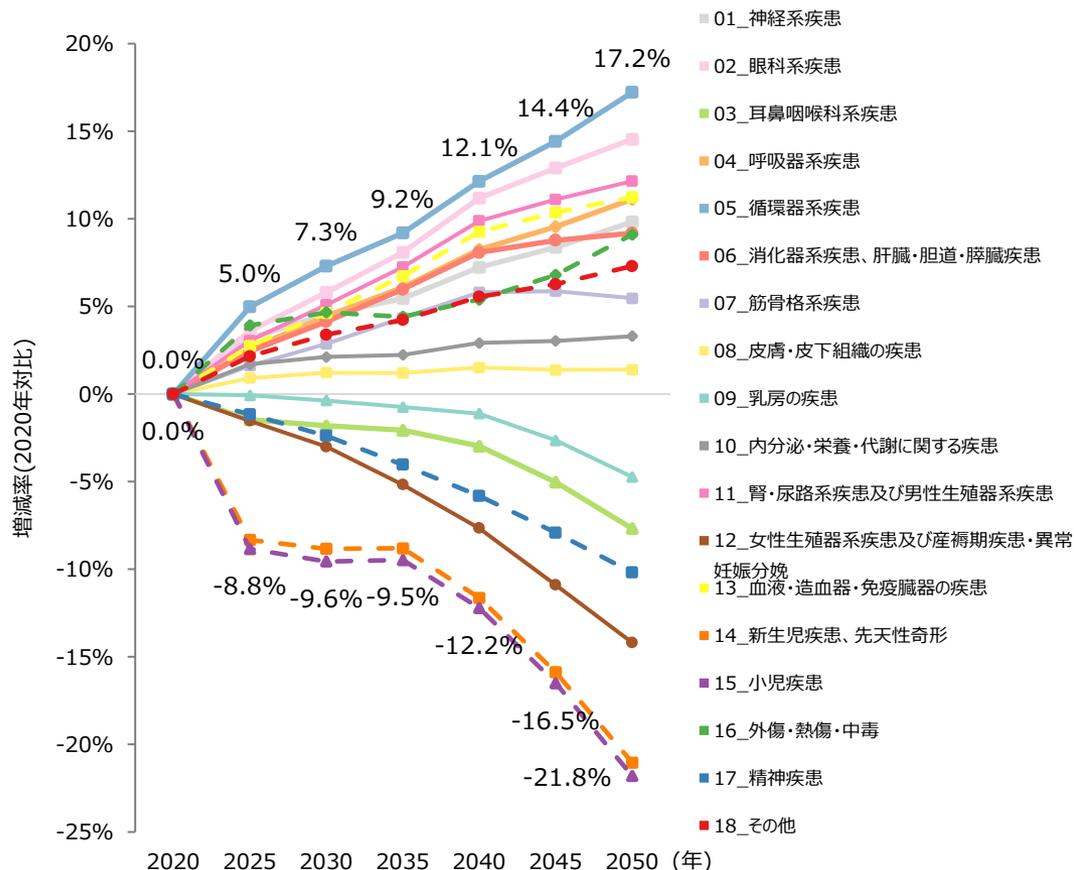
疾患別のDPC退院患者数の将来推計を示しています。

多くの地域では高齢者に多い疾患は増加傾向にあり、女性疾患や小児周産期にかかる疾患は大幅に減少する傾向にあります。

### 退院患者数



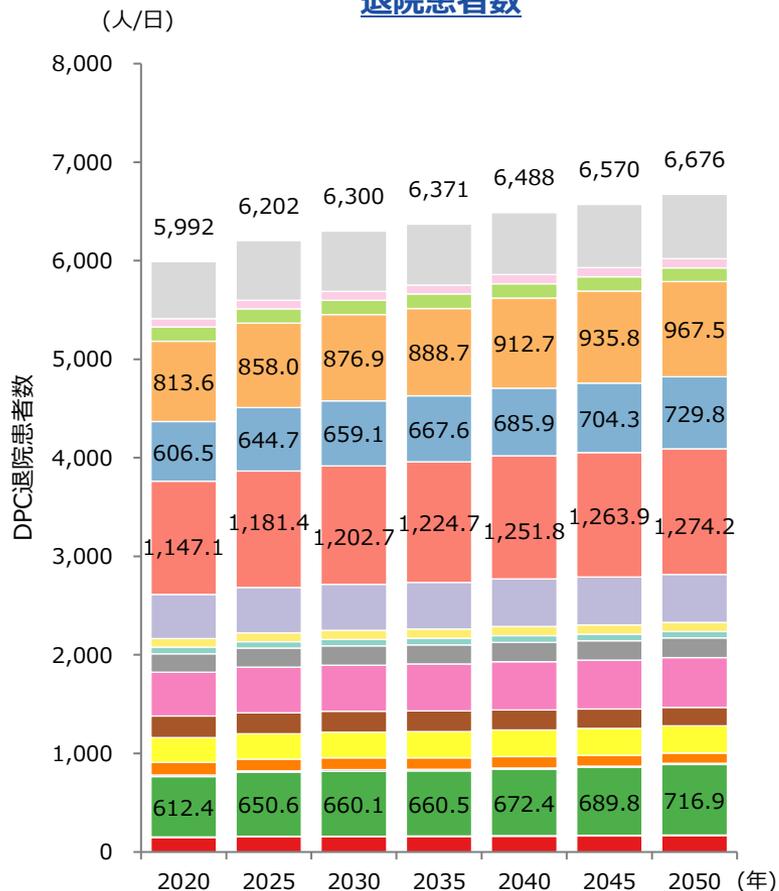
### 増減率



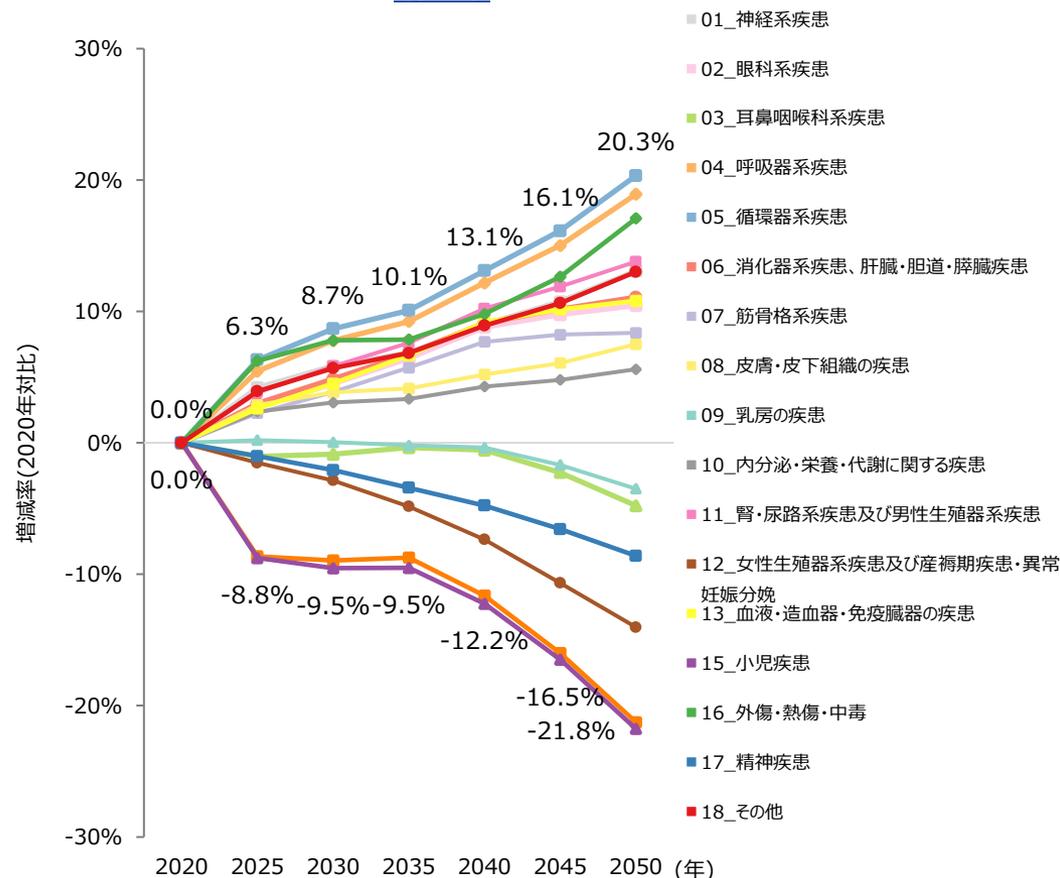
# 名古屋・尾張中部医療圏 | MDC別DPCの1日平均患者数の推計

疾患別のDPCの1日平均患者数の将来推計を示しています。

### 退院患者数



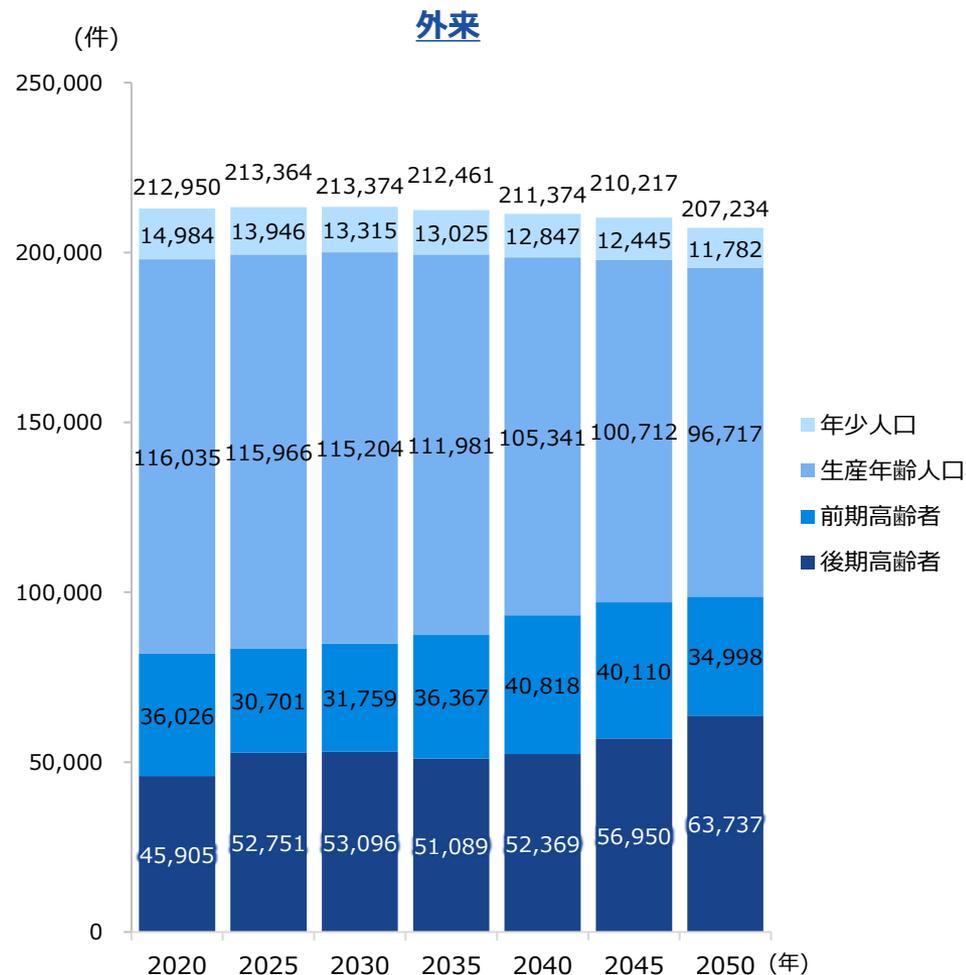
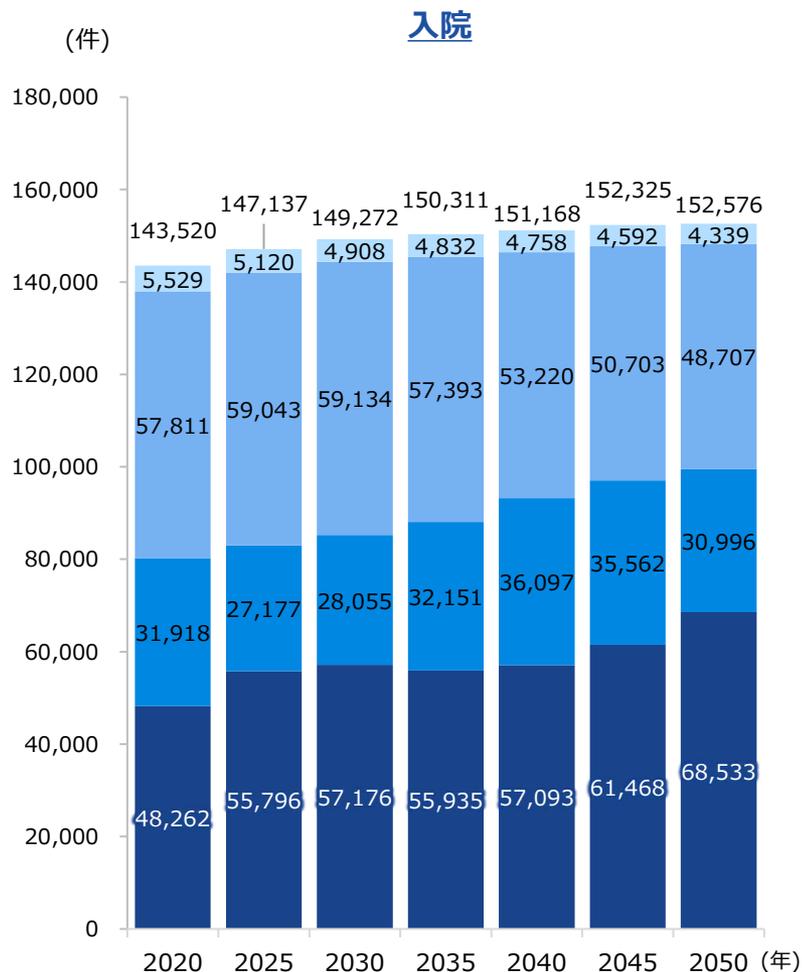
### 増減率



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 手術件数の推計

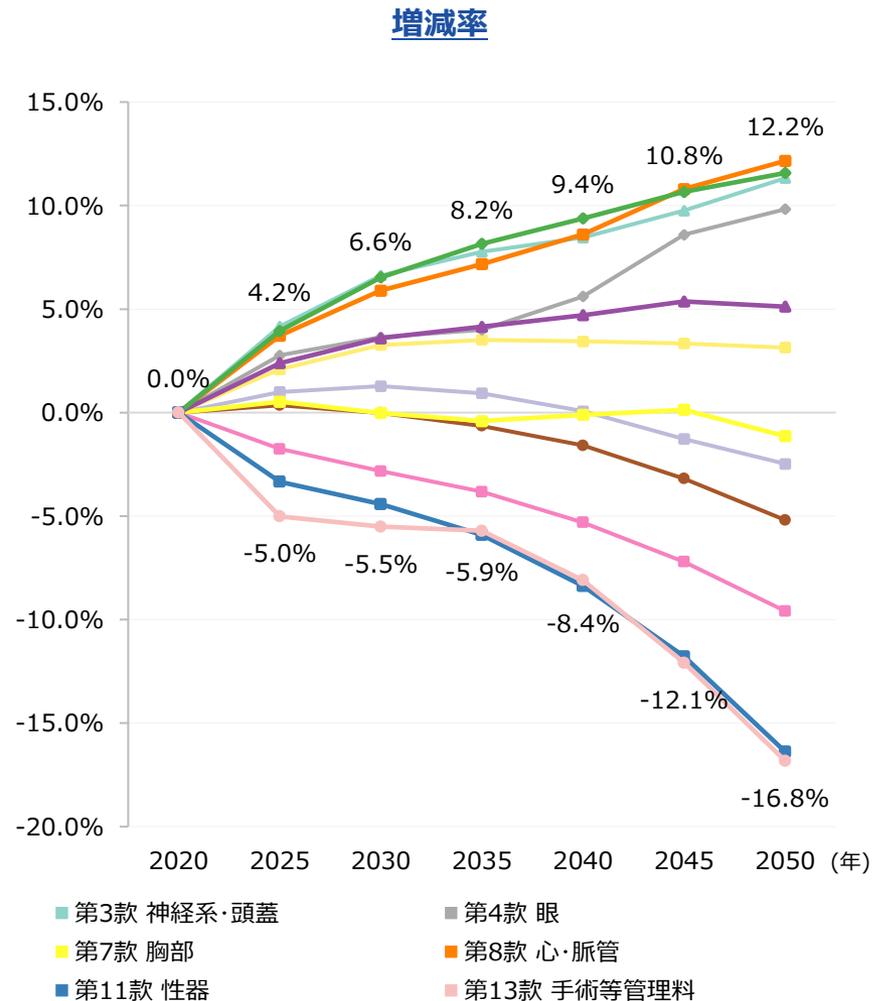
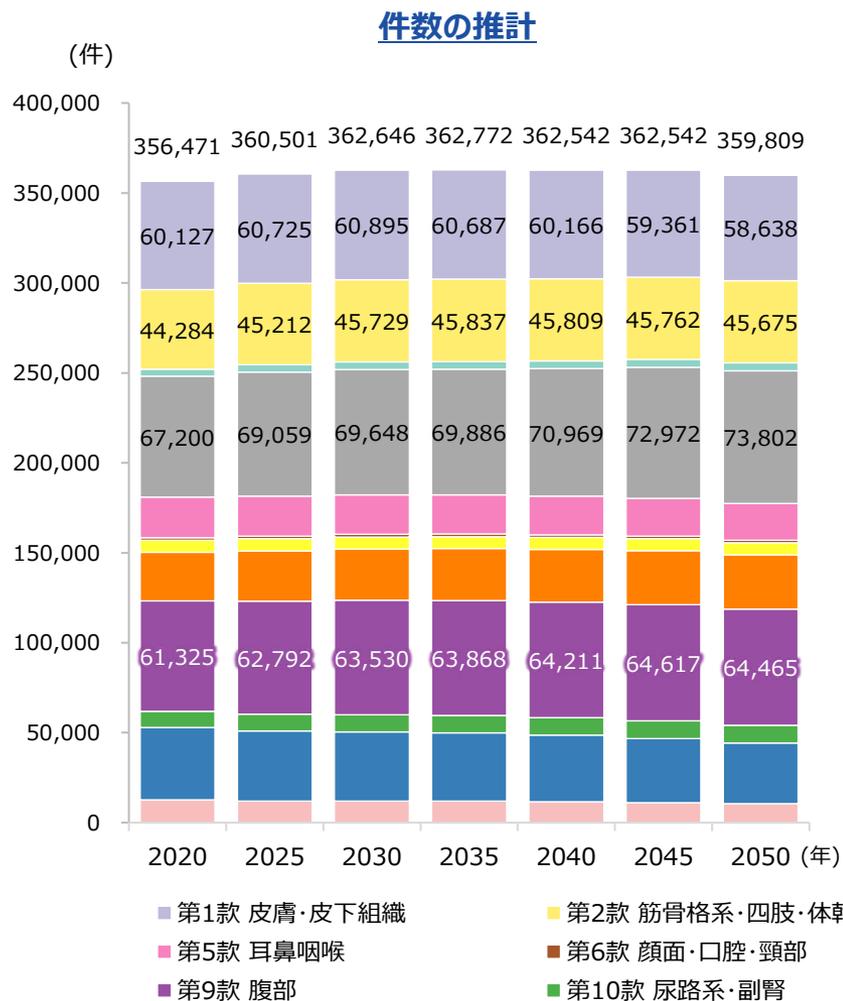
年齢区分別の入院・外来の手術件数の将来推計を示しています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 部位別の手術件数

部位別の手術件数の将来推計を示しています。



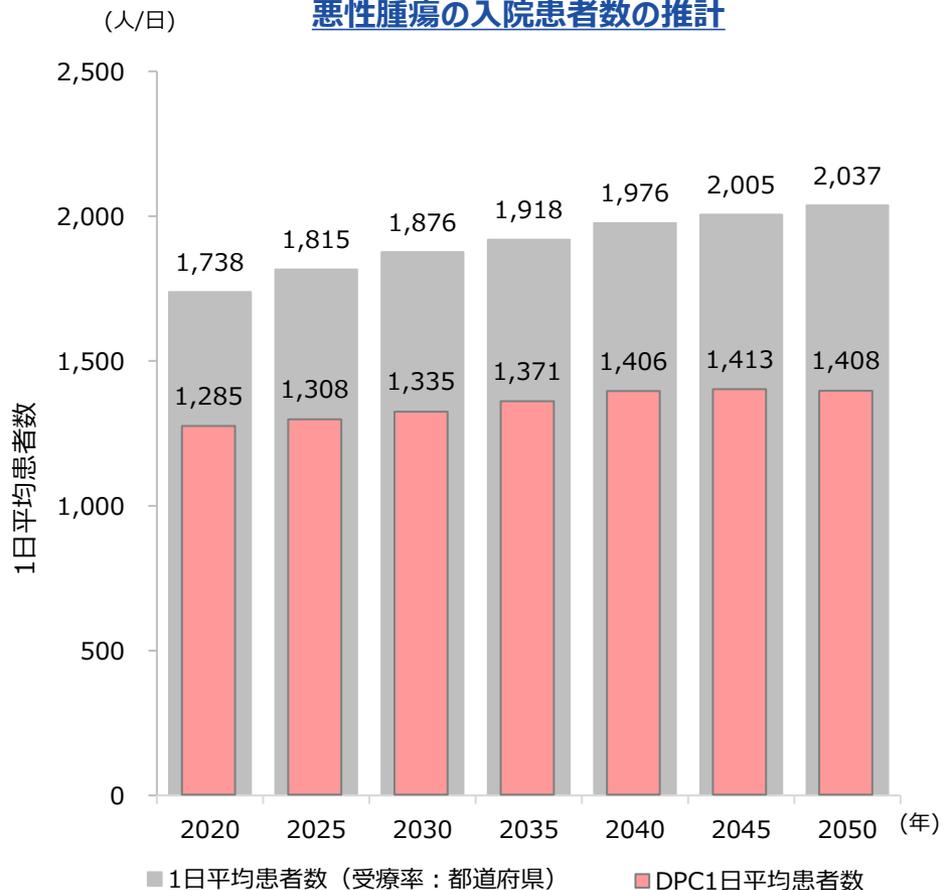
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 疾患別患者数の推計：悪性腫瘍

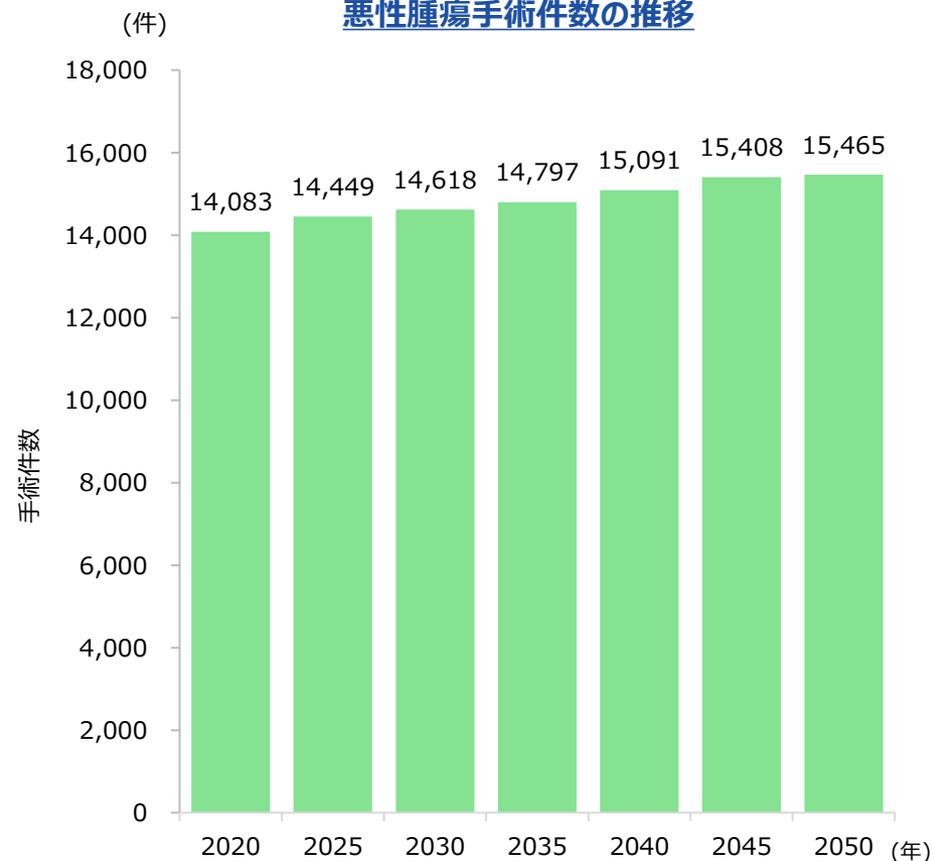
悪性腫瘍の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

悪性腫瘍は手術療法中心の医療から放射線療法・化学療法を含めた集学的治療へシフトしていることや、低侵襲治療の発展から、推計よりも減少する可能性があります。

悪性腫瘍の入院患者数の推計



悪性腫瘍手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

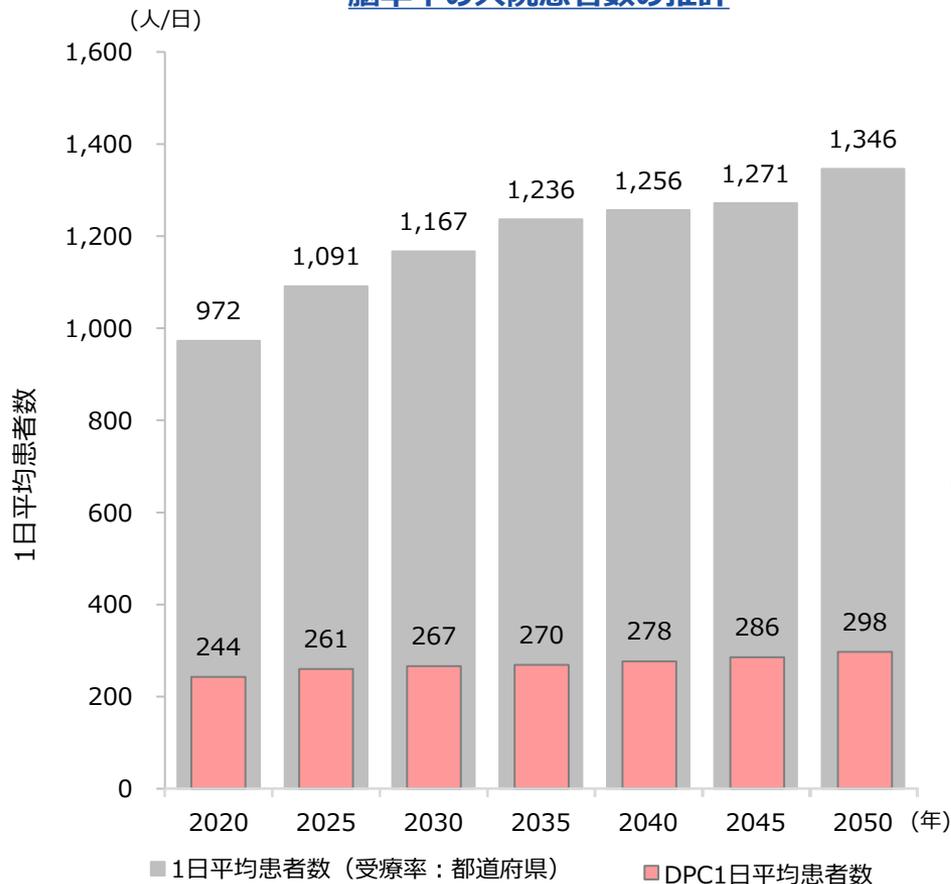
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 疾患別患者数の推計：脳卒中

脳卒中の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

脳卒中は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にありますが、DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

### 脳卒中の入院患者数の推計



### 脳卒中手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

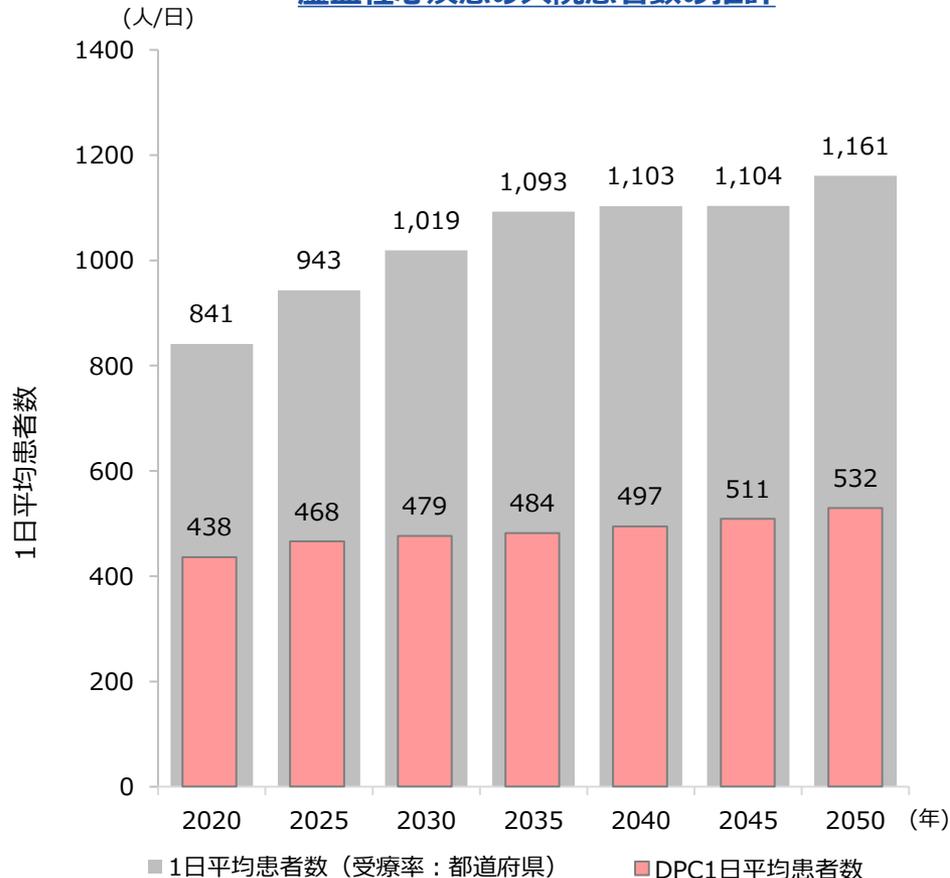
2026 © NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 疾患別患者数の推計：虚血性心疾患等

虚血性心疾患の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

虚血性心疾患は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にあります。DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

### 虚血性心疾患の入院患者数の推計



### 心臓カテーテル手術等の手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

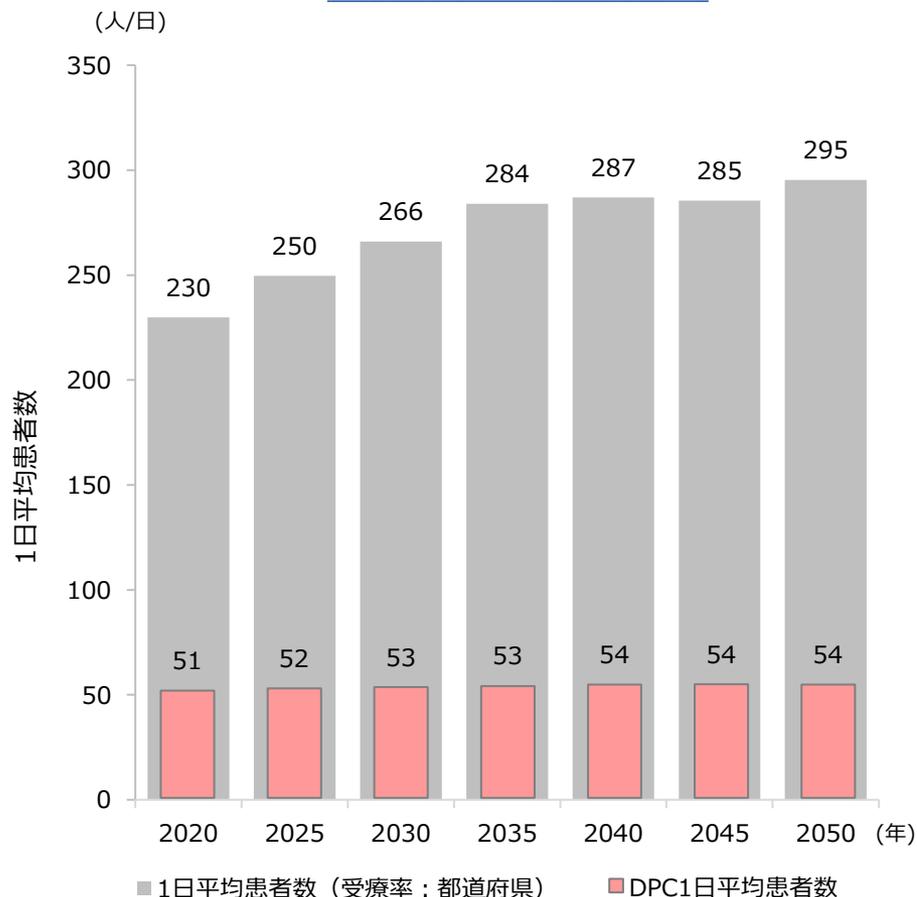
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

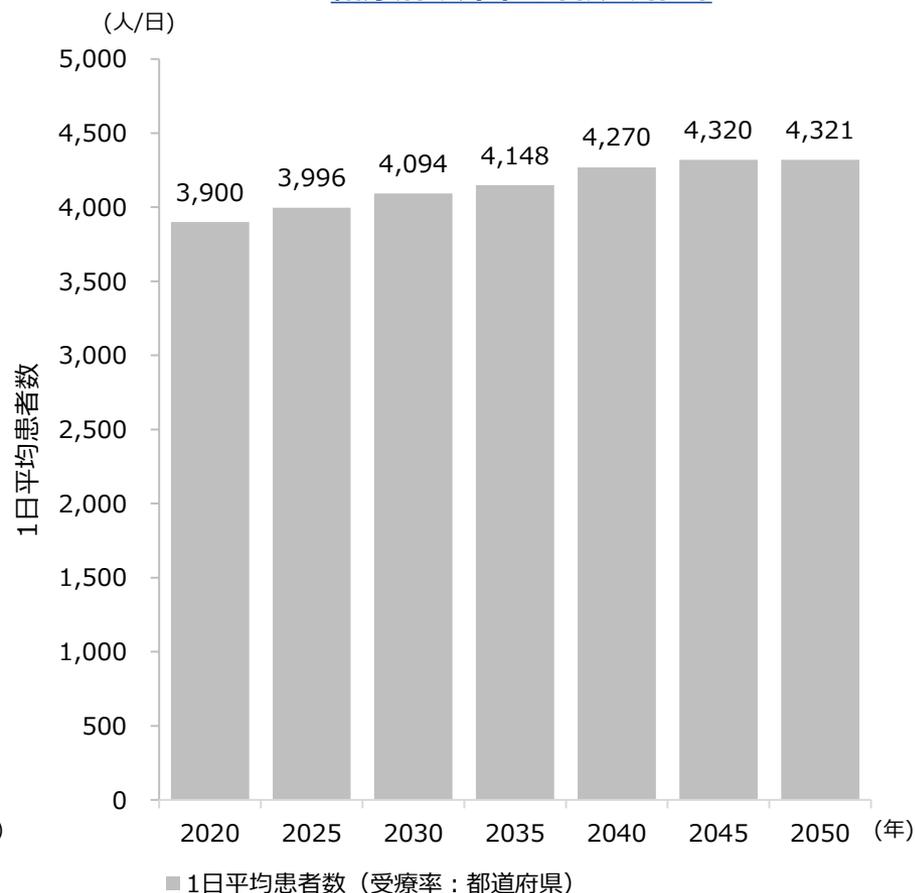
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 疾患別患者数の推計：糖尿病

## 糖尿病の入院患者数の推計



## 糖尿病の外来患者数の推計



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

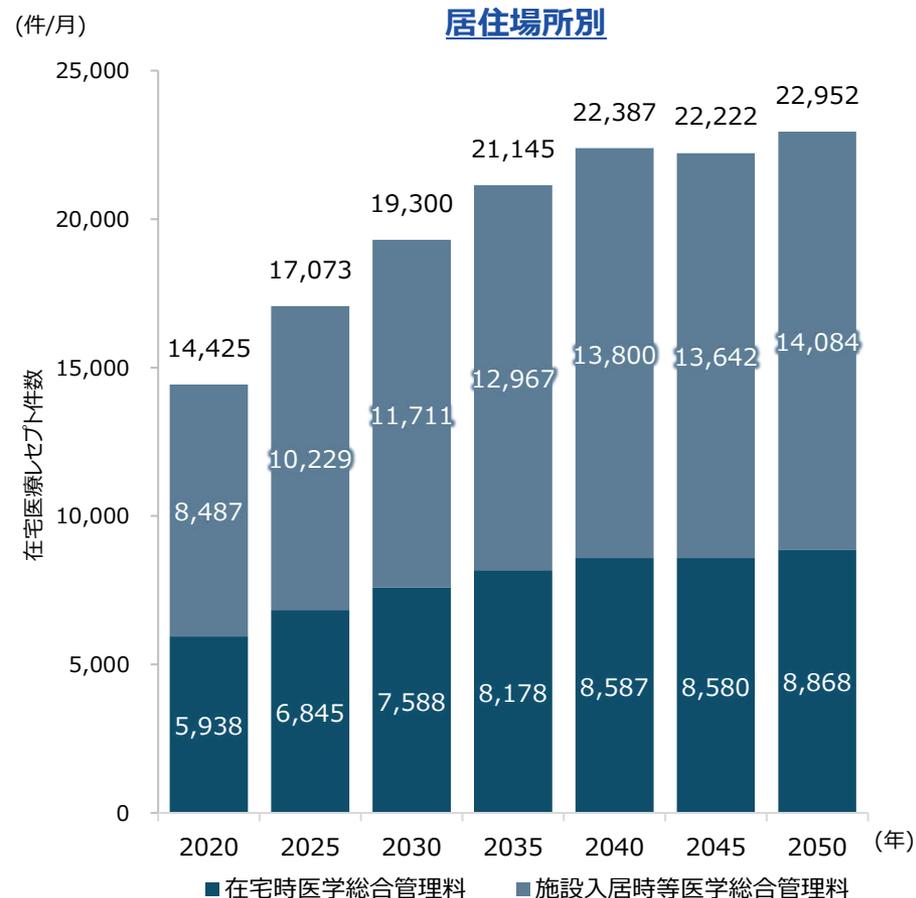
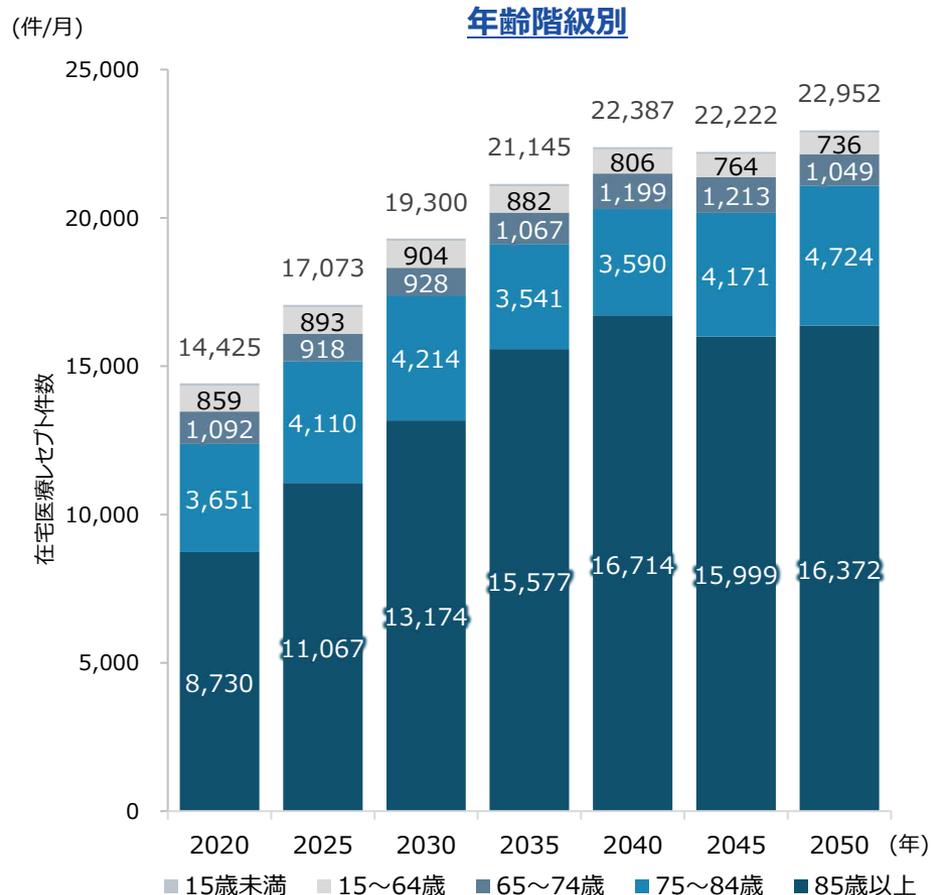
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 在宅医療患者数の推計

全国の在宅時医学総合管理料および施設入居時医学総合管理料の発生率を用いた将来推計を示しています。

月に1回算定可能な管理料であり、月当たりの患者数の増減傾向が確認できます。

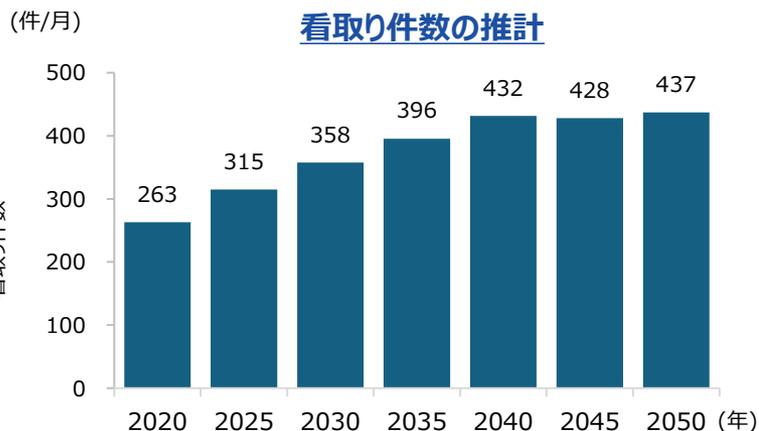
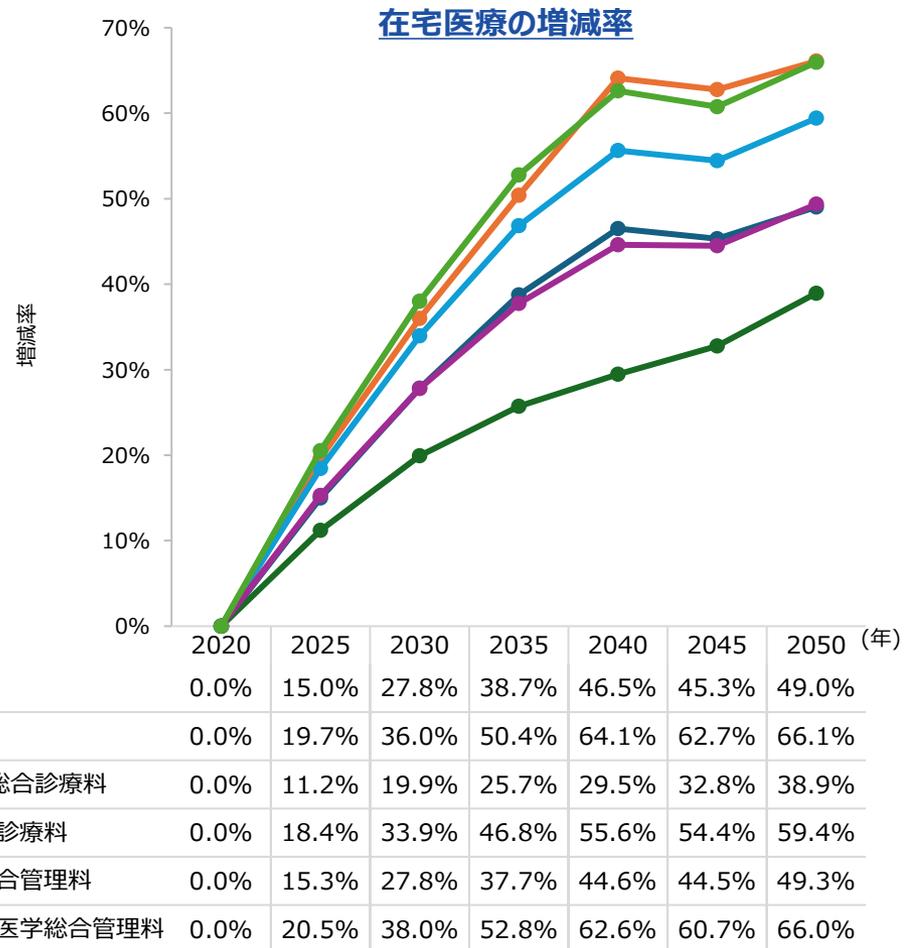


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 在宅医療訪問回数および増減率

全国の発生率を用いた在宅医療の主な診療行為の算定回数の将来推計を示しています。

多くの地域では2040年以降まで大幅な増加が見込まれており、在宅医療の体制整備が求められます。

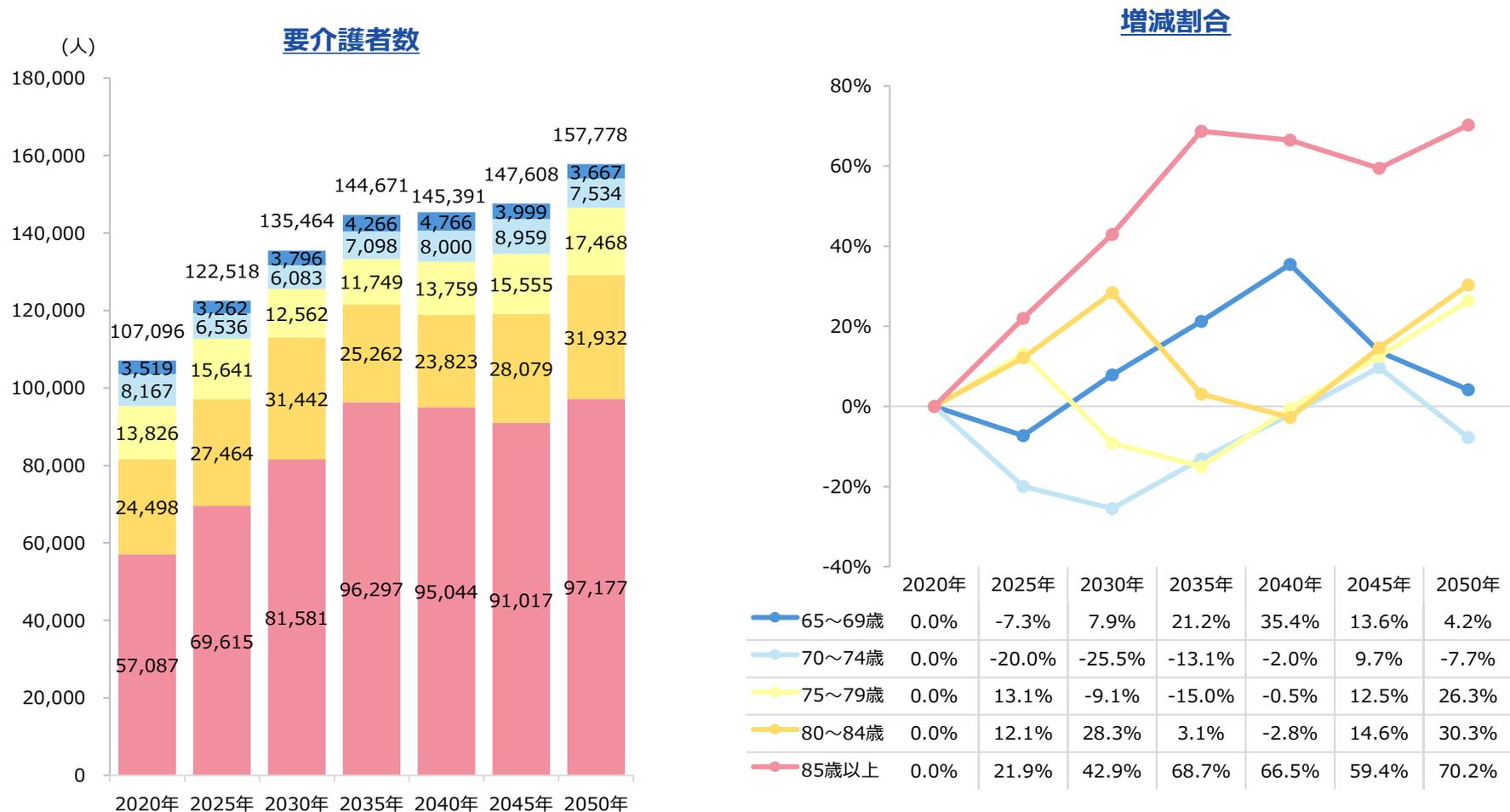


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 年齢別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護認定者数の将来推計を示しています。（介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります）

多くの地域では85歳以上の人口増加に伴い、要介護者数の増加が見込まれています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および

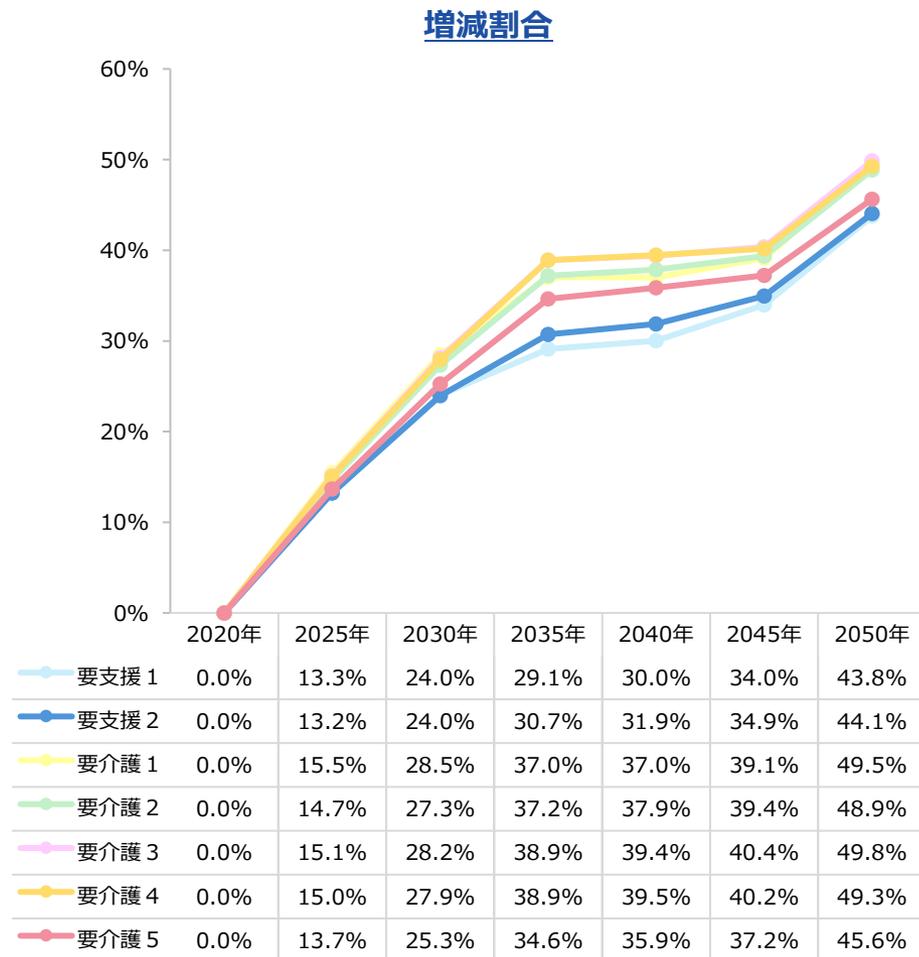
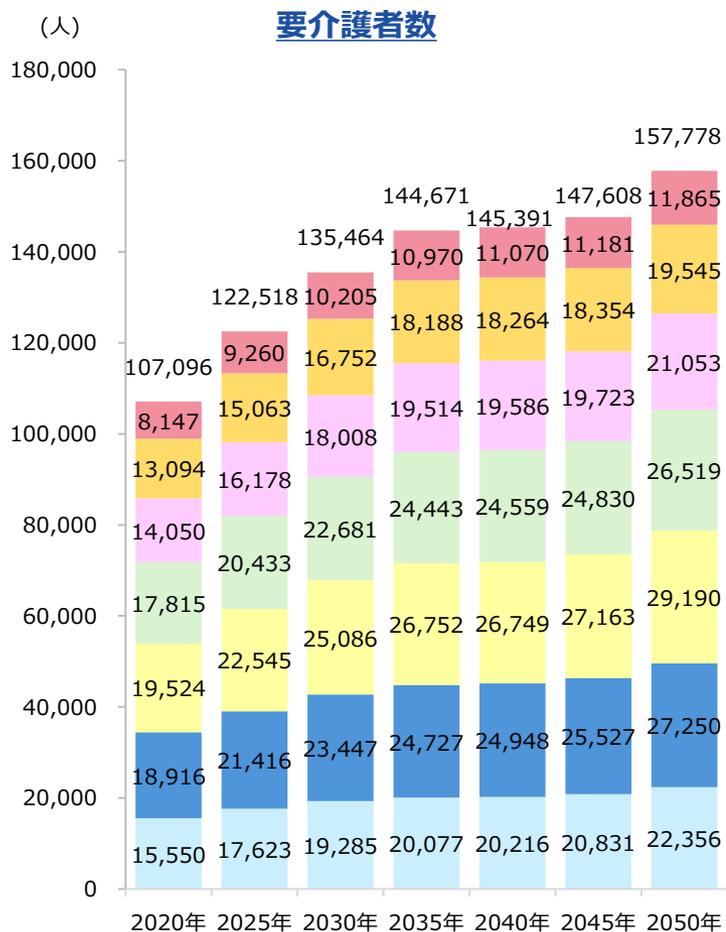
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。

その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 要介護度別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護度別の要介護認定者数の将来推計を示しています。（介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります）

要介護度3以上の増加は、介護者および介護事業所の従業員への負担や人材確保の難化を招く可能性があります。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および

「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。

その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

## 4/ 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

---

診療実績と役割分担の状況から、地域の医療機関のポジショニングを整理する。

救急車受入数

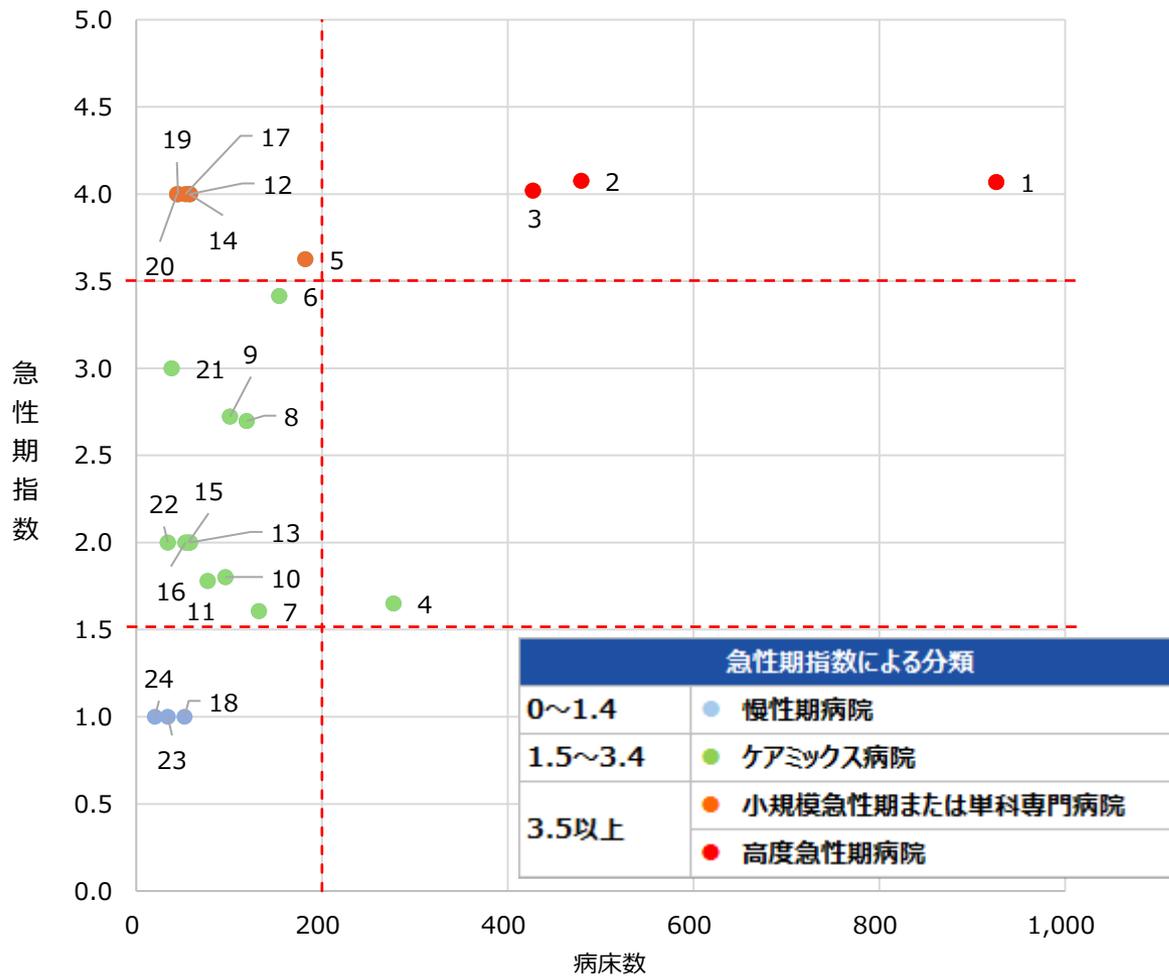
手術件数

DPC症例数

各医療機関の診療実績をもとに、地域の医療機能がどこに集中しているかを把握する。  
機能分化や医療機関間の連携状況を可視化し、地域全体で質の高い医療を提供するための課題を整理する。

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。

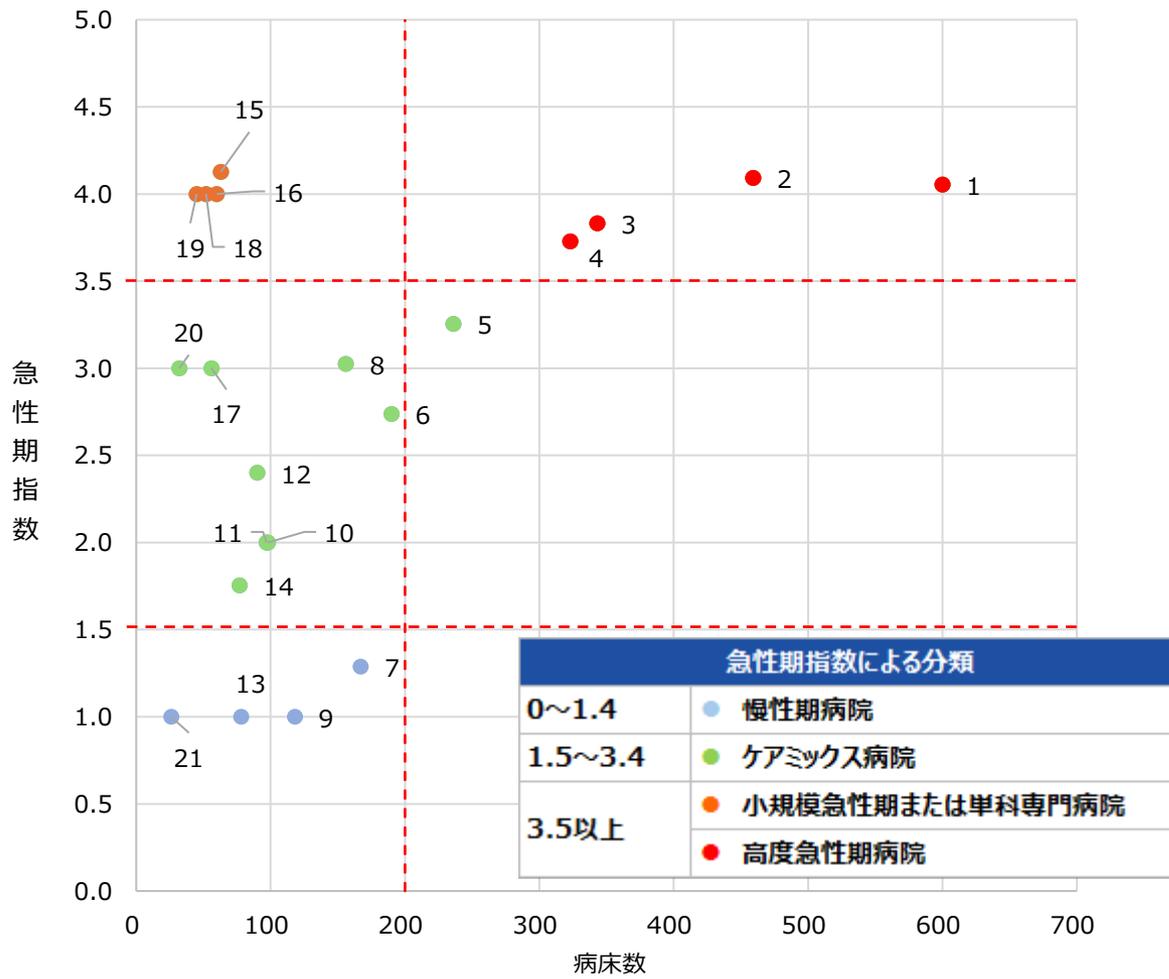


No.	医療機関略称	稼働病床数	急性期指数
1	名古屋大学医学部附属病院	926	4.1
2	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	479	4.1
3	愛知県がんセンター	427	4.0
4	NHO東名古屋病院	277	1.6
5	聖霊病院	182	3.6
6	KKR東海病院	154	3.4
7	紘仁病院	132	1.6
8	名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院	119	2.7
9	守山いつき病院	101	2.7
10	メイトウホスピタル	96	1.8
11	和田内科病院	77	1.8
12	星ヶ丘マタニティ病院	58	4.0
13	木村病院	58	2.0
14	吉田病院	57	4.0
15	川島病院	56	2.0
16	ちくさ病院	53	2.0
17	かわな病院	53	4.0
18	いのこし病院	52	1.0
19	はちや整形外科病院	45	4.0
20	愛知学院大学歯学部附属病院	44	4.0
21	安井病院	38	3.0
22	昌峰会 加藤病院	34	2.0
23	すぎやま病院	34	1.0
24	守山友愛病院	20	1.0

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。

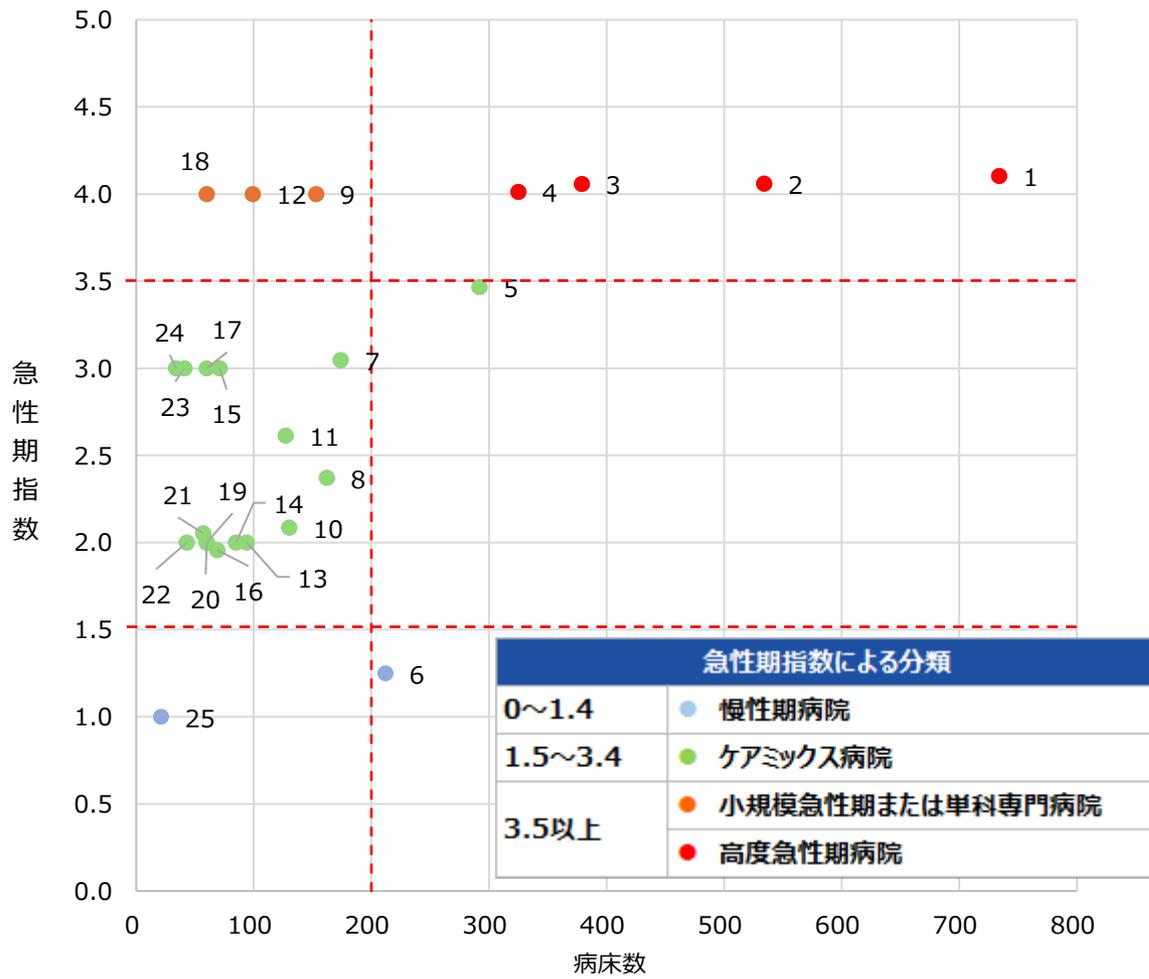


No.	医療機関略称	稼働病床数	急性期指数
1	NHO名古屋医療センター	600	4.1
2	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	459	4.1
3	名鉄病院	343	3.8
4	KKR名城病院	323	3.7
5	総合上飯田第一病院	236	3.3
6	重工大須病院	190	2.7
7	AOI名古屋病院	167	1.3
8	大隈病院	156	3.0
9	勝又病院	118	1.0
10	上飯田リハビリテーション病院	98	2.0
11	愛知県済生会リハビリテーション病院	97	2.0
12	中日病院	90	2.4
13	名古屋市重症心身障害児者施設	78	1.0
14	名春中央病院	77	1.8
15	名古屋ハートセンター	63	4.1
16	眼科杉田病院	60	4.0
17	横山記念病院	56	3.0
18	北病院	52	4.0
19	米田病院	45	4.0
20	眼科三宅病院	32	3.0
21	橋本内科	26	1.0

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。

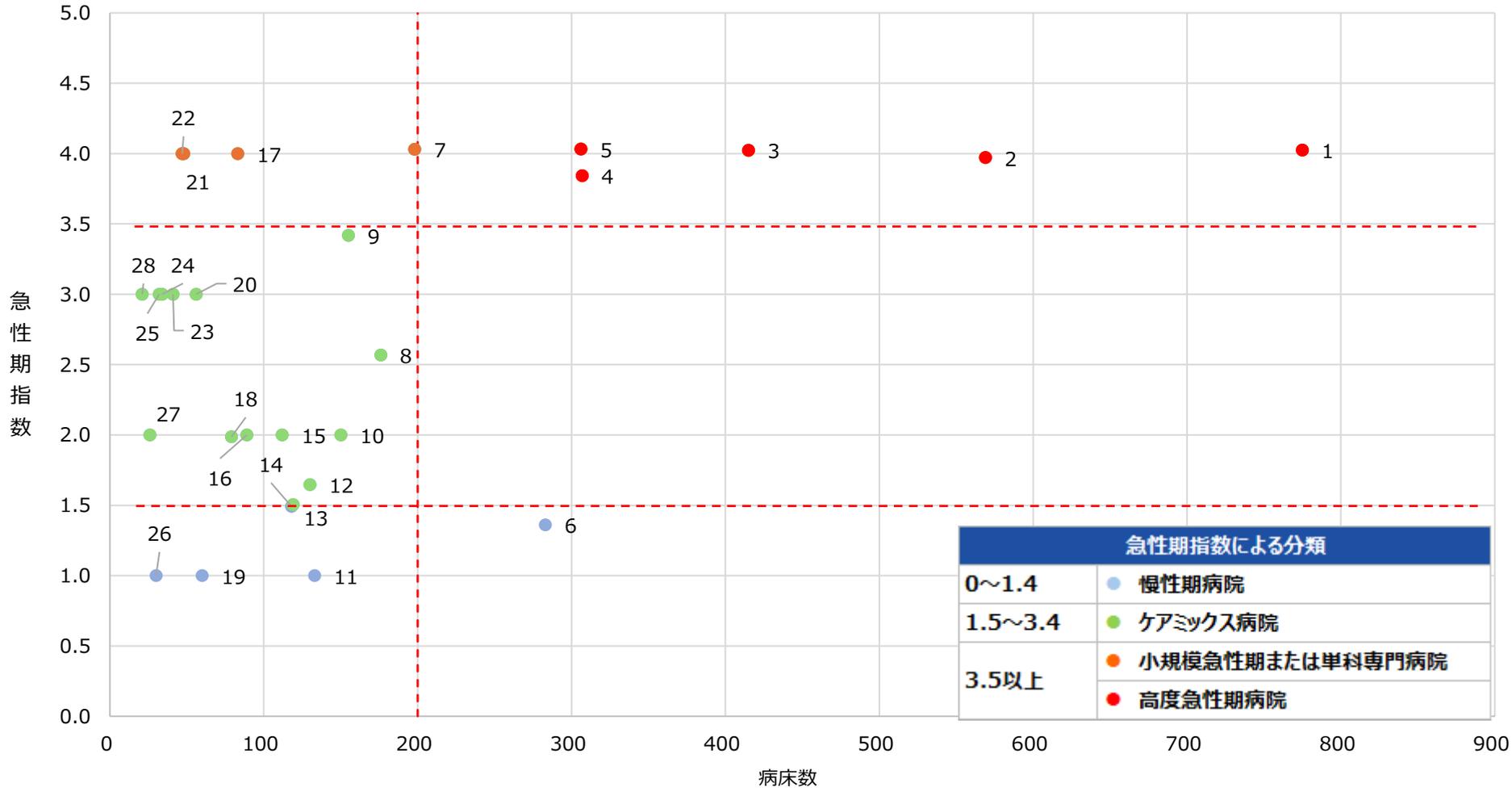


No.	医療機関略称	稼働病床数	急性期指数
1	名古屋市立大学病院	734	4.1
2	JCHO中京病院	534	4.1
3	大同病院	379	4.1
4	名古屋記念病院	325	4.0
5	南生協病院	292	3.5
6	並木病院	212	1.3
7	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	174	3.0
8	相生山病院	162	2.4
9	名南病院	153	4.0
10	新生会第一病院	130	2.1
11	第一なるみ病院	127	2.6
12	野垣病院	99	4.0
13	善常会リハビリテーション病院	94	2.0
14	笠寺病院	85	2.0
15	名古屋市総合リハビリセンター附属病院	71	3.0
16	小松病院	69	2.0
17	平岩病院	60	3.0
18	山口病院	60	4.0
19	名南ふれあい病院	60	2.0
20	南医療生協かなめ病院	60	2.0
21	ブラザー記念病院	57	2.1
22	北村病院	43	2.0
23	八事病院	41	3.0
24	稲熊病院	34	3.0
25	西本病院	21	1.0

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

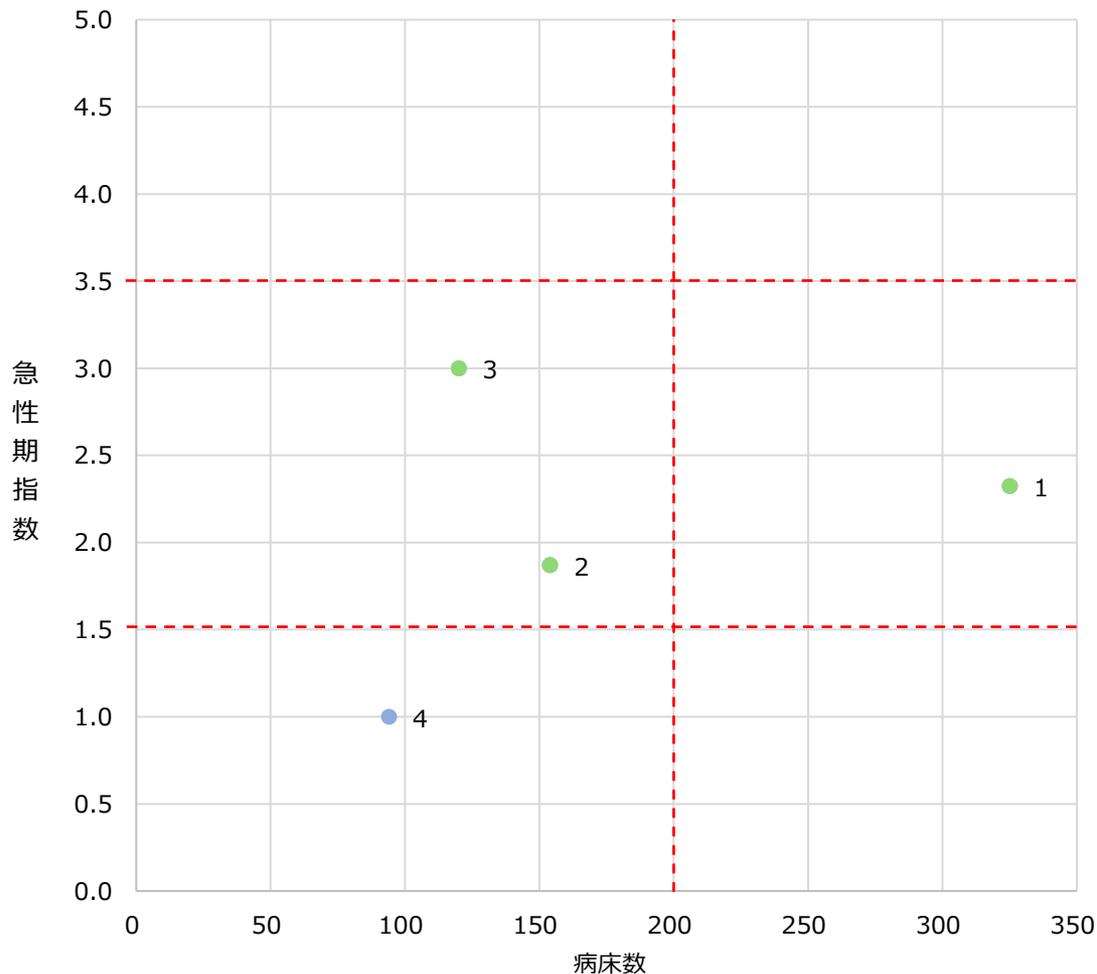
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | ポジショニングマップ

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
1	日赤 名古屋第一病院	775	4.0
2	名古屋掖済会病院	569	4.0
3	中部労災病院	415	4.0
4	協立総合病院	307	3.8
5	藤田医科大学ばんだね病院	306	4.0
6	まつかげシニアホスピタル	283	1.4
7	名古屋セントラル病院	198	4.0
8	名古屋港湾福利厚生協会臨港病院	176	2.6
9	名古屋共立病院	155	3.4
10	鶴飼リハビリテーション病院	150	2.0
11	八田なみき病院	133	1.0
12	東洋病院	130	1.6
13	鶴飼病院	119	1.5
14	城西病院	118	1.5
15	名古屋西病院	112	2.0
16	あずまりリハビリテーション病院	89	2.0
17	増子記念病院	83	4.0
18	幸会南陽病院	79	2.0
19	富田病院	60	1.0
20	三恵会服部病院	56	3.0
21	大菅病院	48	4.0
22	水谷病院	47	4.0
23	春田仁愛病院	41	3.0
24	岩田病院	34	3.0
25	かいせい病院	32	3.0

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
26	広徳会 佐藤病院	30	1.0
27	熱田リハビリテーション病院	26	2.0
28	名古屋泌尿器科病院	21	3.0

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



No.	医療機関略称	稼働病床数	急性期指数
1	済衆館病院	325	2.3
2	五条川リハビリテーション病院	154	1.9
3	はるひ呼吸器病院	120	3.0
4	光寿会リハビリテーション病院	94	1.0

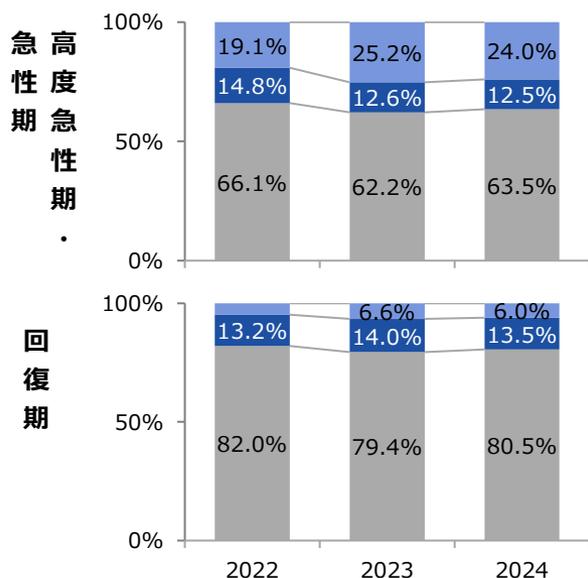
急性期指数による分類	
0~1.4	● 慢性期病院
1.5~3.4	● ケアミックス病院
3.5以上	● 小規模急性期または単科専門病院
	● 高度急性期病院

# 名古屋・尾張中部医療圏 | 入退棟経路の傾向

当該医療圏の機能別の入院経路と退棟先の構成割合を示しています。

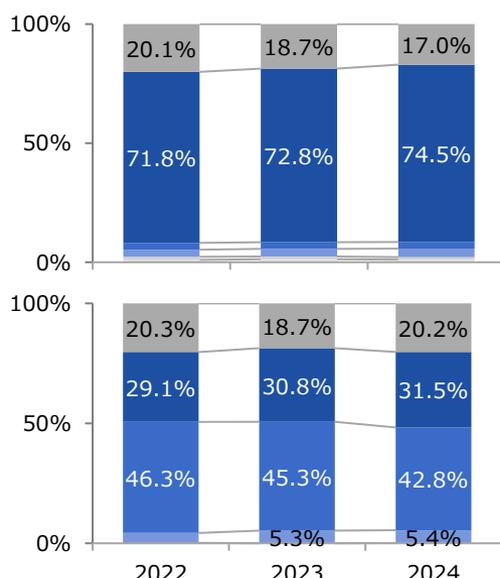
「他の病院、診療所へ転院」の割合等から、地域の機能分化の状況を確認できます。

### 入棟時の状況の変化



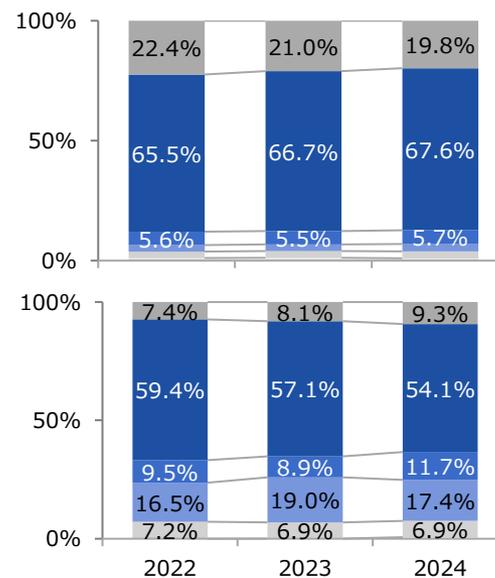
- 救急医療入院の予定外入院患者
- 救急医療入院以外の予定外入院患者
- 予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者

### 入棟経路の変化



- 院内の他病棟からの転棟
- 家庭からの入院
- 他の病院、診療所からの転院
- 介護・福祉施設、介護医療院からの入院
- 院内の出生
- その他入院経路

### 退棟先の変化



- 院内の他病棟へ転棟
- 家庭へ退院
- 他の病院、診療所へ転院
- 介護老人保健・福祉施設、介護医療院、有料老人ホーム等へ入所
- 終了（死亡退院等）
- その他

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	名古屋大学医学部附属病院	名古屋市昭和区	国立病院	二次救急	758.4	442	58.3%	1135.2	5	8	22
2	日赤 名古屋第二病院	名古屋市昭和区	公的医療機関	三次救急	290.3	281	96.8%	981.4	8	4	10
3	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	名古屋市千種区	公的医療機関	三次救急	180.7	112	62.0%	567.4	5	2	9
4	聖霊病院	名古屋市昭和区	その他	二次救急	34.3	28	81.6%	150.6	1	1	3
5	ちくさ病院	名古屋市千種区	医療法人	二次救急	32.7	24	73.4%	76.0	1	0	0
6	NHO東名古屋病院	名古屋市名東区	国立病院	二次救急	24.5	24	98.0%	220.8	1	1	2
7	KKR東海病院	名古屋市千種区	社会保険関係団体	二次救急	19.6	17	86.7%	116.1	1	1	0
8	川島病院	名古屋市守山区	医療法人	二次救急	10.1	6	59.4%	31.5	1	1	0
9	吉田病院	名古屋市千種区	医療法人	二次救急	7.6	4	52.6%	52.8	1	1	0
10	メイトウホスピタル	名古屋市名東区	医療法人	二次救急	6.8	5	73.5%	52.1	1	0	0
11	安井病院	名古屋市昭和区	医療法人	二次救急	3.3	2	60.6%	14.0	1	0	0

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	NHO名古屋医療センター	名古屋市中区	国立病院	三次救急	199.5	135	67.7%	654.8	3	3	8
2	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	名古屋市北区	公的医療機関	二次救急	179.3	129	71.9%	599.4	5	3	6
3	名鉄病院	名古屋市西区	社会保険関係団体	二次救急	92.5	87	94.1%	348.3	2	1	4
4	KKR名城病院	名古屋市中区	社会保険関係団体	二次救急	68.0	65	95.6%	279.7	2	2	4
5	総合上飯田第一病院	名古屋市北区	医療法人	二次救急	63.4	56	88.3%	243.8	2	1	2
6	重工大須病院	名古屋市中区	医療法人	二次救急	34.0	34	100.0%	305.3	2	2	2
7	中日病院	名古屋市中区	社会保険関係団体	二次救急	25.3	11	43.5%	85.2	1	1	0
8	大隈病院	名古屋市北区	医療法人	二次救急	24.9	19	76.3%	103.8	1	2	2
9	眼科杉田病院	名古屋市中区	医療法人	二次救急	18.2	12	65.9%	64.5	1	0	0
10	眼科三宅病院	名古屋市北区	医療法人	二次救急	13.0	9	69.2%	39.0	0	0	0
11	北病院	名古屋市北区	その他	二次救急	9.3	3	32.3%	46.0	1	0	0
12	米田病院	名古屋市西区	医療法人	二次救急	7.0	4	57.1%	40.0	1	2	0
13	名春中央病院	名古屋市北区	医療法人	二次救急	5.6	4	71.4%	21.5	1	1	0

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	名古屋市立大学病院	名古屋市瑞穂区	公的医療機関	三次救急	535.2	311	58.1%	1064.3	5	5	14
2	JCHO中京病院	名古屋市南区	国立病院	三次救急	203.8	195	95.7%	559.1	2	3	9
3	大同病院	名古屋市南区	その他	二次救急	157.0	150	95.5%	452.2	2	2	4
4	名古屋記念病院	名古屋市天白区	医療法人	二次救急	98.0	89	90.8%	326.3	2	1	2
5	南生協病院	名古屋市緑区	その他	二次救急	74.8	59	78.9%	265.3	2	1	2
6	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	名古屋市緑区	公的医療機関	二次救急	39.7	31	78.1%	181.3	1	1	2
7	名南病院	名古屋市南区	医療法人	二次救急	17.7	7	39.5%	87.2	1	1	0
8	笠寺病院	名古屋市南区	医療法人	二次救急	16.0	9	56.3%	91.8	1	0	0
9	相生山病院	名古屋市緑区	医療法人	二次救急	13.4	11	82.1%	85.6	1	0	0
10	第一なるみ病院	名古屋市緑区	医療法人	二次救急	10.4	8	76.9%	61.4	1	0	0
11	新生会第一病院	名古屋市天白区	医療法人	二次救急	10.1	10	99.0%	90.8	1	0	0
12	小松病院	名古屋市南区	医療法人	二次救急	8.9	5	56.2%	28.3	1	1	0
13	山口病院	名古屋市南区	医療法人	二次救急	6.5	4	61.5%	41.2	1	1	0
14	平岩病院	名古屋市緑区	医療法人	二次救急	5.4	4	74.1%	29.1	1	0	0
15	北村病院	名古屋市南区	医療法人	二次救急	3.6	3	83.3%	21.0	1	0	0

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	日赤 名古屋第一病院	名古屋市中村区	公的医療機関	三次救急	295.0	287	97.3%	969.2	5	3	13
2	名古屋掖済会病院	名古屋市中川区	その他	三次救急	212.7	200	94.0%	665.5	5	2	8
3	藤田医科大学ばんだね病院	名古屋市中川区	その他	二次救急	156.9	138	88.0%	375.6	2	2	4
4	中部労災病院	名古屋市港区	国立病院	二次救急	133.8	133	99.4%	440.1	4	2	5
5	協立総合病院	名古屋市熱田区	その他	二次救急	78.3	70	89.4%	304.7	2	1	3
6	名古屋セントラル病院	名古屋市中村区	その他	二次救急	64.3	60	93.3%	277.6	3	3	8
7	名古屋共立病院	名古屋市中川区	医療法人	二次救急	34.6	23	66.5%	170.5	1	3	6
8	増子記念病院	名古屋市中村区	医療法人	二次救急	23.1	18	77.9%	129.3	1	1	1
9	名古屋西病院	名古屋市中川区	医療法人	二次救急	16.5	12	72.7%	59.1	1	1	1
10	鶴飼病院	名古屋市中村区	医療法人	二次救急	10.1	6	59.4%	67.1	1	0	0
11	熱田リハビリテーション病院	名古屋市熱田区	医療法人	二次救急	9.4	9	95.7%	96.5	1	0	0
12	名古屋港湾福利厚生協会臨港病院	名古屋市港区	その他	二次救急	8.6	6	69.8%	55.9	1	1	1
13	水谷病院	名古屋市熱田区	医療法人	二次救急	7.4	5	67.6%	26.2	1	1	0
14	大菅病院	名古屋市中村区	医療法人	二次救急	7.3	5	68.5%	43.0	1	1	0
15	三恵会服部病院	名古屋市熱田区	医療法人	二次救急	5.1	3	58.8%	31.4	1	0	0

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | 救急車受入を行う病院の概要①

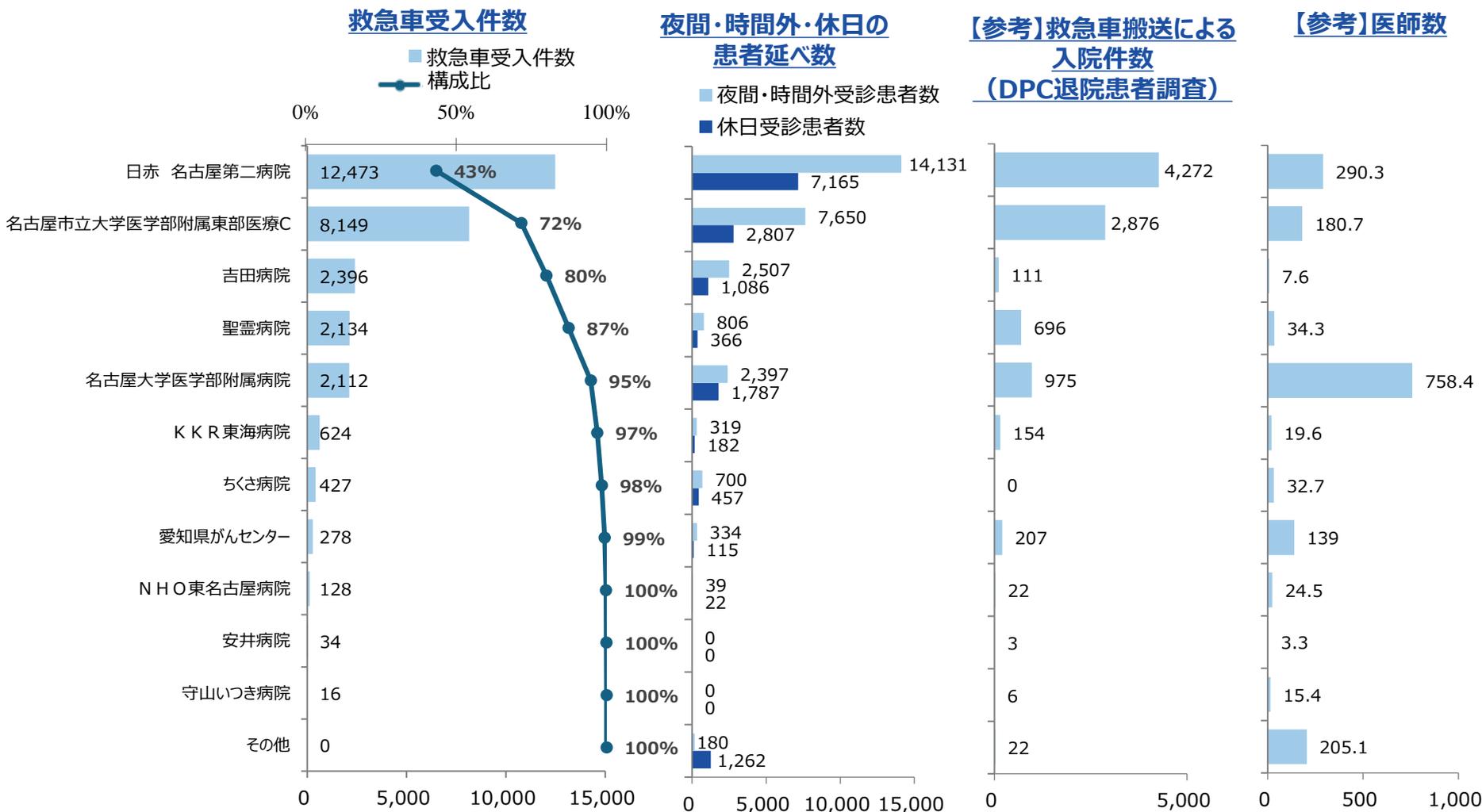
救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	済衆館病院	北名古屋市	医療法人	二次救急	45.6	36	78.9%	209.2	1	1	2
2	はるひ呼吸器病院	清須市	医療法人	二次救急	21.0	9	42.9%	101.0	2	1	0

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

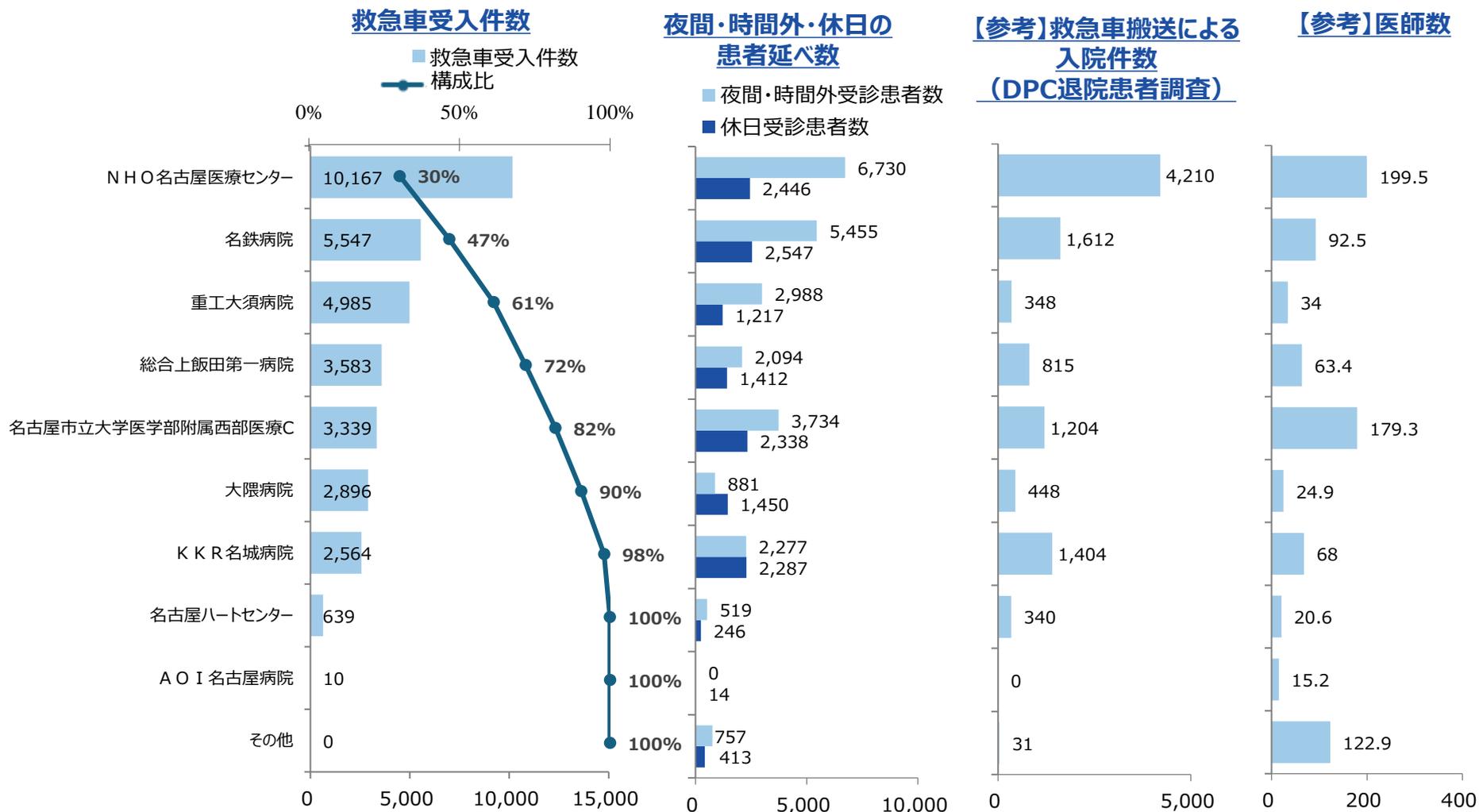
当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。  
 医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

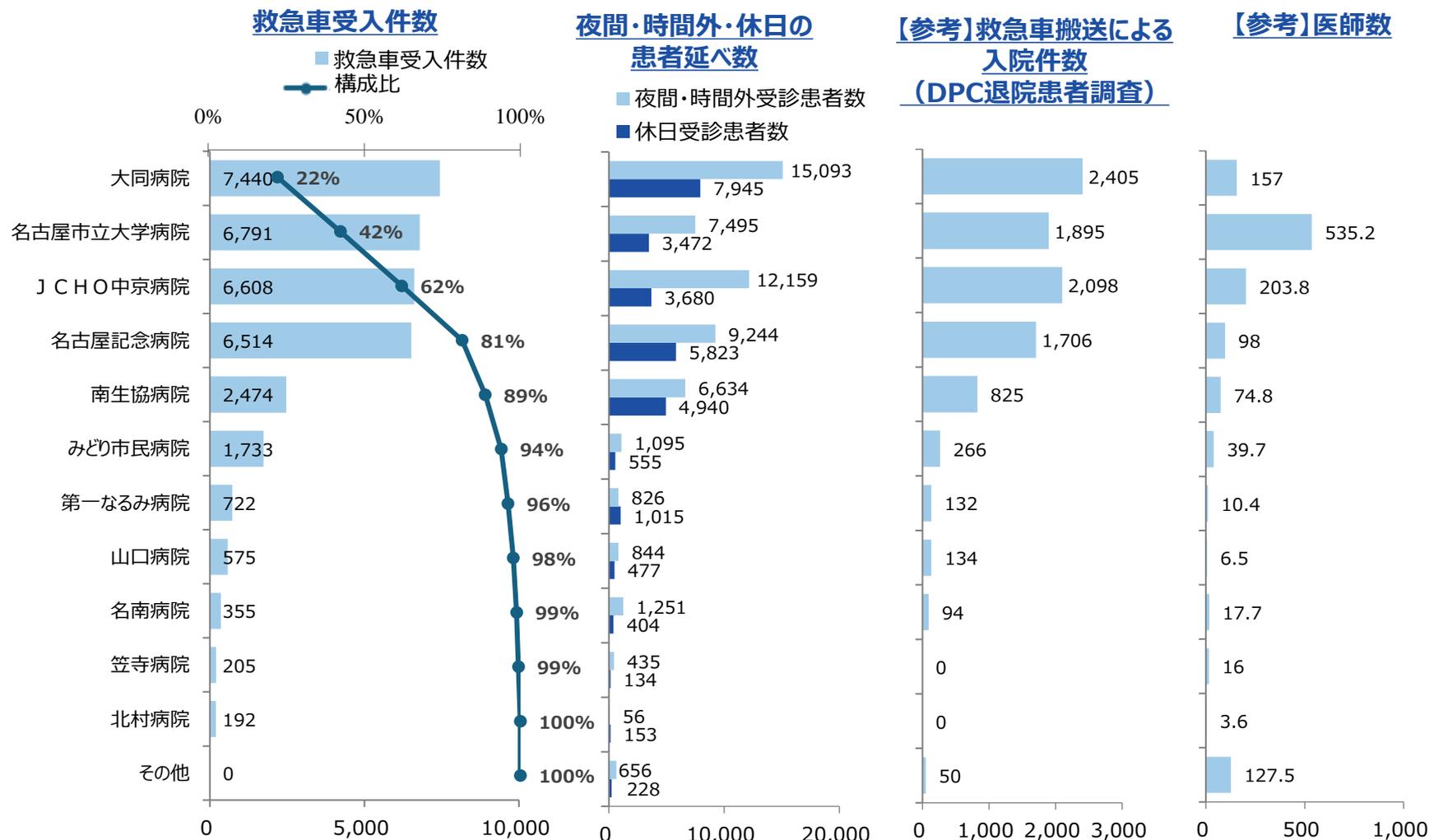
当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。  
 医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。  
 医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

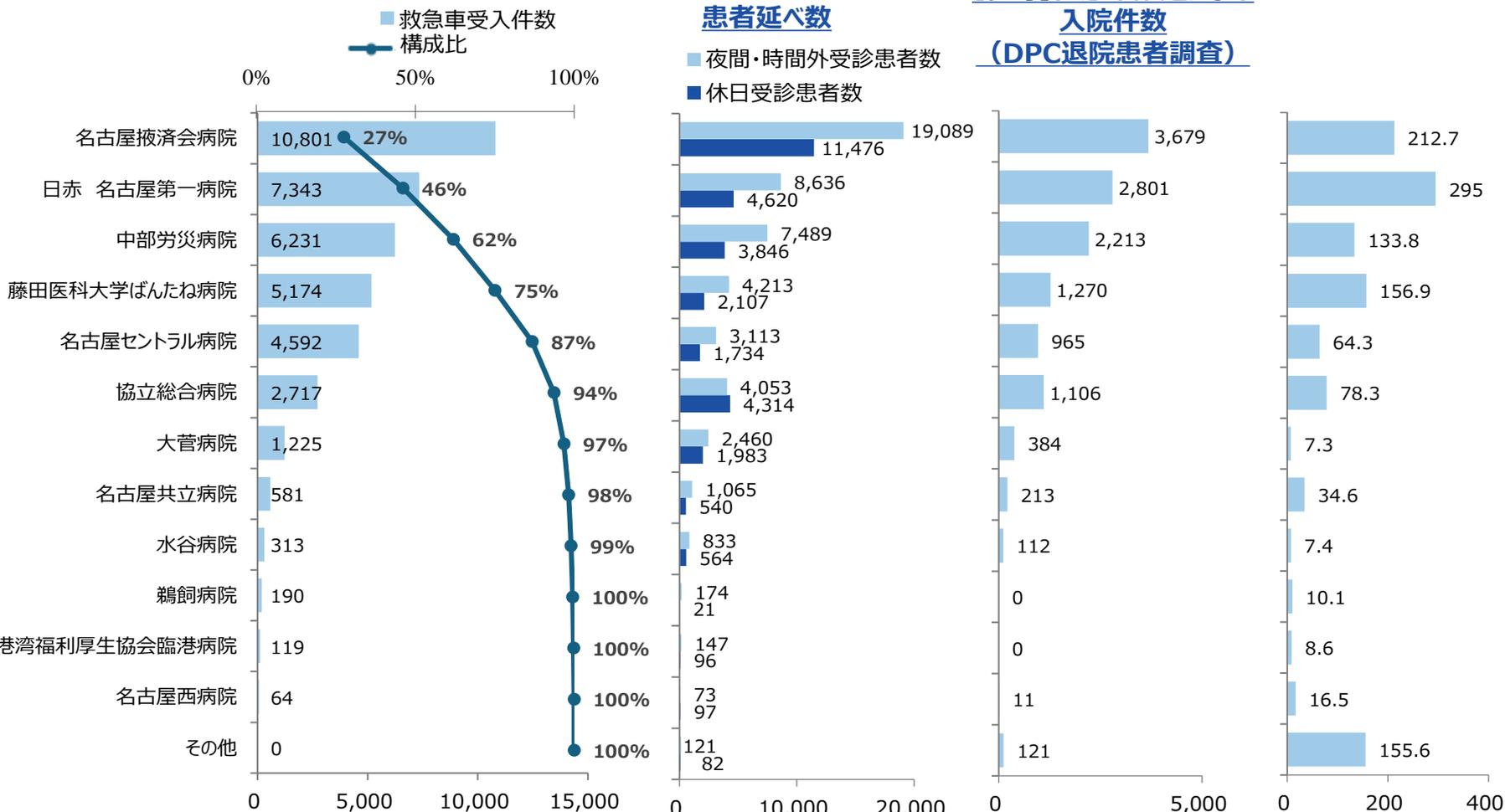
当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。  
 医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。

### 救急車受入件数

### 夜間・時間外・休日の患者延べ数

### 【参考】救急車搬送による入院件数 (DPC退院患者調査)

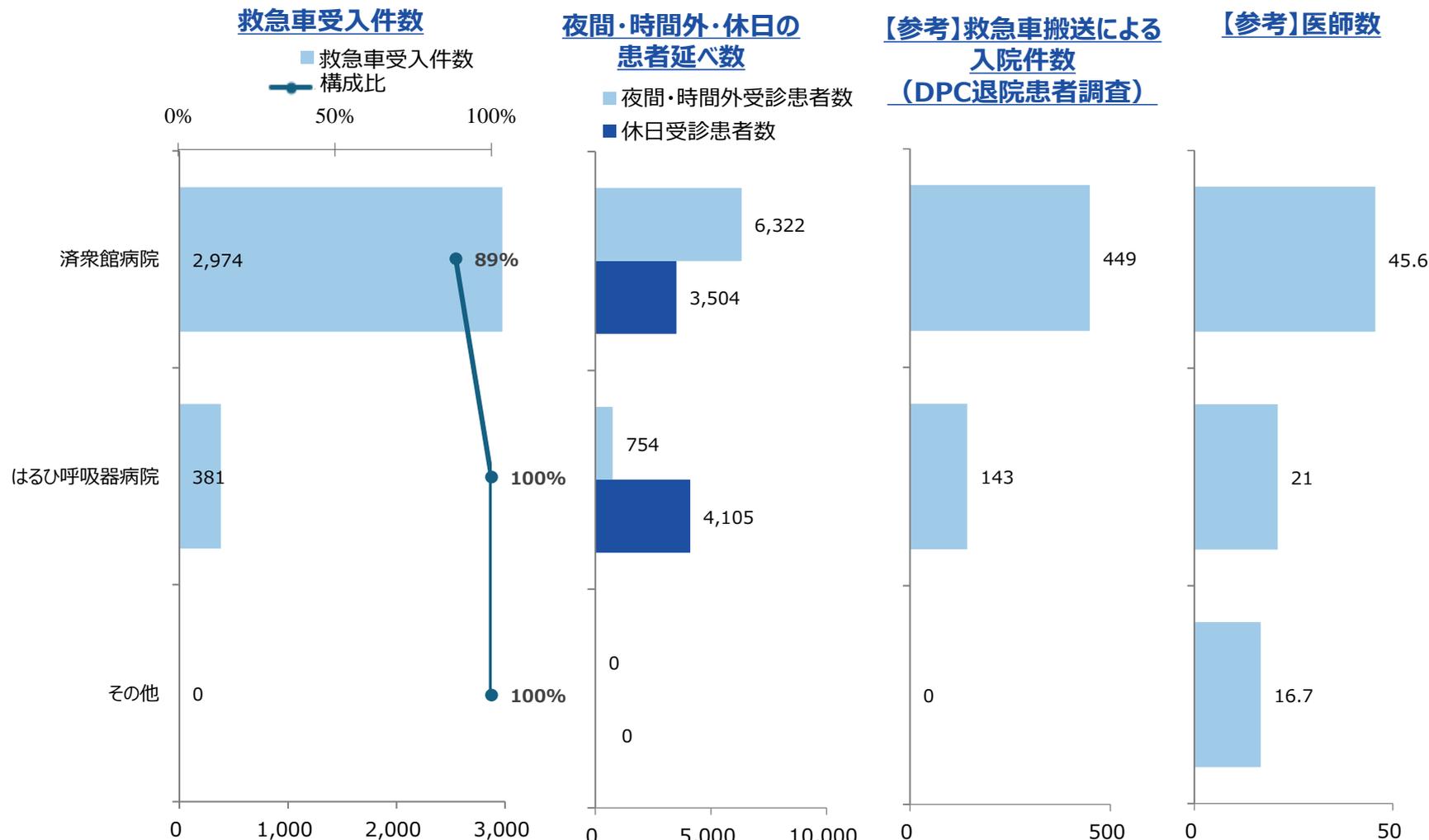
### 【参考】医師数



出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。  
 医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 名古屋・尾張中部区域と類似区域における救急医療の提供状況

人口、地域区分、大学病院の有無を条件とした類似区域を3つ抽出し、主要な指標を比較しています。

他区域と比較して、救急車受入の病院が分散していないか、また、職員1人あたりの患者数が大きくないか確認し、効率的、かつ、持続可能な救急医療が行えているか確認します。

区域名	区域の基礎情報				救急車受入を行う病院						主な診療実績 (区域合計)			一般病床 流出入率			
	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	地域区分	大学 病院	病院数	救急車 件数	時間外 患者数	職員数		医師あたり		看護職員あたり			手術 総数	全麻 手術 件数	分娩 件数
愛知県 名古屋・尾張 中部	2,501,526	368	大都市型	有	45	138,815	266,362	5,086	16,762	27.3	52.4	8.3	15.9	131,629	46,123	6,992	6.8%
北海道 札幌	2,396,732	3,540	大都市型	有	101	108,082	198,748	4,930	23,907	21.9	40.3	4.5	8.3	174,207	84,284	6,213	10.5%
東京都 区西北部	1,993,903	114	大都市型	有	40	100,283	147,358	3,495	10,452	28.7	42.2	9.6	14.1	69,526	32,934	7,068	▲9.8%
京都府 京都・乙訓	1,617,143	861	大都市型	有	50	90,656	176,007	4,553	13,640	19.9	38.7	6.6	12.9	96,768	43,285	6,301	6.2%

地域区分は人口と人口密度を用いた石川ベンジャミン光一氏の分類方法により作成  
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/MeshBKH2022acuteNmd/map>

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）  
 「地域医療構想 地域別の病床機能等の見える化（令和6年度）」（厚生労働省）  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）  
 「厚生労働省 令和7年告示第166号」  
 「令和2年国勢調査」（総務省統計局）  
 「都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）」（総務省統計局）2020年度

**地域区分類型**  
 大都市型：人口が100万人以上（又は）人口密度が2,000人/km<sup>2</sup>以上  
 地方都市A型：人口が20万人以上  
 地方都市B型：人口が10～20万人（かつ）人口密度が200人/km<sup>2</sup>以上  
 過疎地域A型：人口が10～20万人（かつ）人口密度が200人/km<sup>2</sup>未満  
 過疎地域B型：人口が5～10万人  
 過疎地域C型：人口が5万人未満

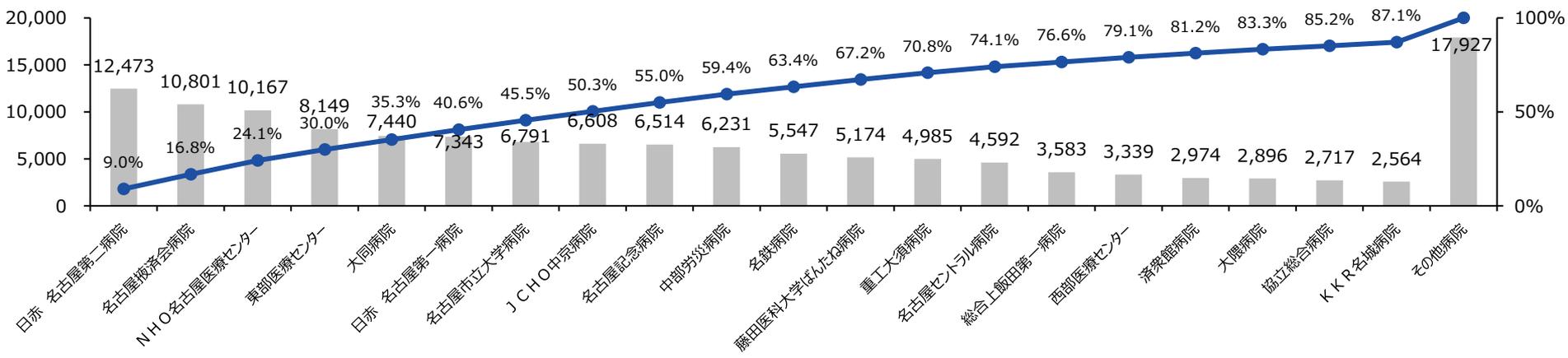
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数①】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

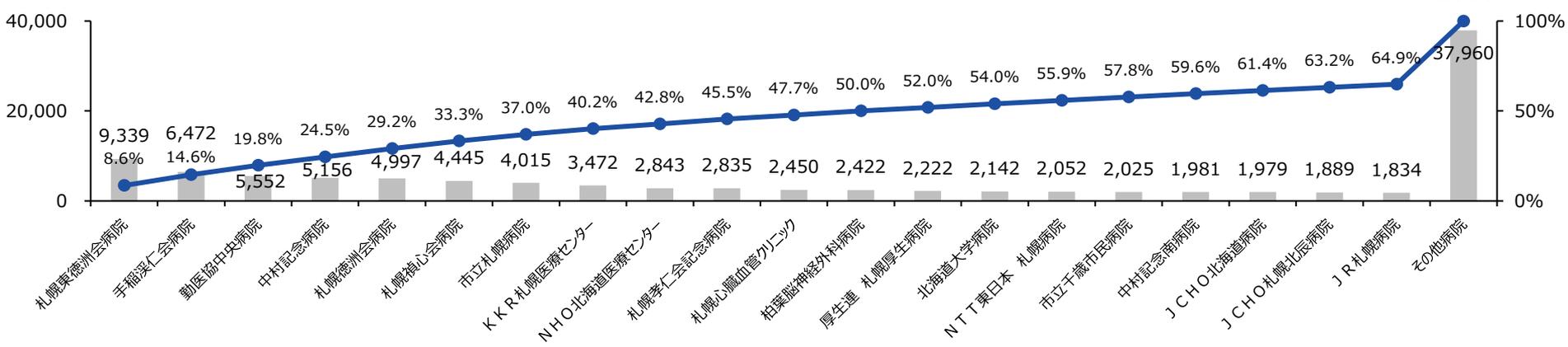
最も受入の多い医療機関の受入件数や、受入件数のバラつきを確認し、地域の特徴を把握します。

■ 救急車受入件数 ● 累積構成比

## 愛知県\_名古屋・尾張中部



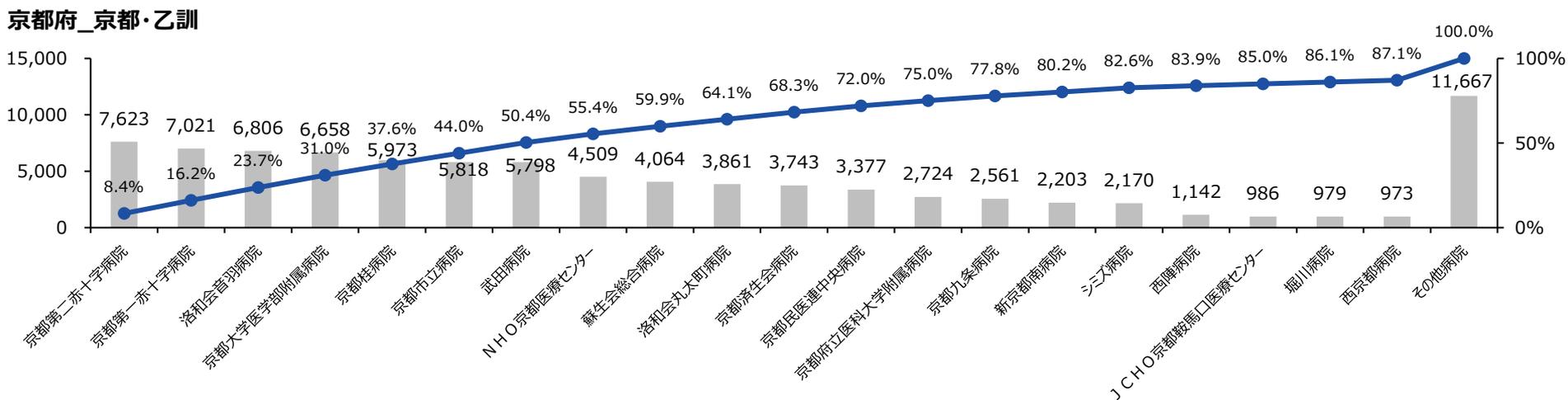
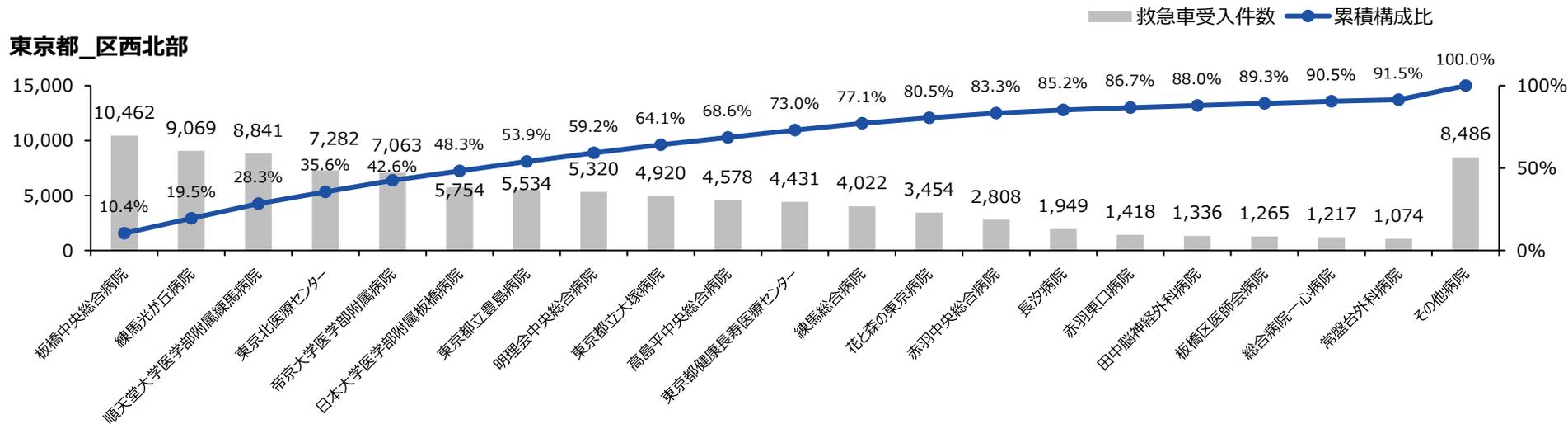
## 北海道\_札幌



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数②】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



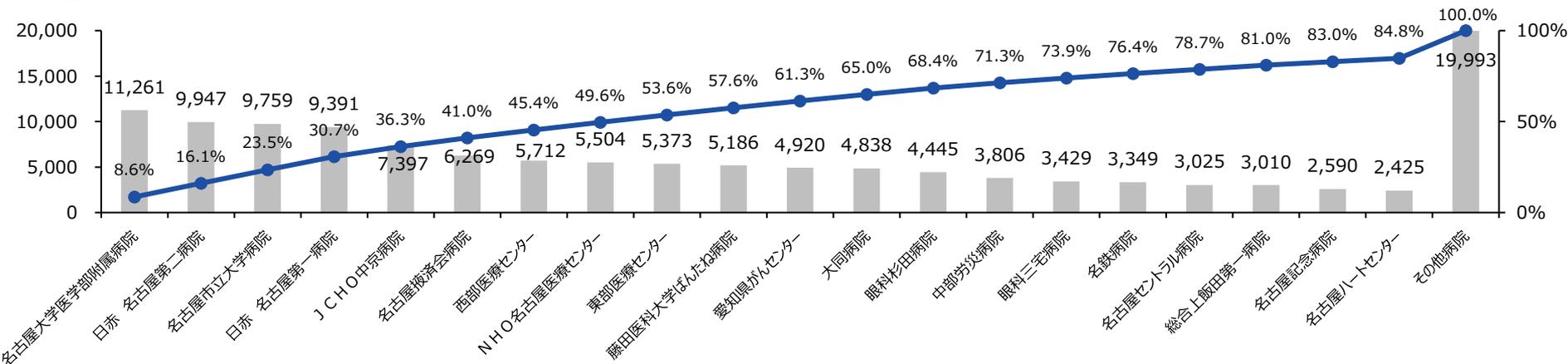
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数①】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

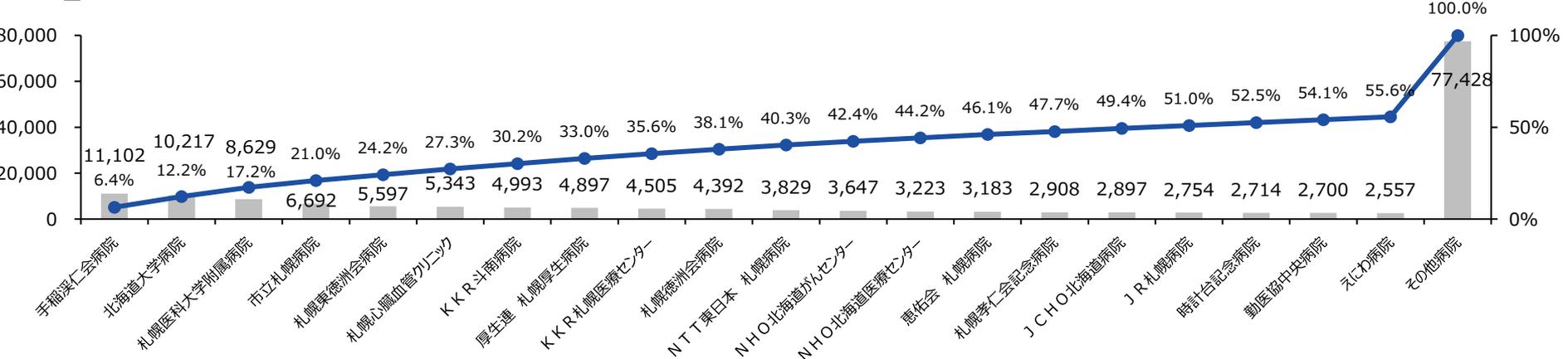
急性期医療が集約されているかを確認できます。

■ 手術件数 ● 累積構成比

## 愛知県\_名古屋・尾張中部



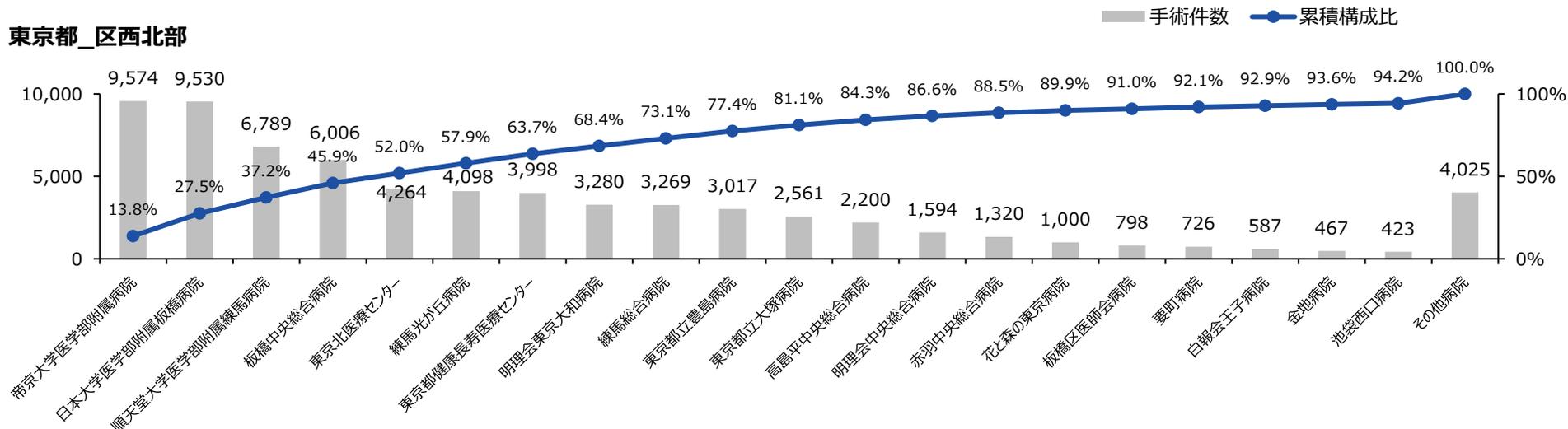
## 北海道\_札幌



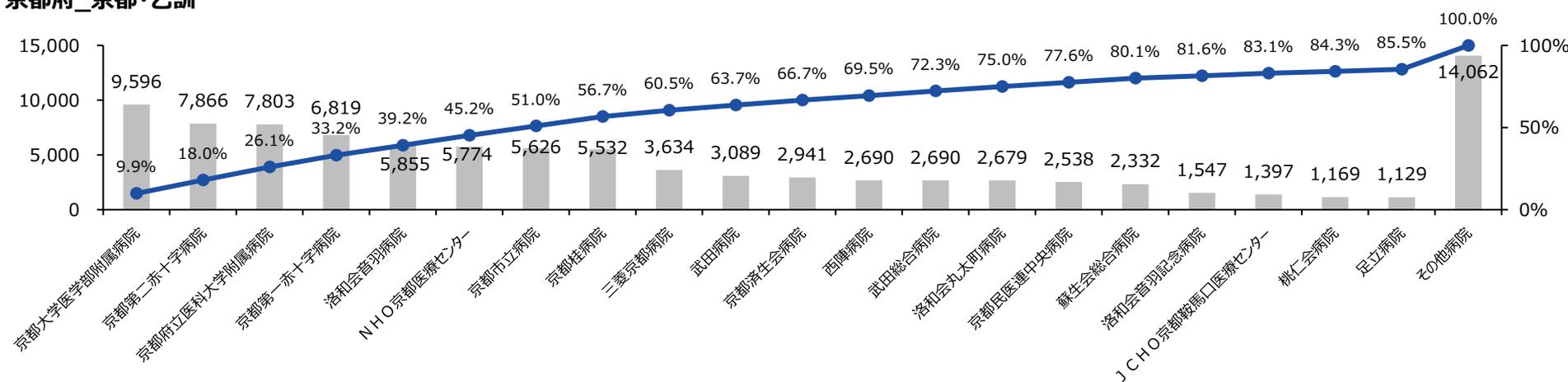
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数②】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

## 東京都\_区西北部



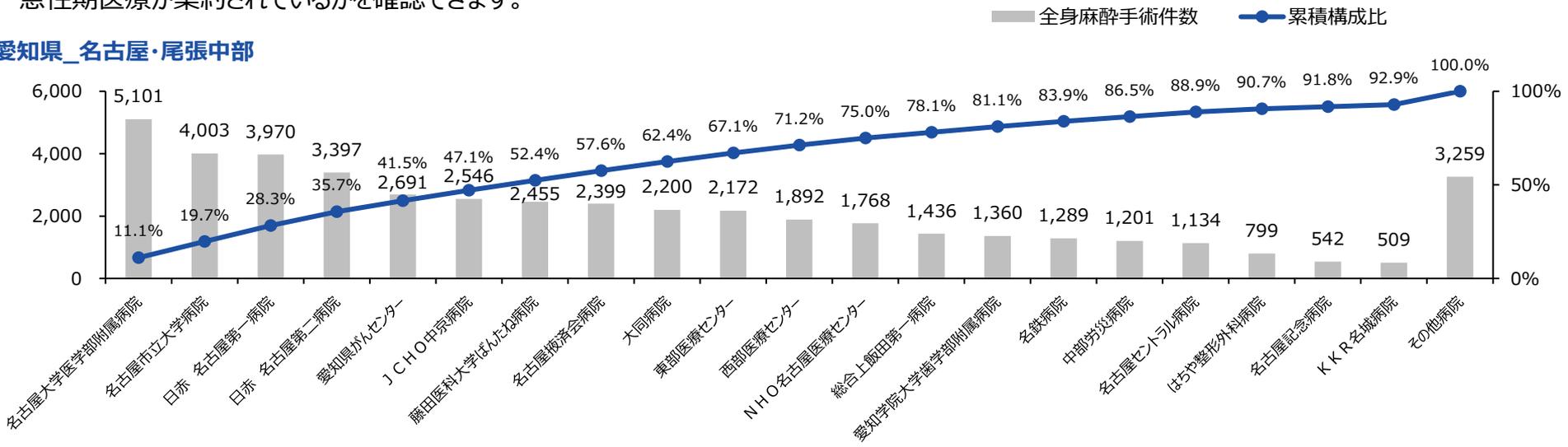
## 京都府\_京都・乙訓



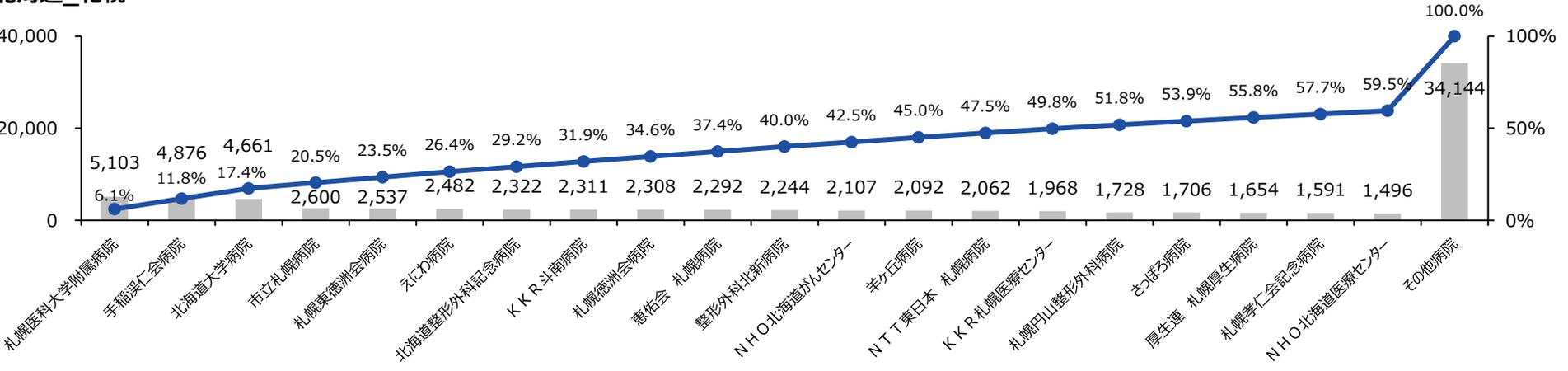
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数①】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。  
急性期医療が集約されているかを確認できます。

## 愛知県\_名古屋・尾張中部



## 北海道\_札幌



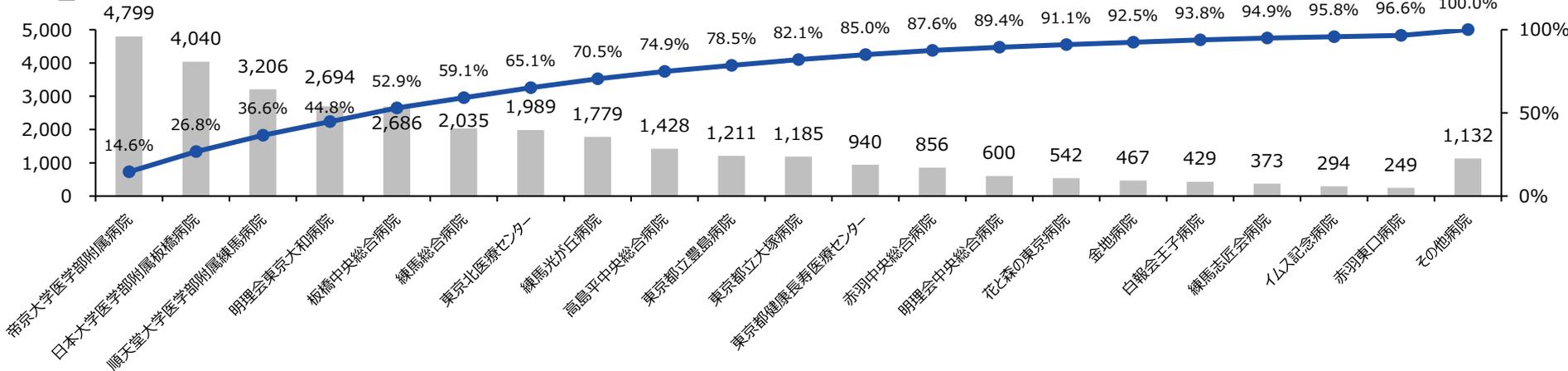
出典：「地域医療構想 地域別の病床機能等の見える化（令和6年度）」（厚生労働省）

# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数②】

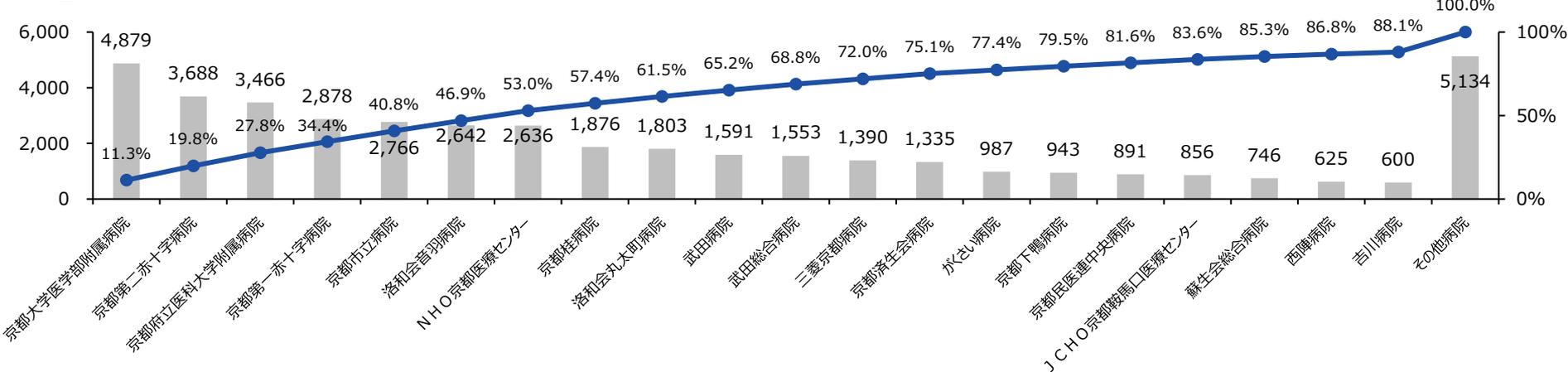
医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

■ 全身麻酔手術件数    ● 累積構成比

## 東京都\_区西北部



## 京都府\_京都・乙訓



出典：「地域医療構想 地域別の病床機能等に見える化（令和6年度）」（厚生労働省）

# 愛知県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）①

都道府県内のDPC病院における在院日数の比較を示しています。

全国の平均在院日数は11.72日であり、「全国の疾患構成に補正した場合」の日数が長い医療機関は非効率な運用となっている可能性があります。

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
1	藤田医科大学病院	尾張東部	大学	特定7対1	1,218	89%	28,006	12.6	11.9
2	名古屋大学医学部附属病院	名古屋・尾張中部	大学	特定7対1	948	95%	21,262	11.6	11.7
3	愛知医科大学病院	尾張東部	大学	特定7対1	800	95%	21,089	10.6	11.3
4	一宮西病院	尾張西部	特定	急性期1	571	74%	19,714	8.6	8.7
5	日赤 名古屋第二病院	名古屋・尾張中部	特定	急性期1	806	100%	19,260	10.0	9.9
6	厚生連 安城更生病院	西三河南部西	特定	急性期1	754	98%	19,247	10.8	11.0
7	豊橋市民病院	東三河南部	特定	急性期1	790	99%	18,716	11.1	10.5
8	日赤 名古屋第一病院	名古屋・尾張中部	特定	急性期1	798	98%	16,853	11.2	10.7
9	名古屋市立大学病院	名古屋・尾張中部	大学	特定7対1	772	97%	16,276	11.1	10.7
10	刈谷豊田総合病院	西三河南部西	標準	急性期1	642	91%	15,412	10.7	10.5
11	厚生連 江南厚生病院	尾張北部	特定	急性期1	664	97%	14,748	11.4	11.0
12	厚生連 豊田厚生病院	西三河北部	特定	急性期1	589	97%	14,733	11.3	11.2
13	岡崎市民病院	西三河南部東	標準	急性期1	660	97%	14,707	11.0	10.6
14	公立陶生病院	尾張東部	標準	急性期1	608	96%	13,623	11.9	10.8
15	名古屋掖済会病院	名古屋・尾張中部	特定	急性期1	583	97%	13,273	11.7	10.9
16	厚生連 海南病院	海部	特定	急性期1	522	97%	13,191	11.6	10.7
17	トヨタ記念病院	西三河北部	標準	急性期1	513	97%	12,980	10.5	10.2
18	春日井市民病院	尾張北部	標準	急性期1	538	100%	12,314	11.9	10.7
19	一宮市立市民病院	尾張西部	特定	急性期1	562	95%	11,969	11.5	10.5
20	JCHO中京病院	名古屋・尾張中部	特定	急性期1	604	100%	11,940	11.3	11.0
21	NHO名古屋医療センター	名古屋・尾張中部	特定	急性期1	605	100%	11,774	12.7	10.9
22	小牧市民病院	尾張北部	特定	急性期1	506	97%	11,709	10.9	9.9
23	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	500	100%	11,489	10.2	10.8
24	藤田医科大学ばたね病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	370	100%	10,355	10.6	11.8
25	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	520	100%	10,324	12.1	11.0

# 愛知県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）②

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
26	半田市立半田病院	知多半島	標準	急性期1	499	100%	10,251	11.5	10.5
27	大同病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	394	98%	10,011	10.2	10.0
28	豊川市民病院	東三河南部	標準	急性期1	428	85%	9,818	12.3	10.7
29	愛知県がんセンター	名古屋・尾張中部	標準	特定7対1	500	100%	9,286	11.6	10.5
30	中部労災病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	481	91%	8,743	12.8	11.4
31	公立西知多総合病院	知多半島	標準	急性期1	403	95%	8,269	11.8	11.7
32	名古屋記念病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	416	100%	7,111	12.0	10.8
33	総合大雄会病院	尾張西部	標準	急性期1	325	92%	6,934	10.9	11.3
34	名鉄病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	333	89%	6,802	11.8	11.8
35	名古屋徳洲会総合病院	尾張北部	特定	急性期1	282	81%	5,959	12.0	10.8
36	名古屋セントラル病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	198	100%	5,210	10.9	12.5
37	八千代病院	西三河南部西	標準	急性期1	270	64%	4,816	9.5	11.0
38	蒲郡市民病院	東三河南部	標準	急性期1	267	70%	4,759	11.1	11.1
39	成田記念病院	東三河南部	標準	急性期4	240	88%	4,706	12.5	12.7
40	あいち小児保健医療総合センター	知多半島	標準	急性期1	200	100%	4,585	7.2	6.7
41	協立総合病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期4	370	96%	4,539	16.7	16.2
42	西尾市民病院	西三河南部西	標準	急性期1	230	73%	3,977	11.6	10.7
43	南生協病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期3	233	77%	3,921	12.9	11.8
44	津島市民病院	海部	標準	急性期1	286	81%	3,851	12.9	11.2
45	K K R 名城病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	279	86%	3,782	14.1	12.6
46	N H O 豊橋医療センター	東三河南部	標準	急性期2	250	74%	3,456	16.2	13.9
47	旭労災病院	尾張東部	標準	急性期1	200	80%	3,335	14.3	12.3
48	碧南市民病院	西三河南部西	標準	急性期1	210	82%	3,029	12.6	11.3
49	総合上飯田第一病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	148	63%	2,664	8.7	8.9
50	大雄会第一病院	尾張西部	標準	急性期1	132	100%	2,654	9.8	13.3

# 愛知県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）③

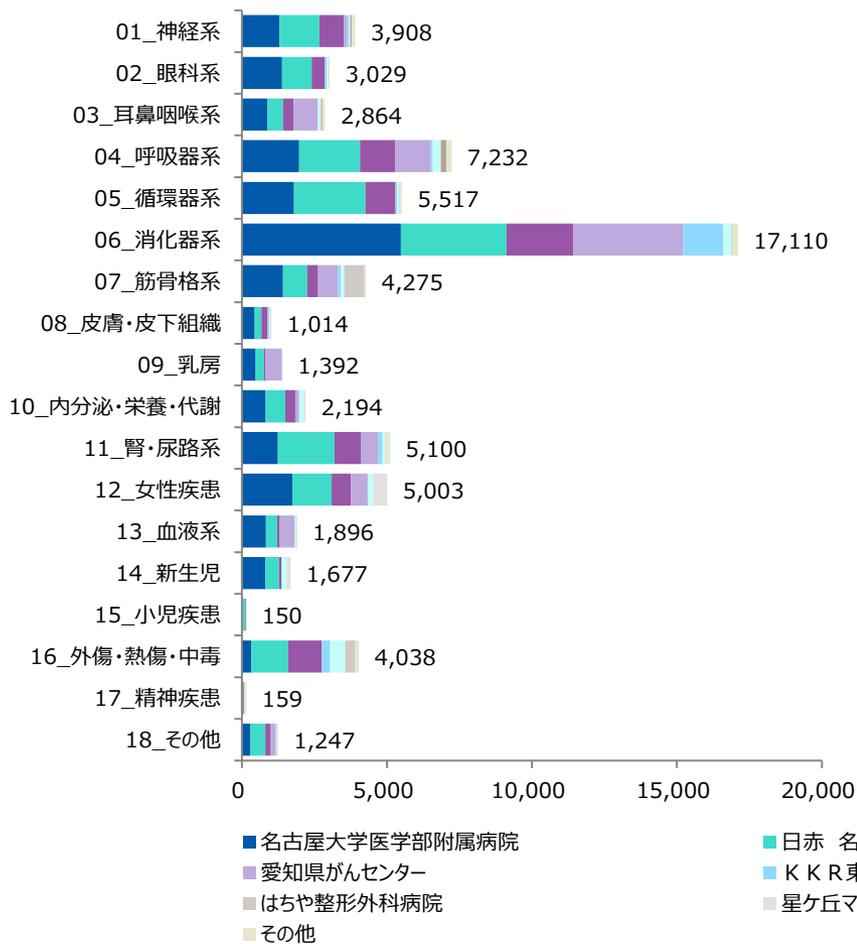
No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
51	厚生連 渥美病院	東三河南部	標準	急性期1	206	65%	2,626	13.8	13.1
52	光生会病院	東三河南部	標準	急性期1	113	100%	2,552	11.8	14.0
53	稲沢市民病院	尾張西部	標準	急性期1	169	79%	2,407	12.6	11.2
54	総合犬山中央病院	尾張北部	標準	急性期1	180	63%	2,256	9.1	8.9
55	聖霊病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	149	81%	2,205	14.6	13.0
56	常滑市民病院	知多半島	標準	急性期1	112	46%	1,965	8.8	9.1
57	総合青山病院	東三河南部	標準	急性期1	100	52%	1,816	12.0	13.2
58	厚生連 稲沢厚生病院	尾張西部	標準	急性期1	151	60%	1,737	12.2	11.8
59	名古屋共立病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	111	71%	1,727	13.3	13.4
60	済衆館病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期4	108	33%	1,700	12.1	11.9
61	厚生連 知多厚生病院	知多半島	標準	急性期1	114	57%	1,481	12.2	11.7
62	増子記念病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期4	102	100%	1,317	13.8	17.1
63	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期1	100	50%	1,234	13.2	11.6
64	あま市民病院	海部	標準	急性期2	90	50%	1,131	9.3	9.4
65	新城市民病院	東三河北部	標準	急性期1	114	66%	1,100	9.2	9.0
66	大隈病院	名古屋・尾張中部	標準	急性期4	80	51%	1,080	7.9	9.2
67	泰玄会病院	尾張西部	標準	急性期5	100	80%	1,031	17.3	13.0
68	厚生連 足助病院	西三河北部	標準	急性期4	100	68%	1,030	12.7	15.1
69	東海記念病院	尾張北部	標準	急性期4	44	23%	232	17.0	14.5

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | MDC別退院患者数および医療機関シェア

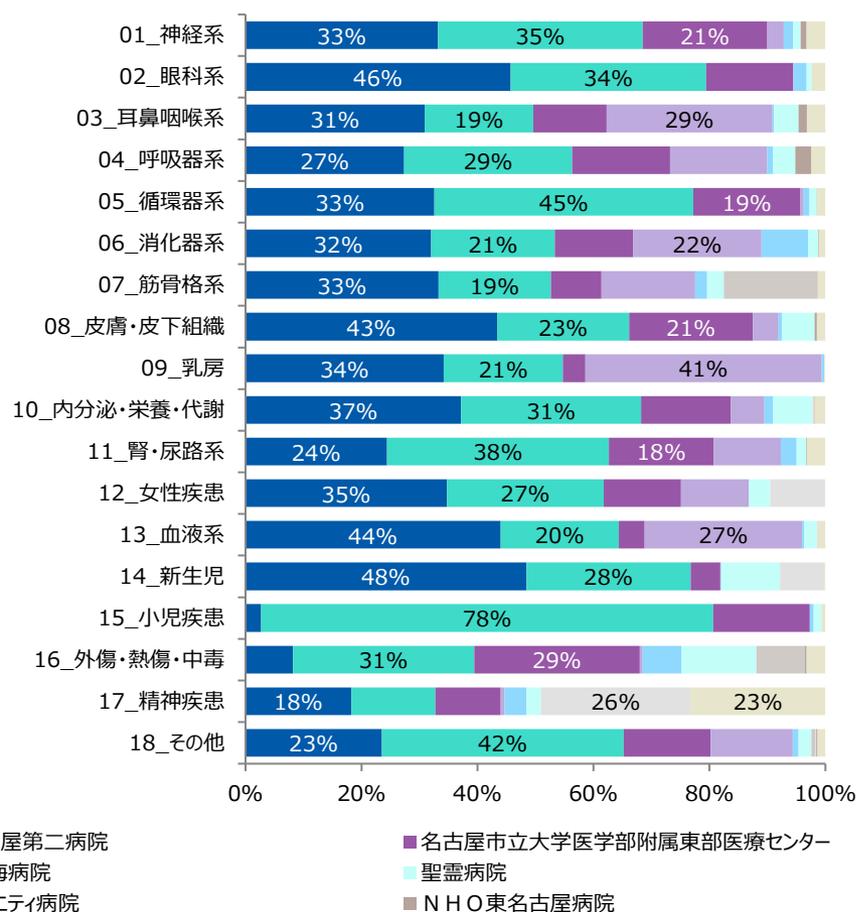
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数



## MDC別医療機関シェア

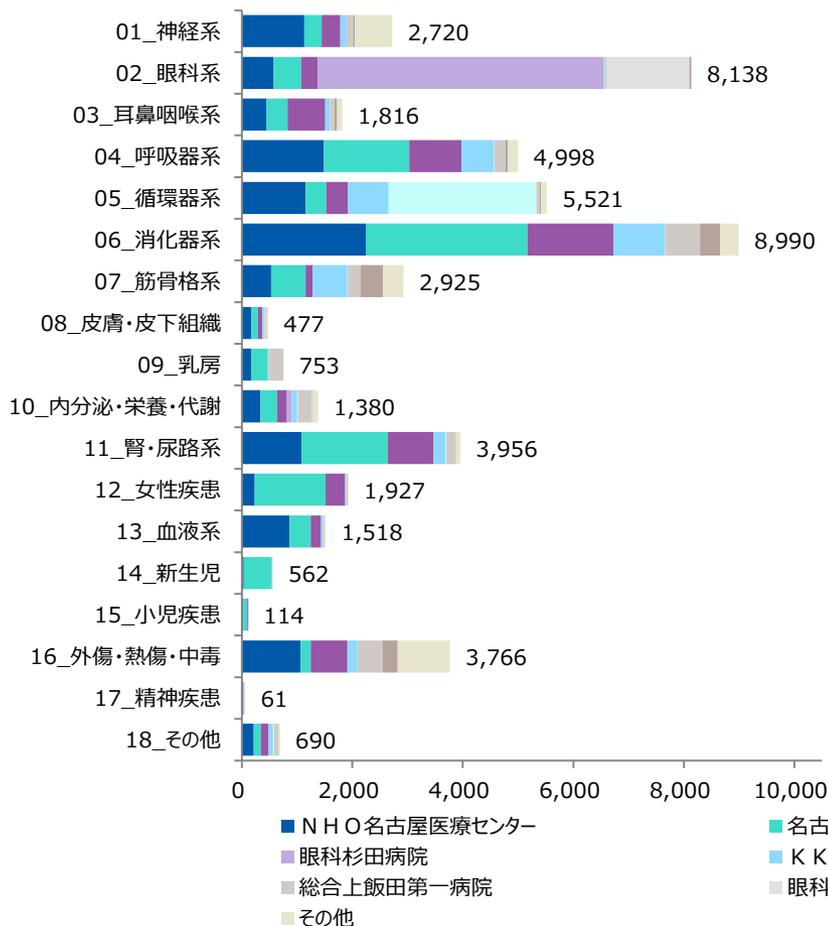


# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | MDC別退院患者数および医療機関シェア

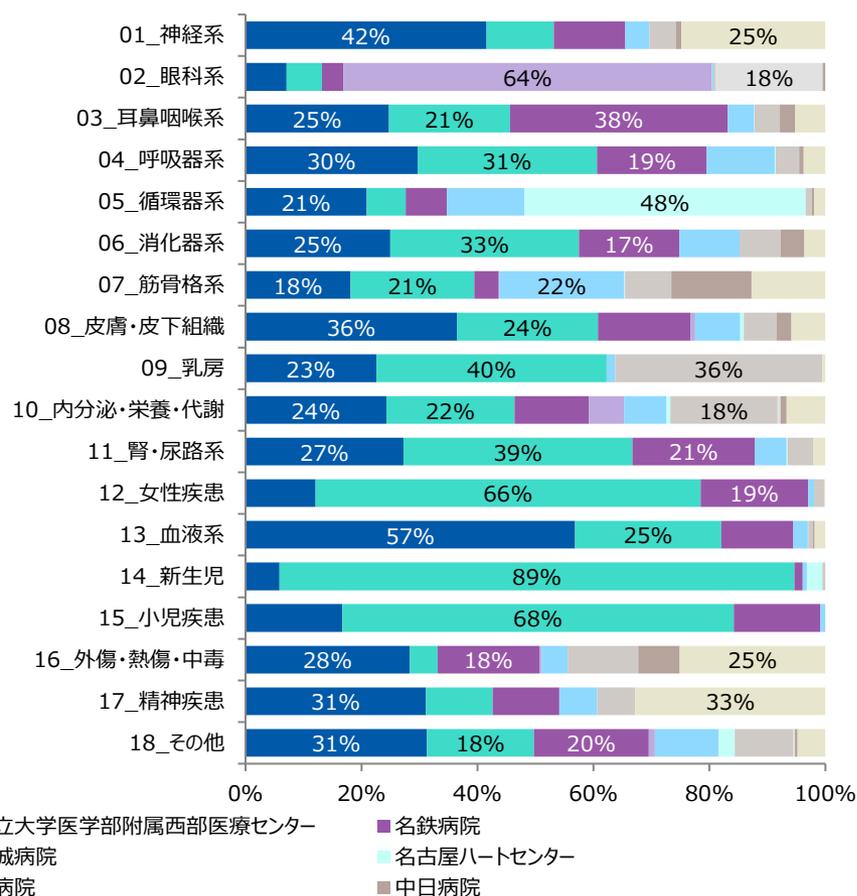
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数



## MDC別医療機関シェア

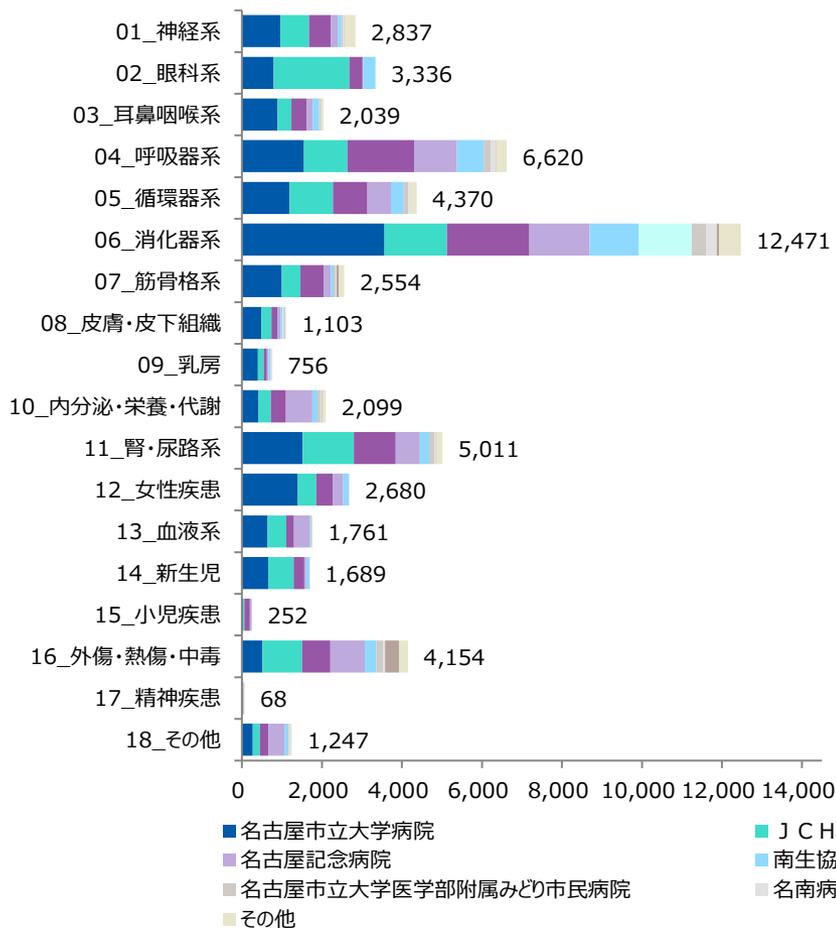


# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | MDC別退院患者数および医療機関シェア

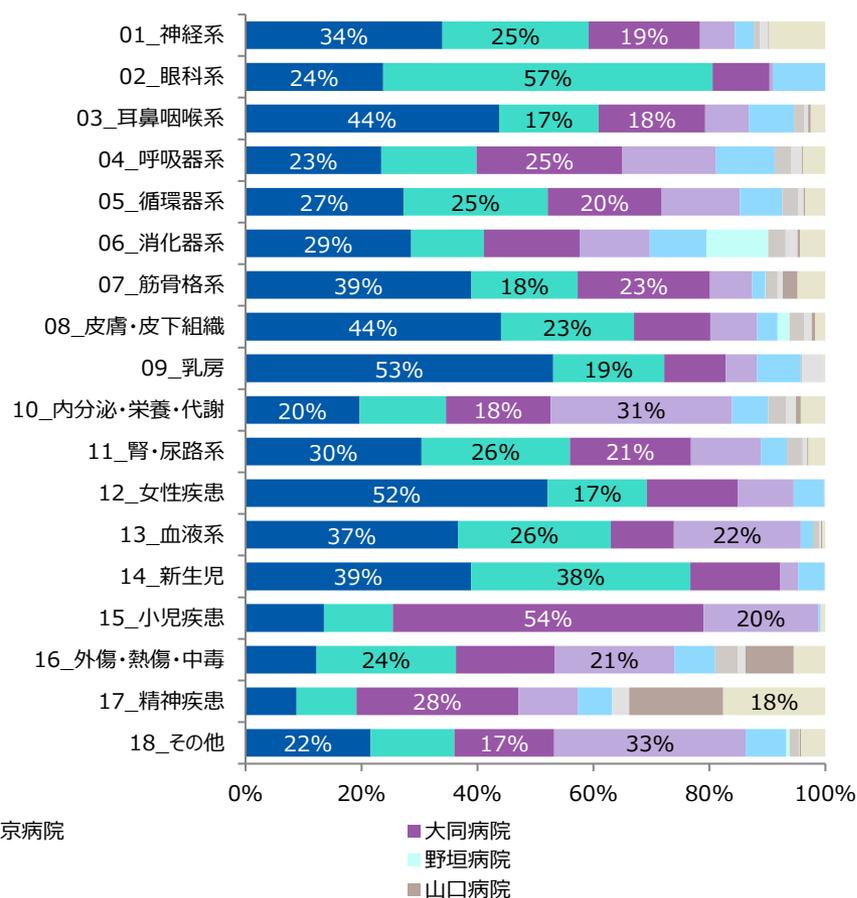
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数



## MDC別医療機関シェア

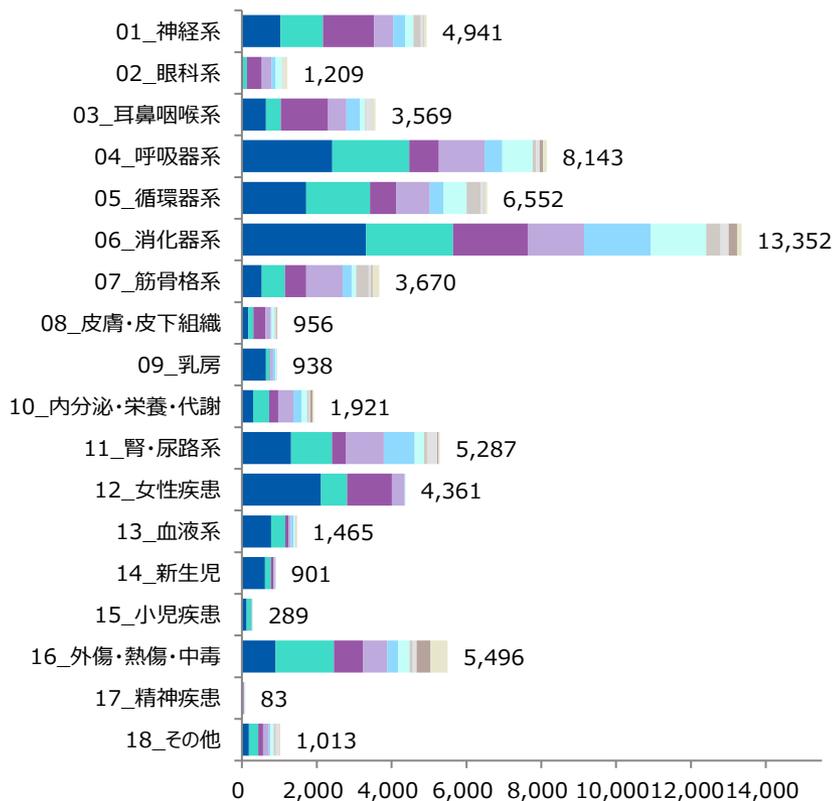


# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | MDC別退院患者数および医療機関シェア

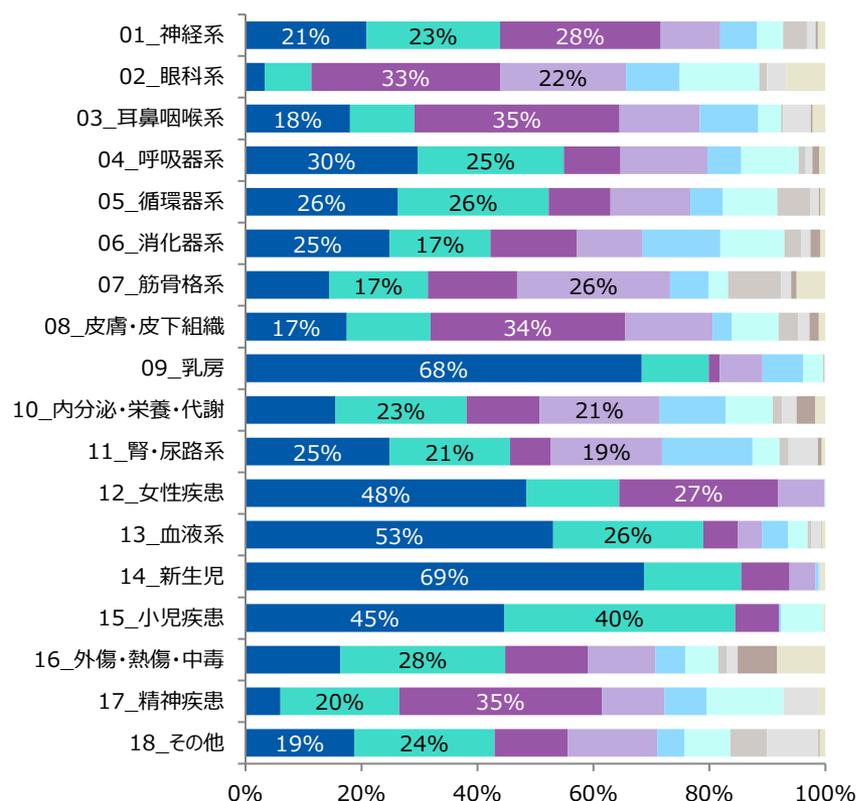
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数



## MDC別医療機関シェア



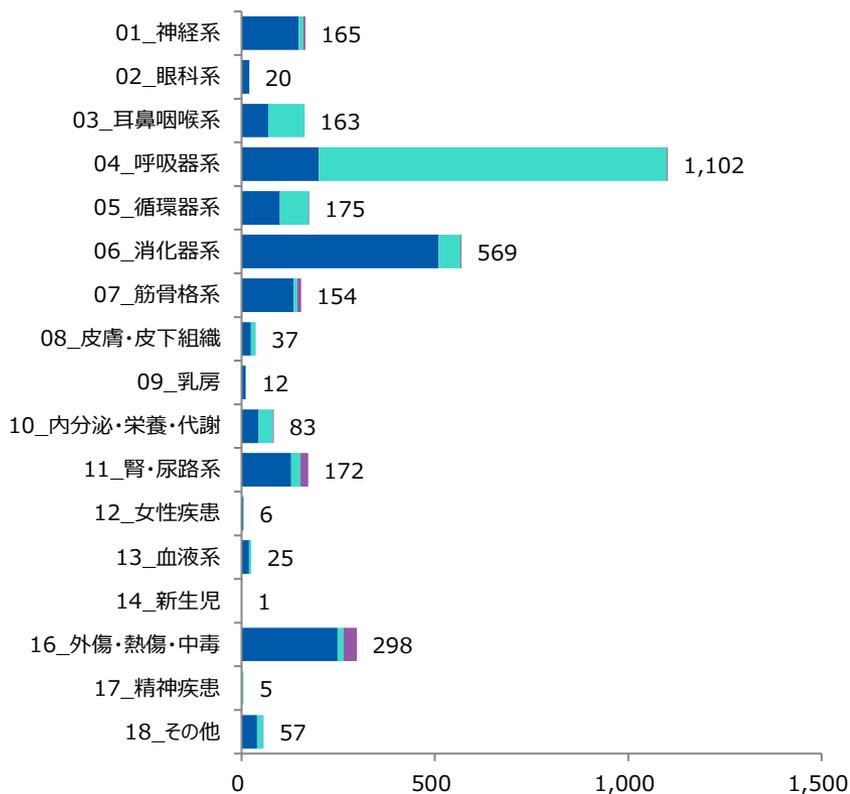
■ 日赤 名古屋第一病院   
 ■ 名古屋掖済会病院   
 ■ 藤田医科大学ばんだね病院   
 ■ 中部労災病院   
 ■ 名古屋セントラル病院  
■ 協立総合病院   
 ■ 名古屋共立病院   
 ■ 増子記念病院   
 ■ 大菅病院   
 ■ その他

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | MDC別退院患者数および医療機関シェア

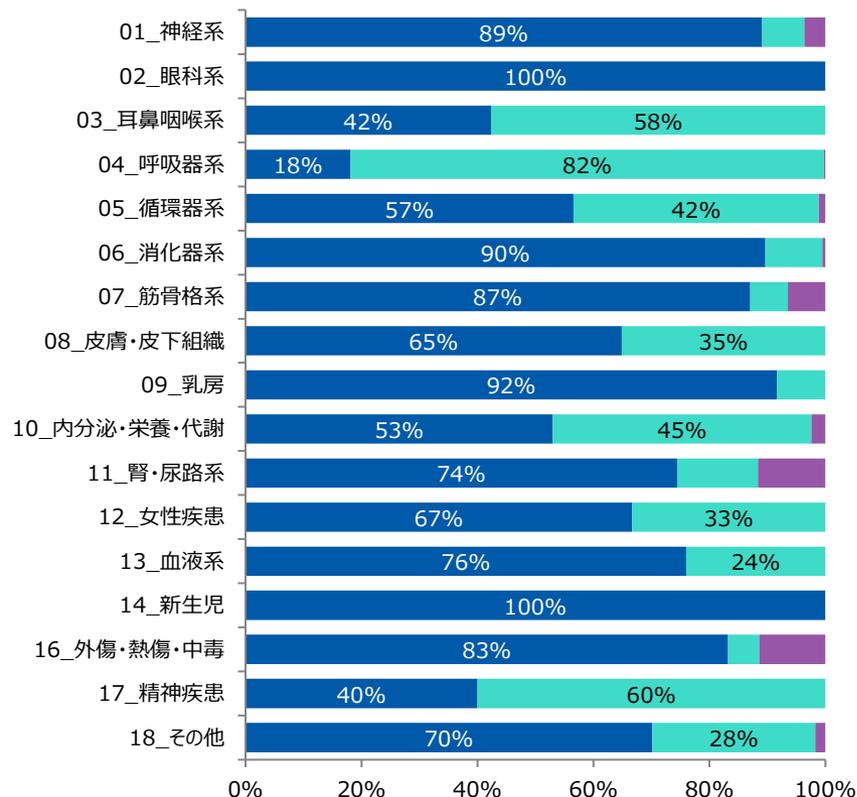
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数



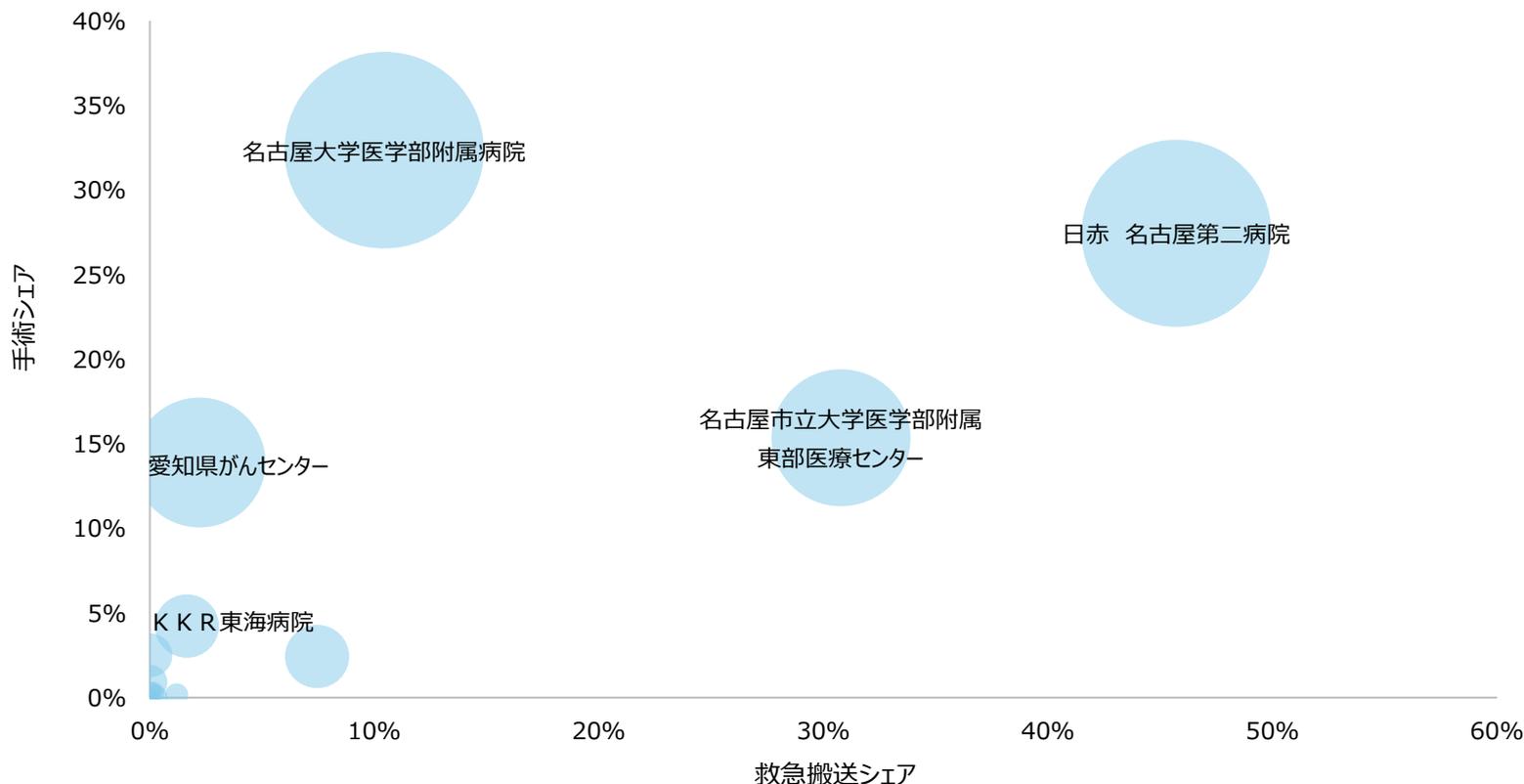
## MDC別医療機関シェア



■ 済衆館病院 ■ はるひ呼吸器病院 ■ 五条川リハビリテーション病院

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

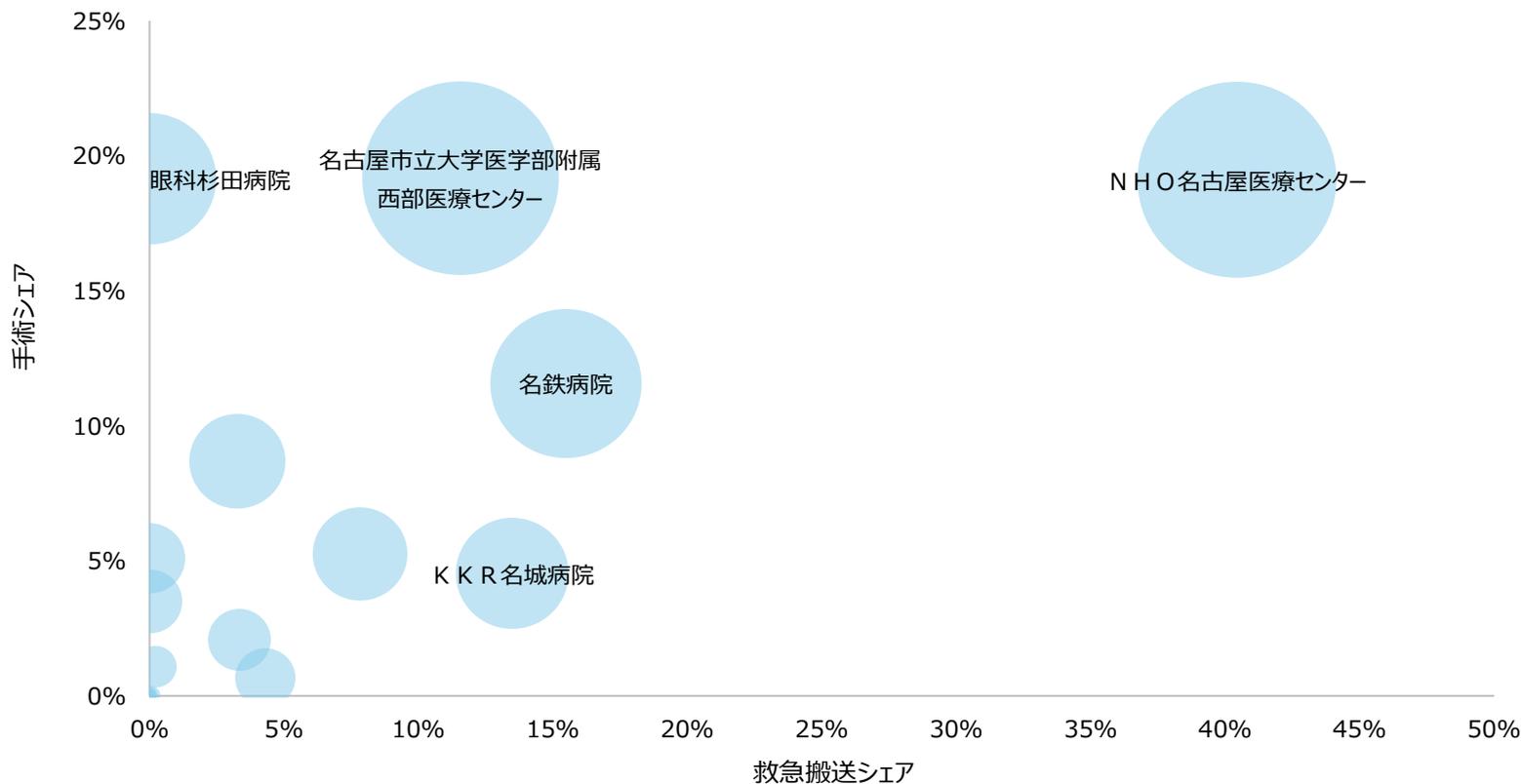
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

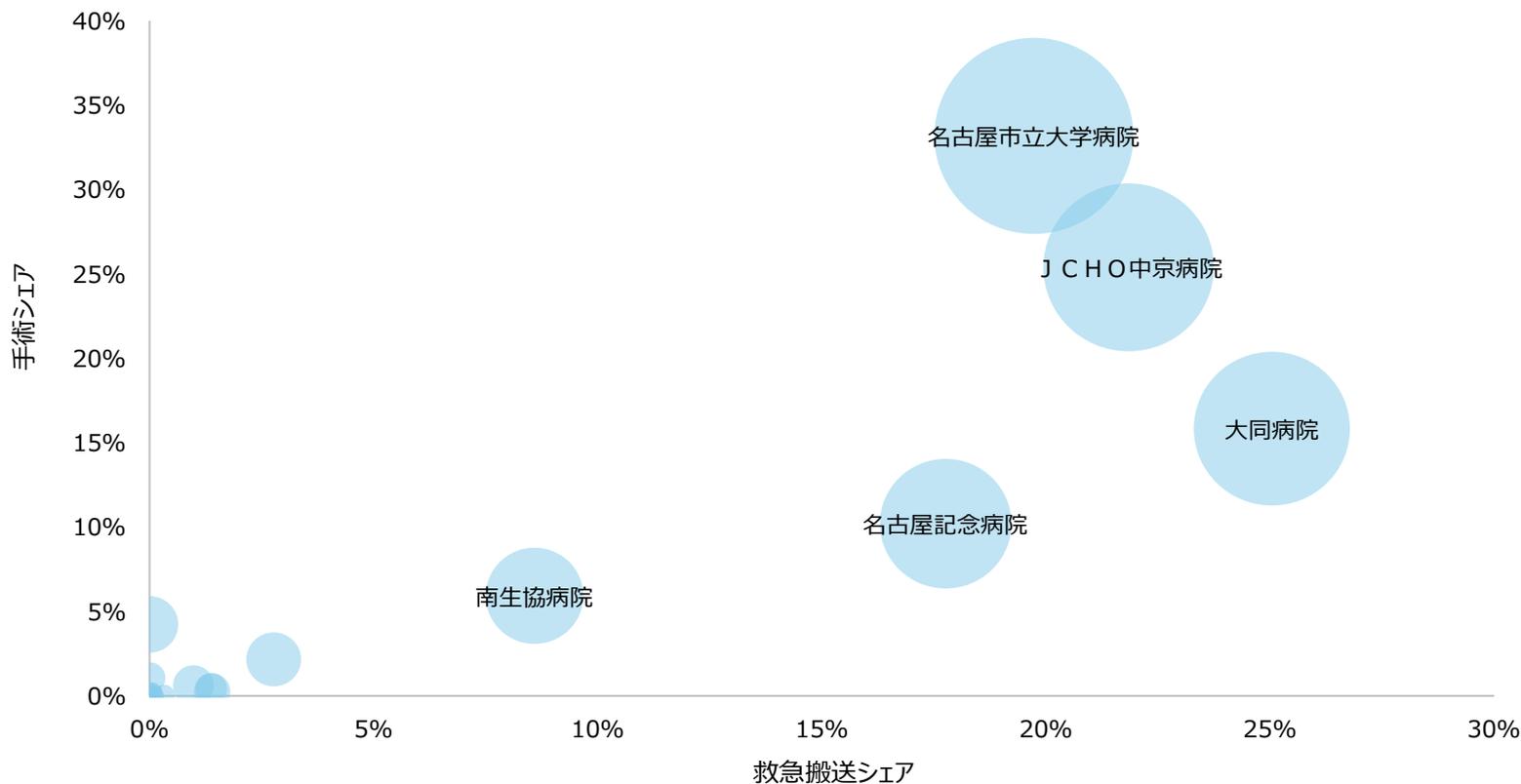
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

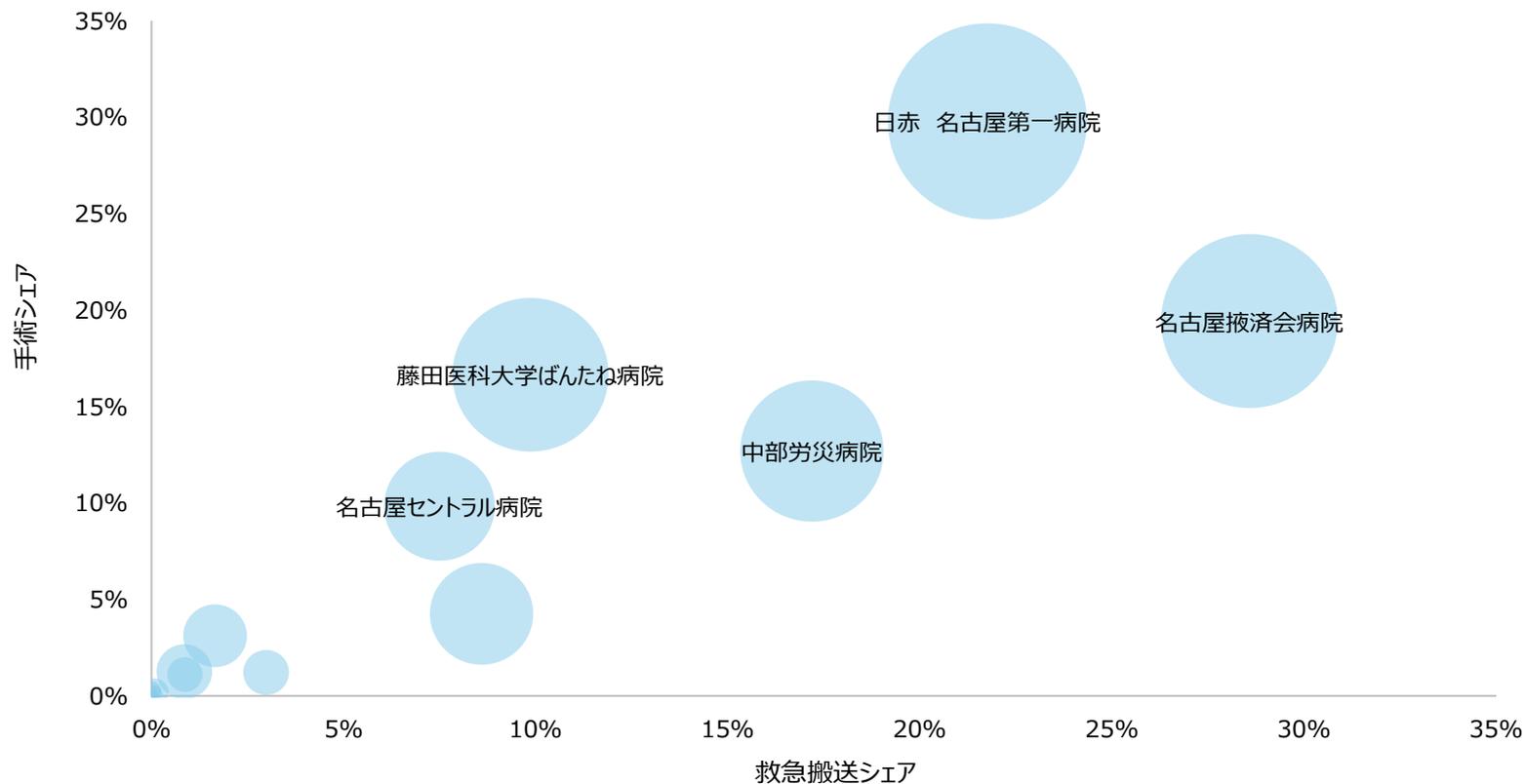
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

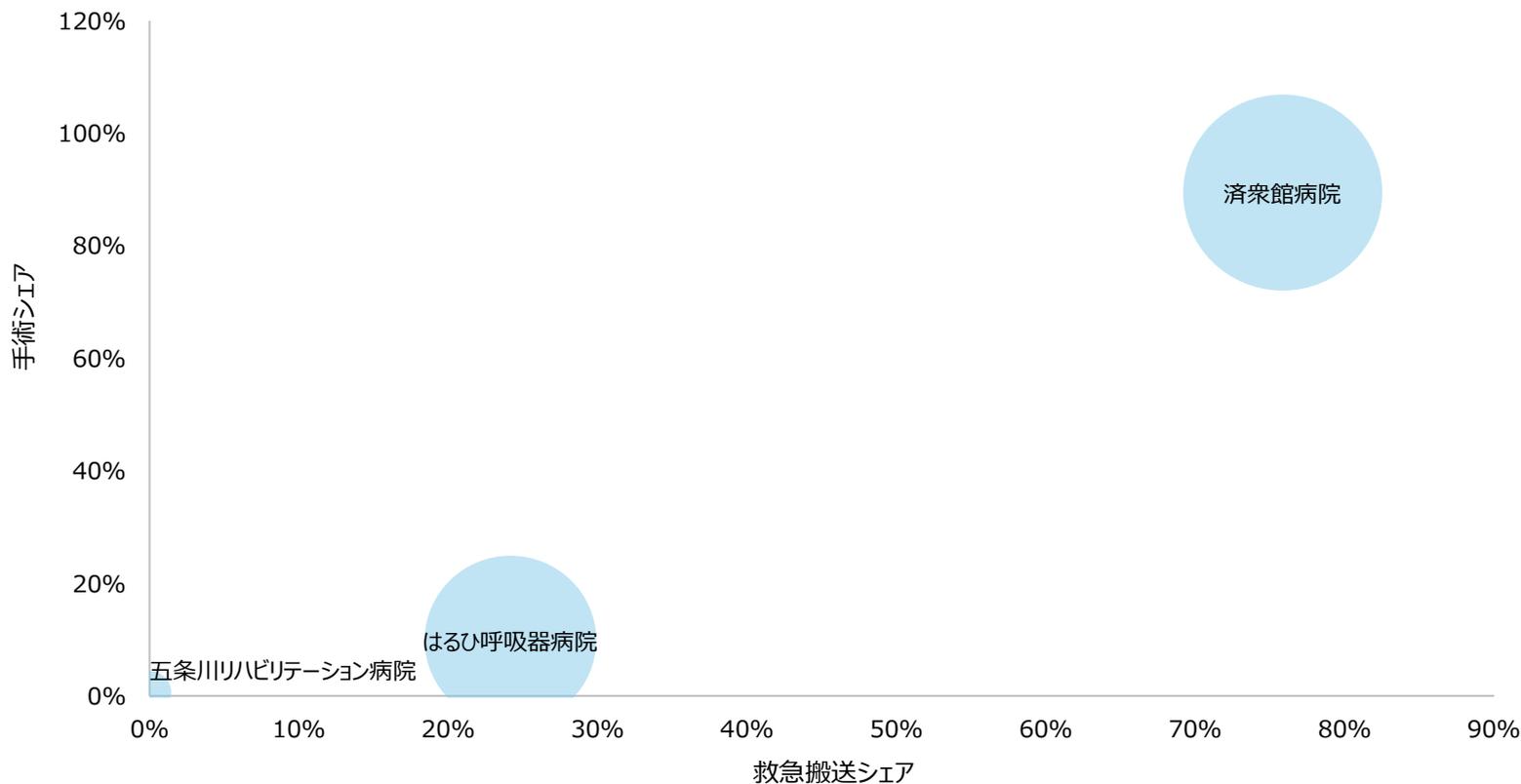
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

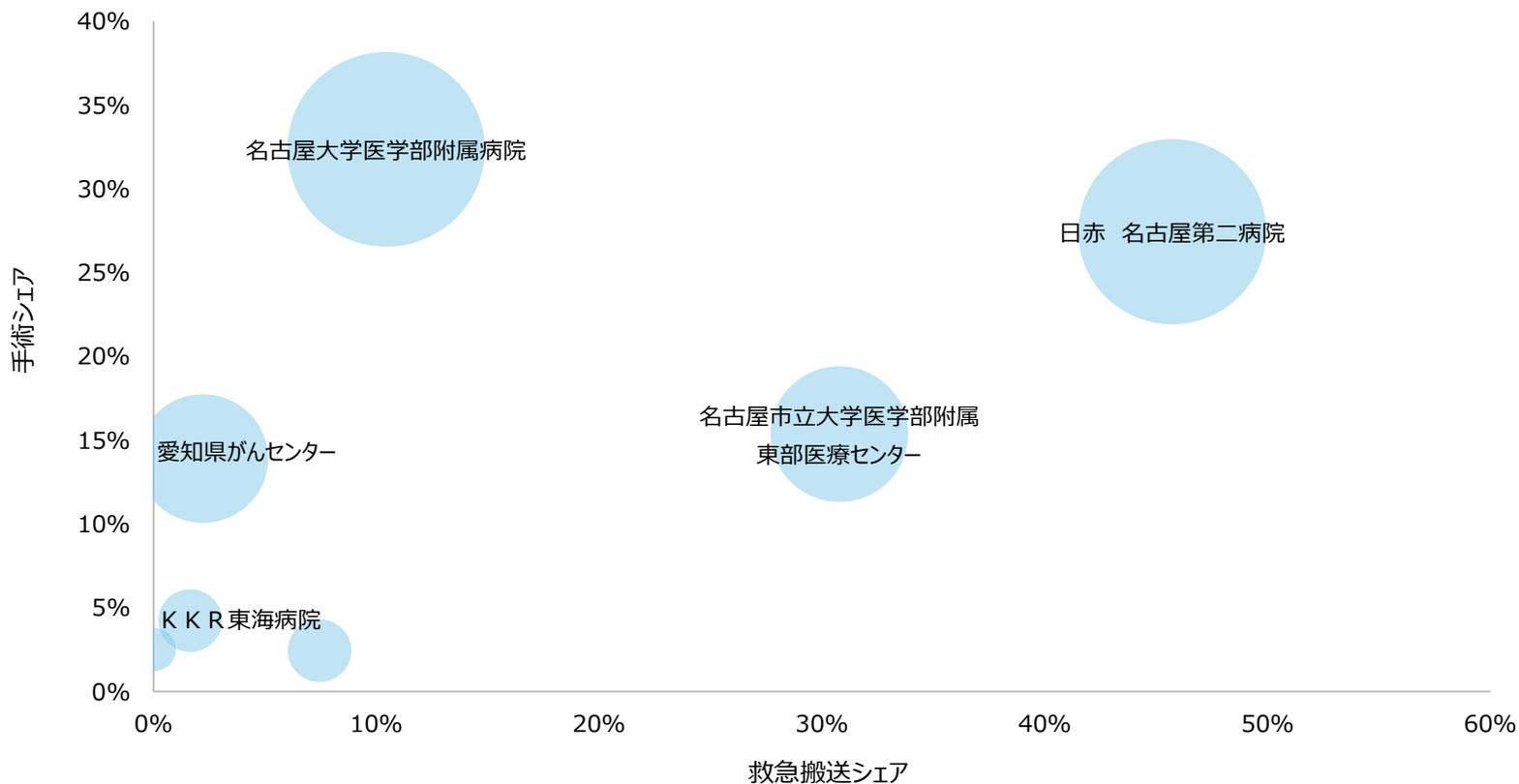
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

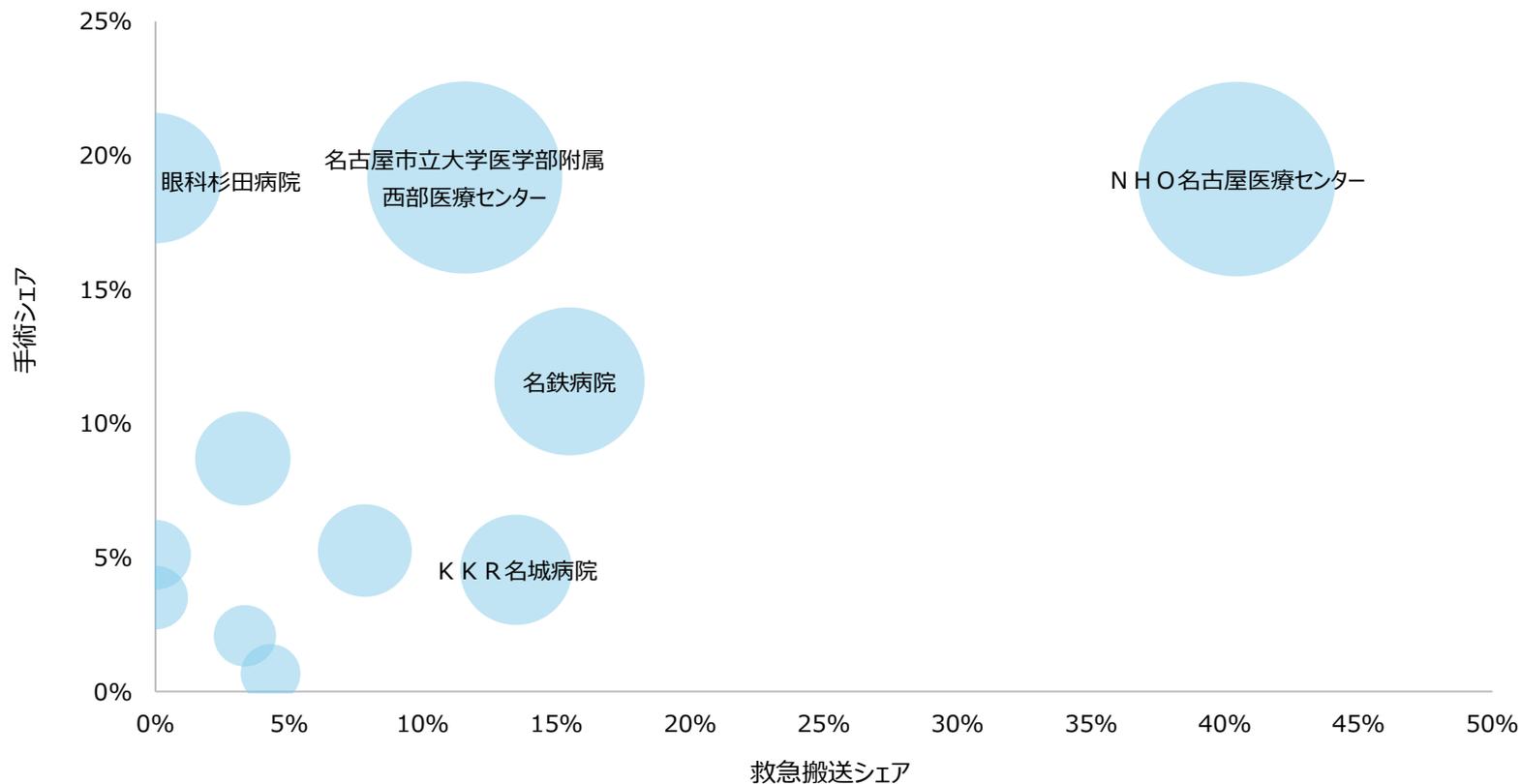
前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

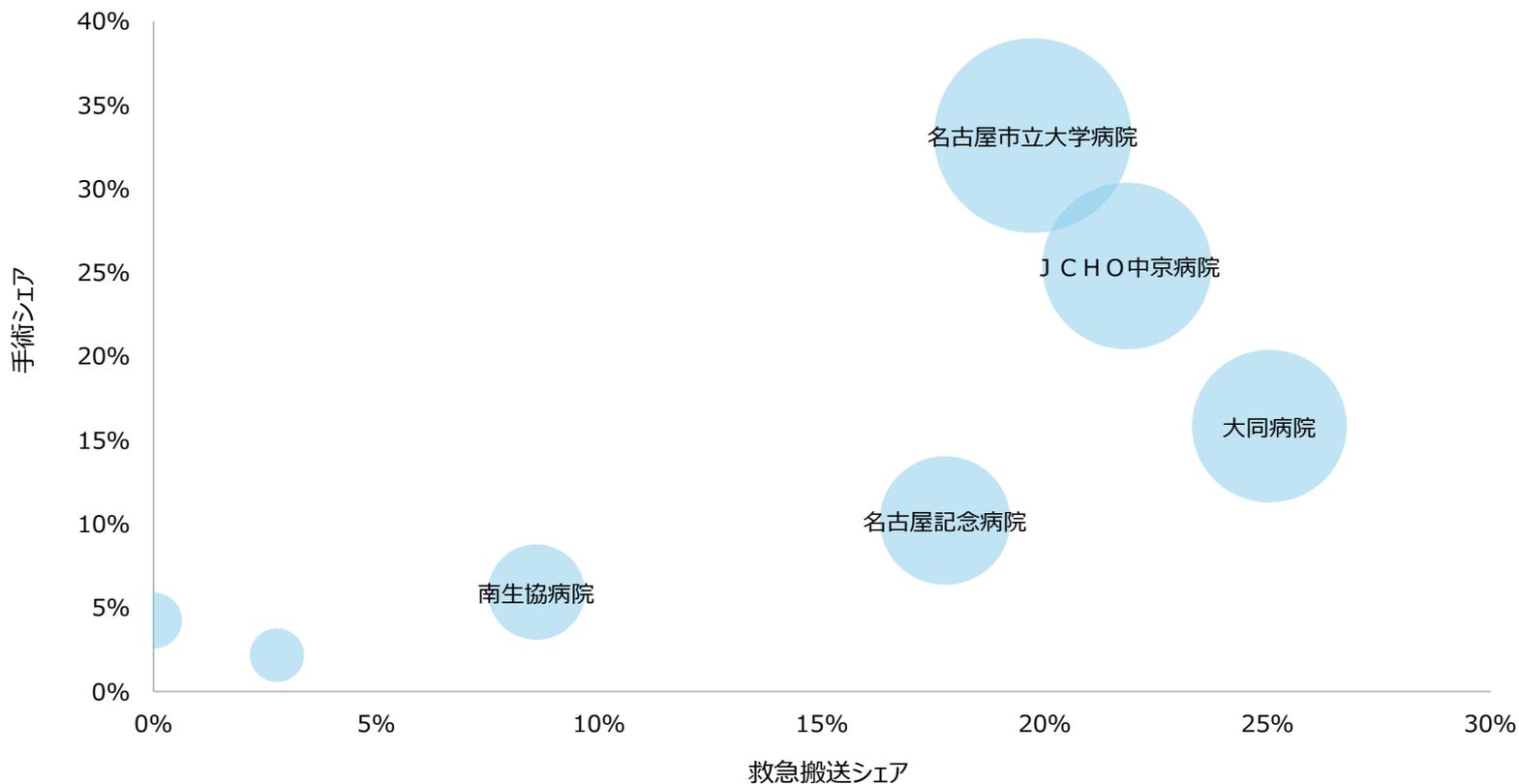
前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

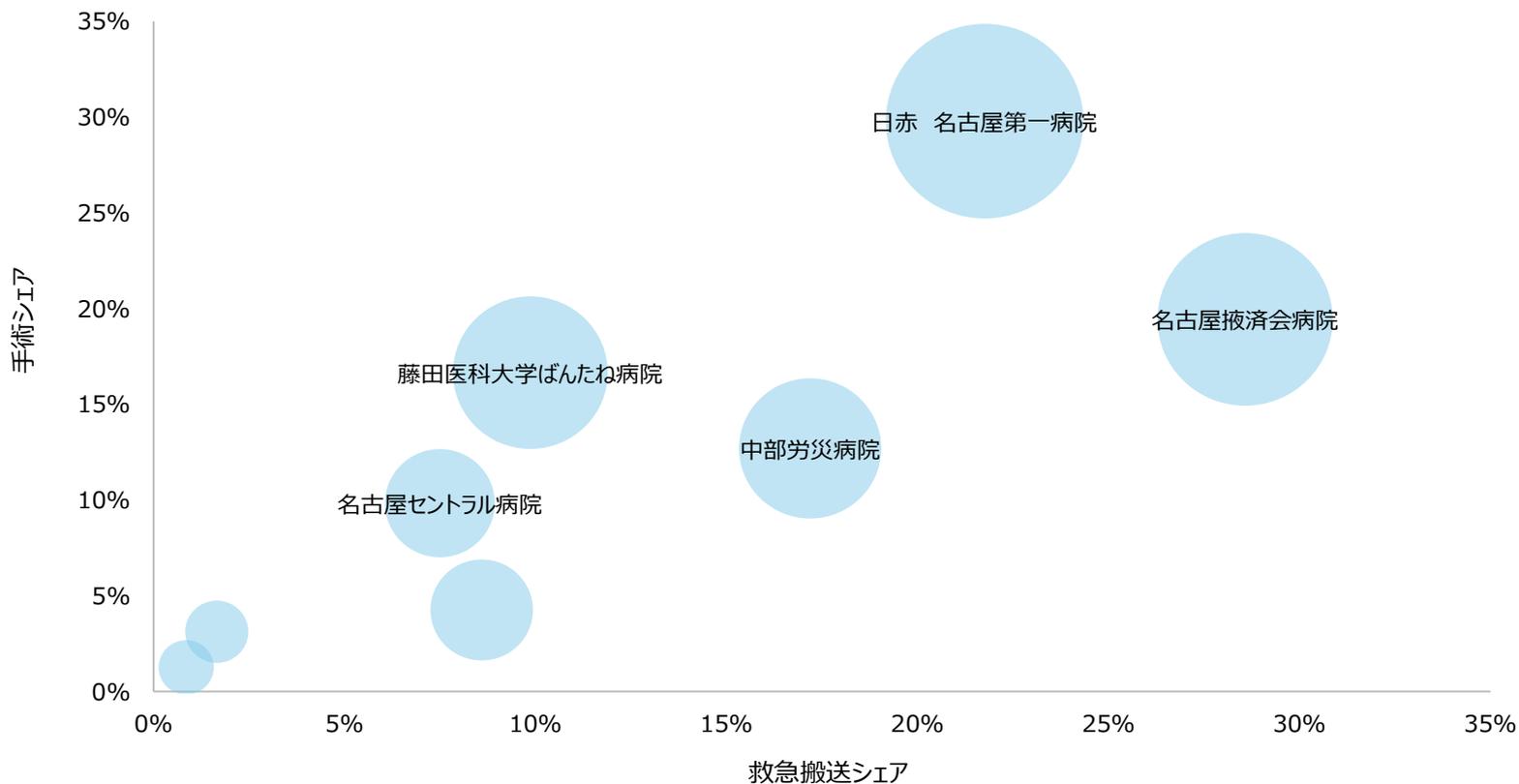
前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

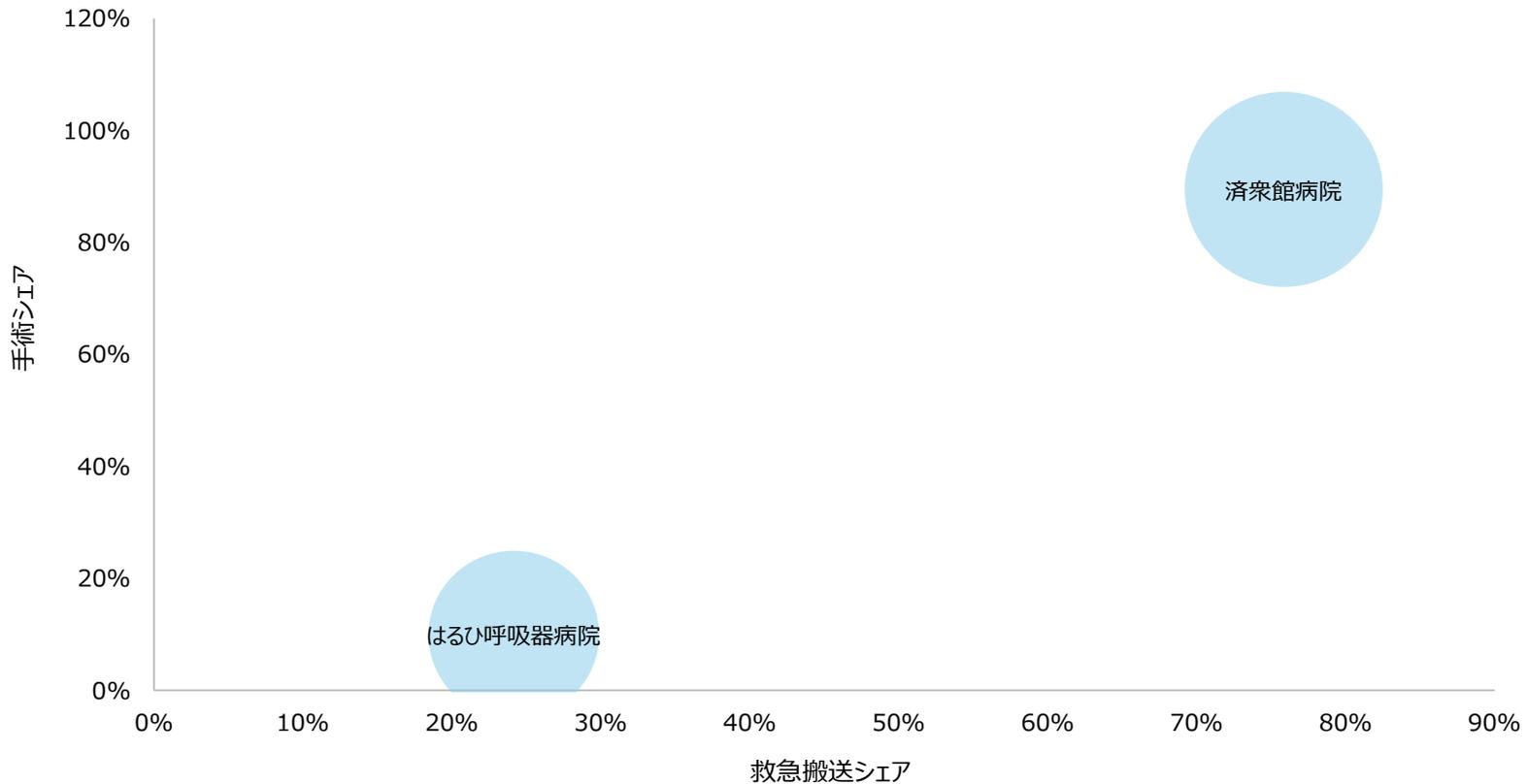
前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

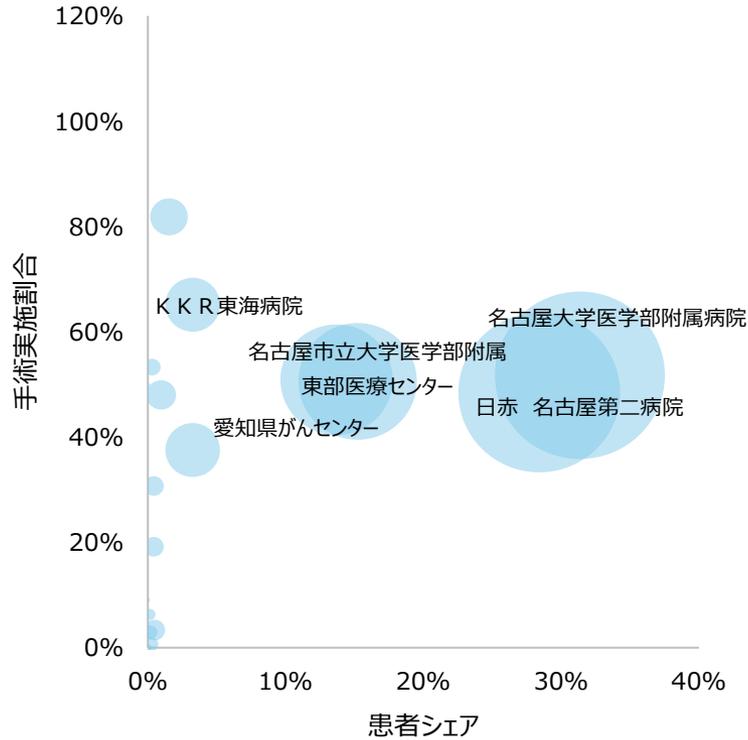


救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

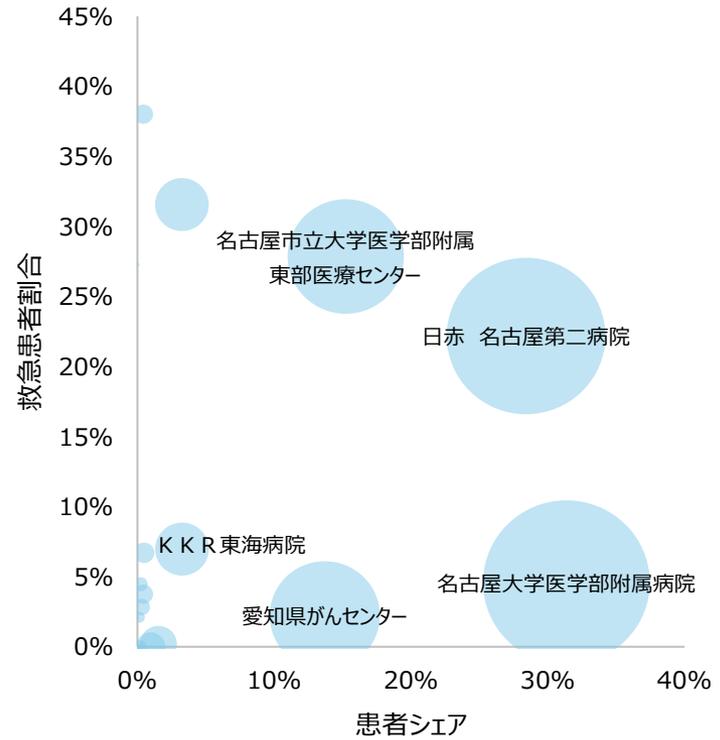
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

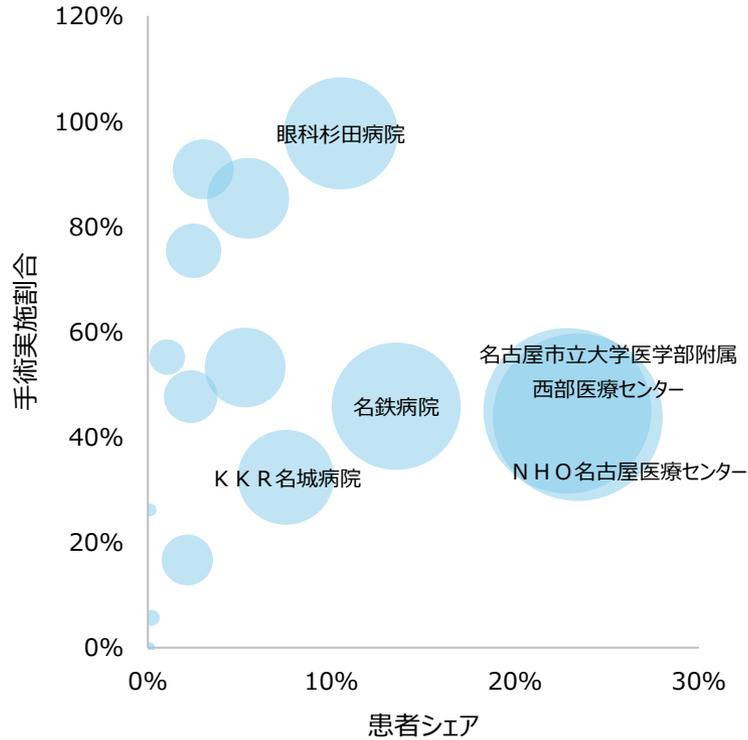


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

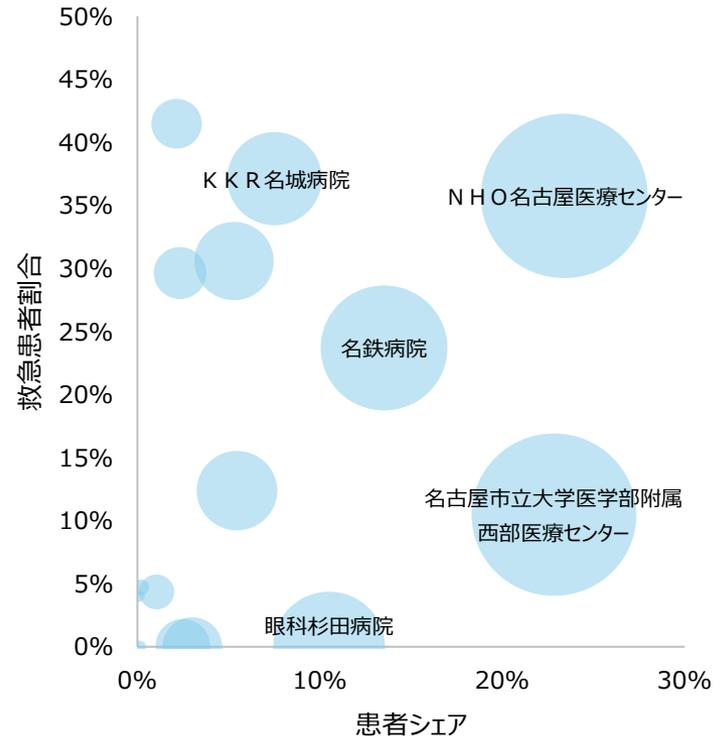
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

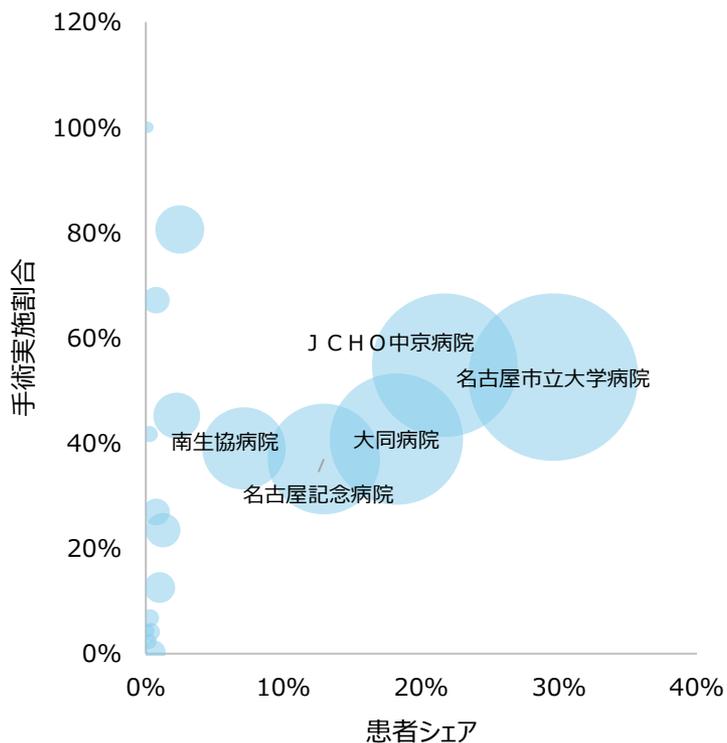


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

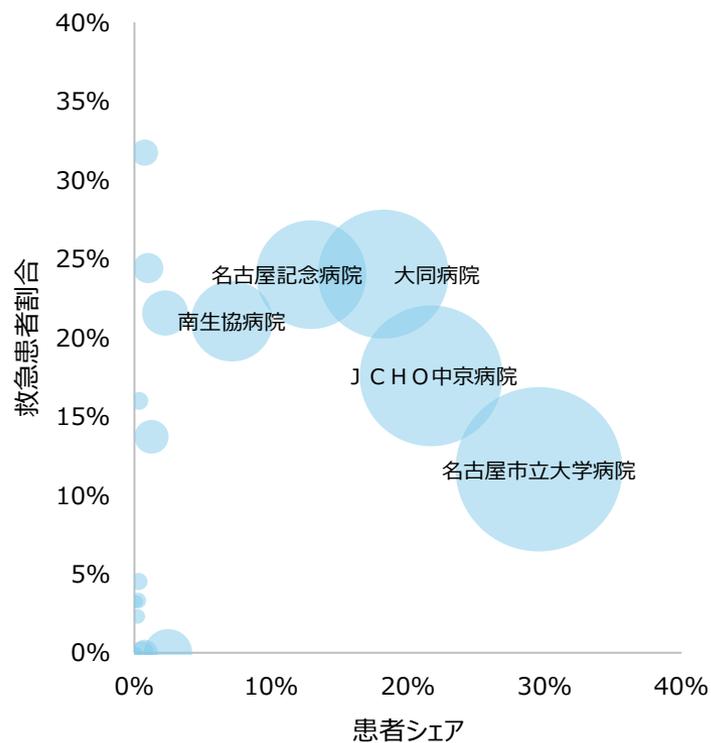
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

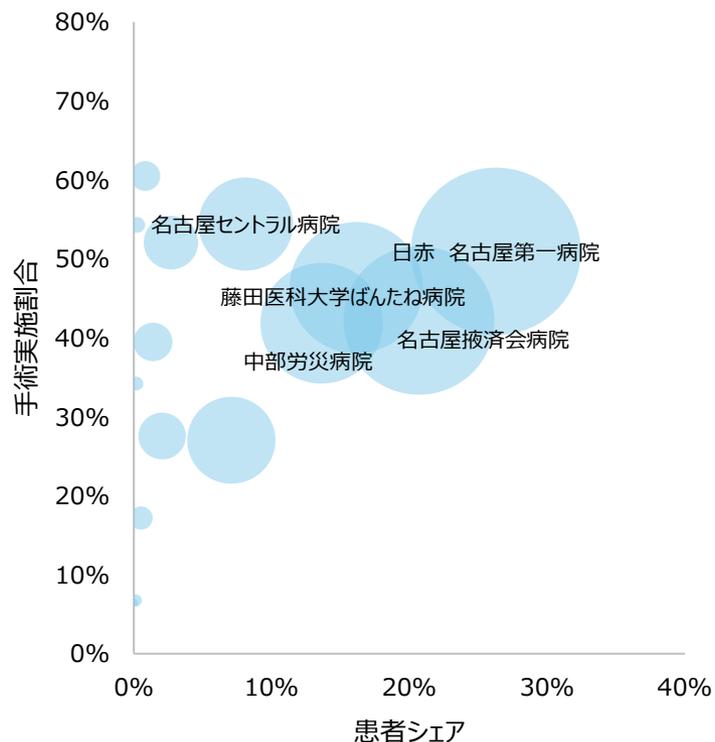


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

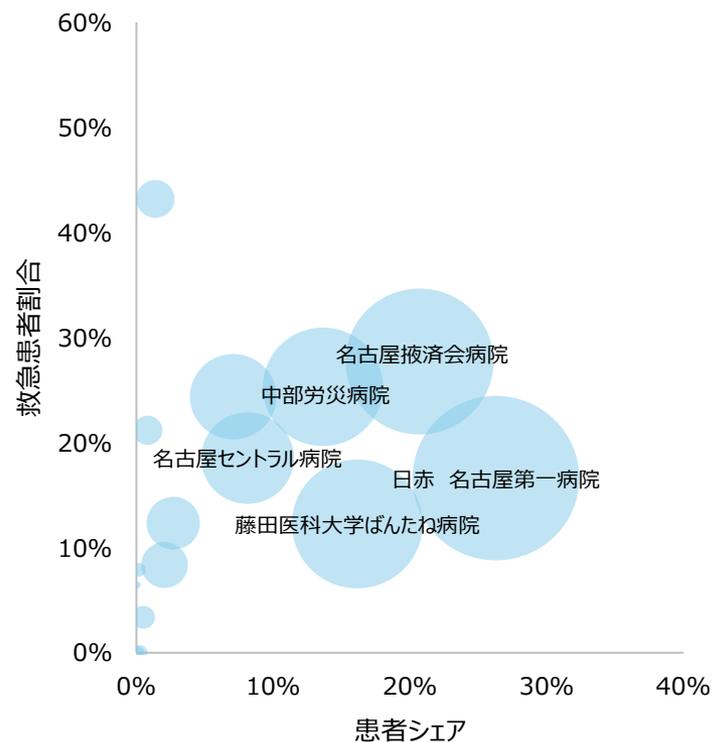
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

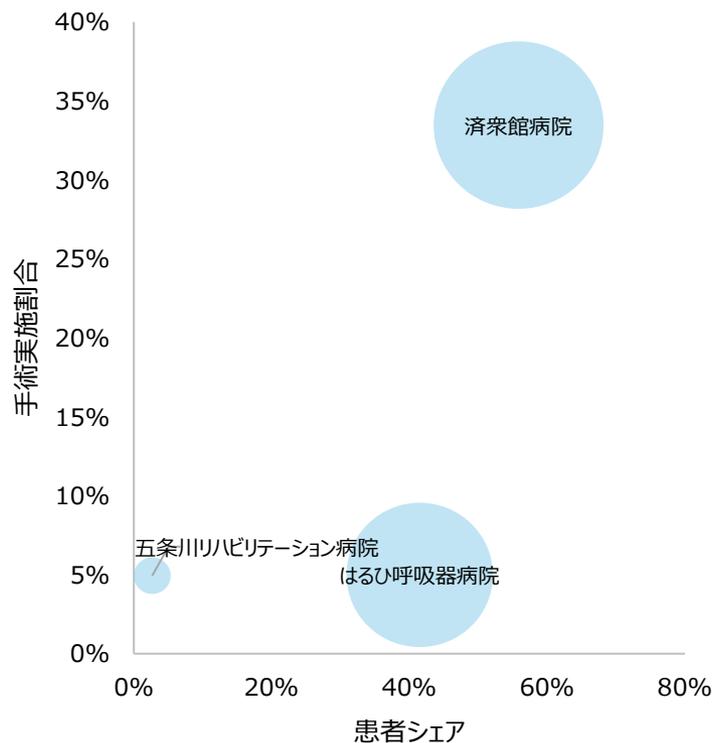


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

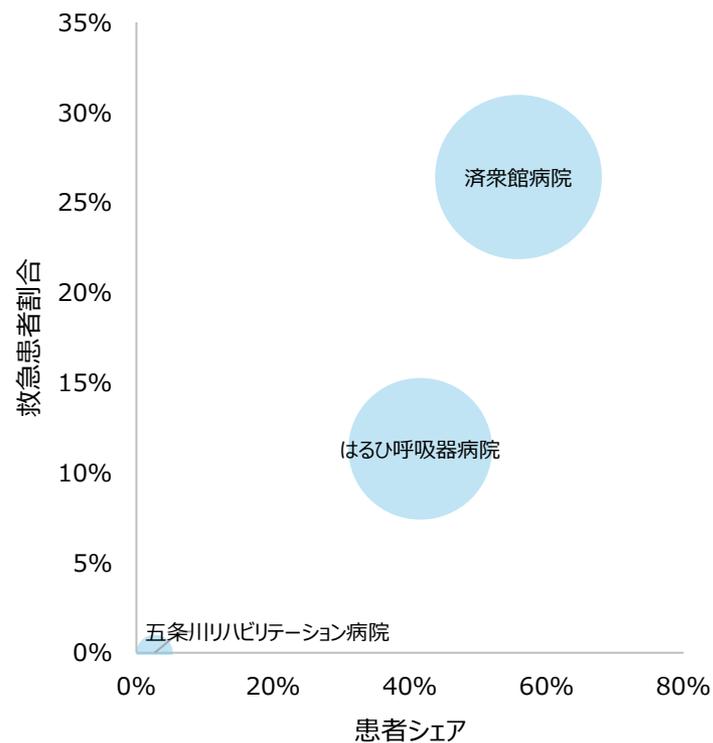
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

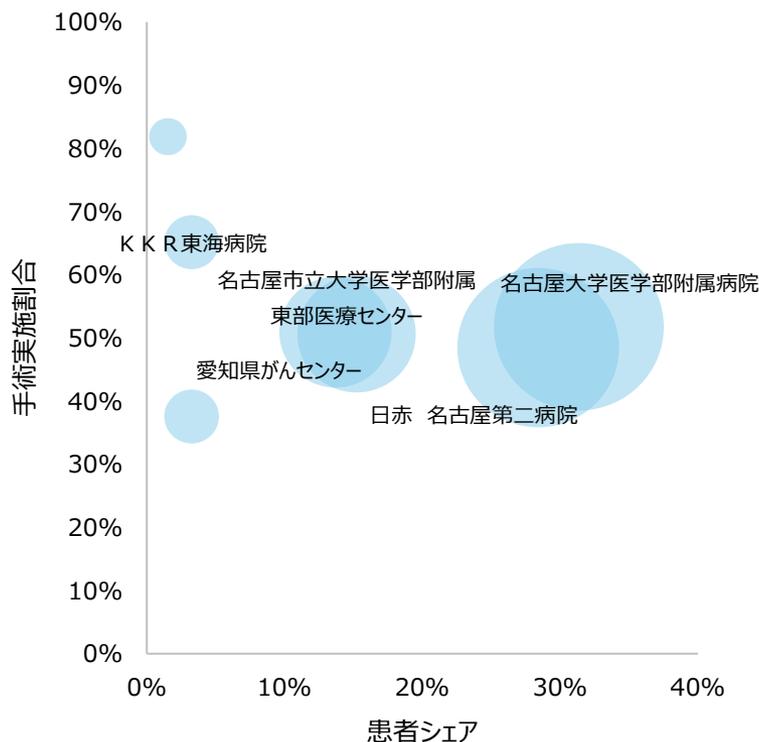


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

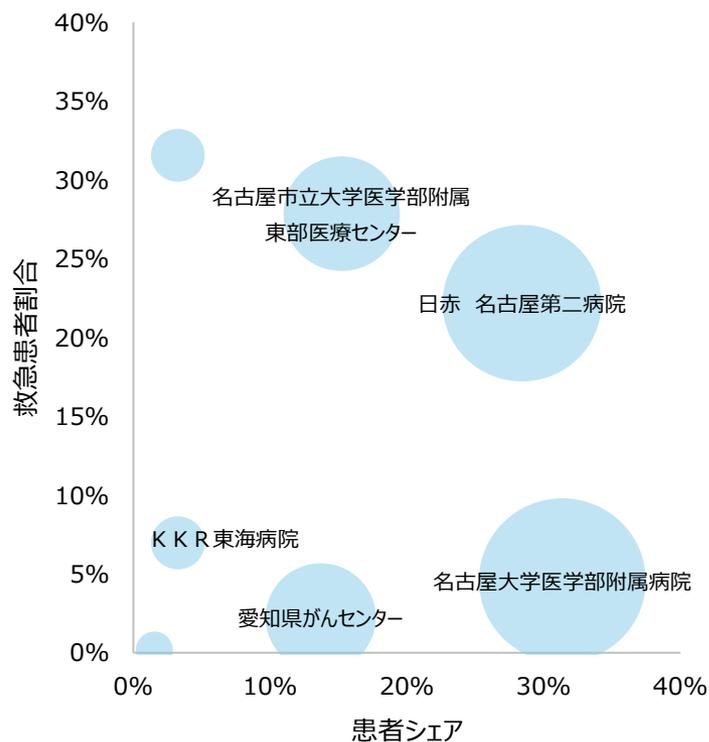
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Aブロック | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア (退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

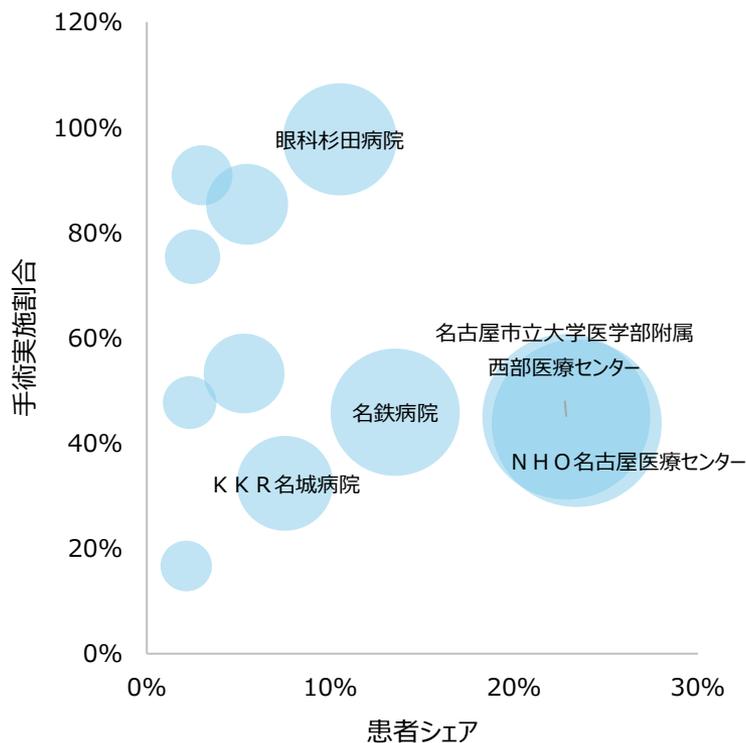


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

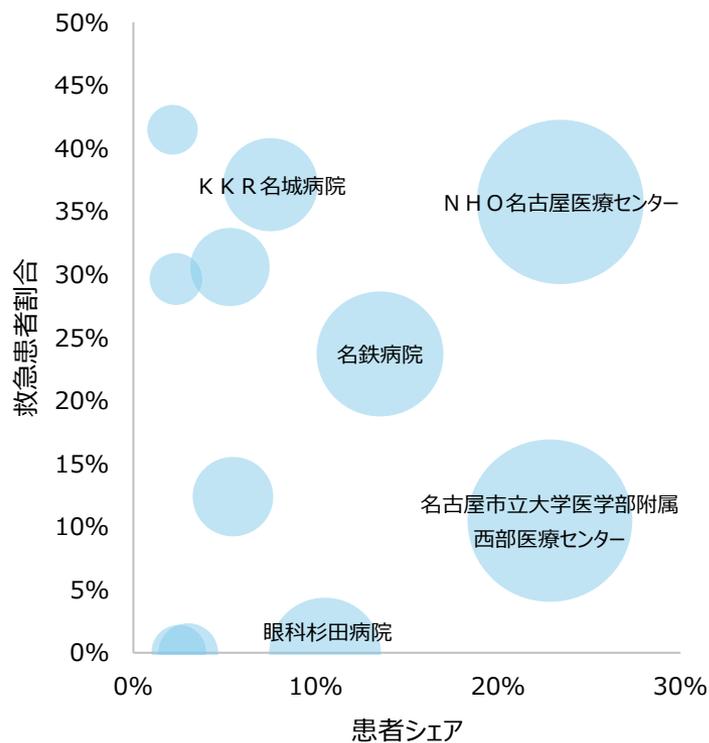
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Bブロック | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア (退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

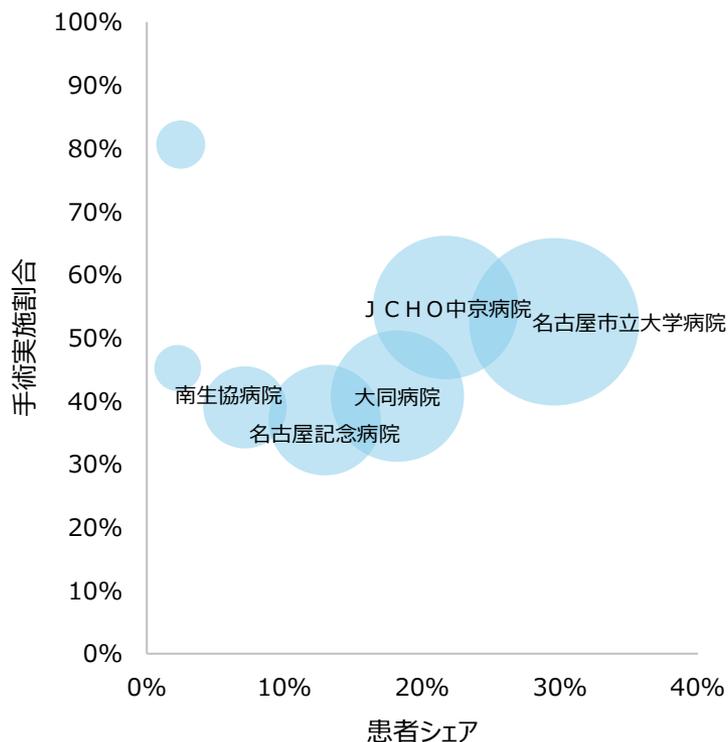


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

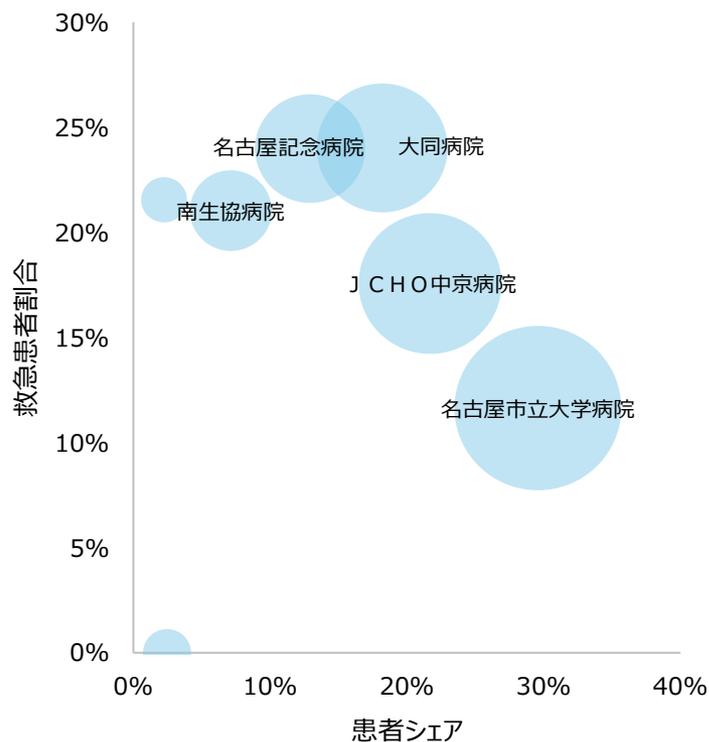
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Cブロック | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア (退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

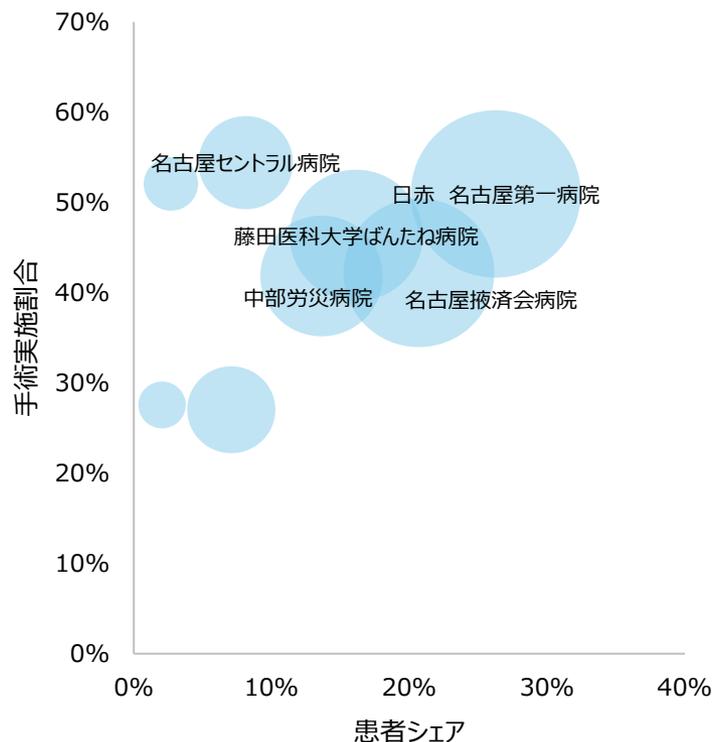


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

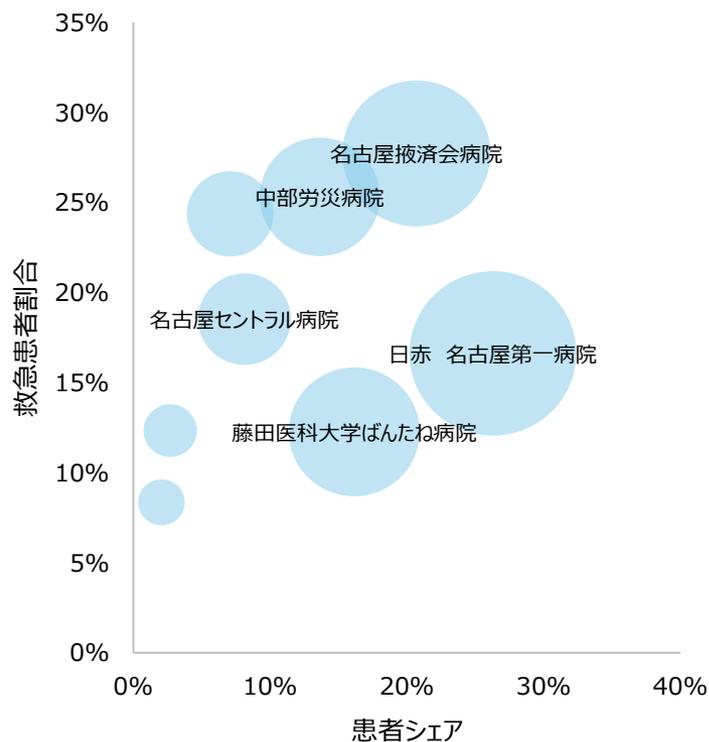
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市Dブロック | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア (退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

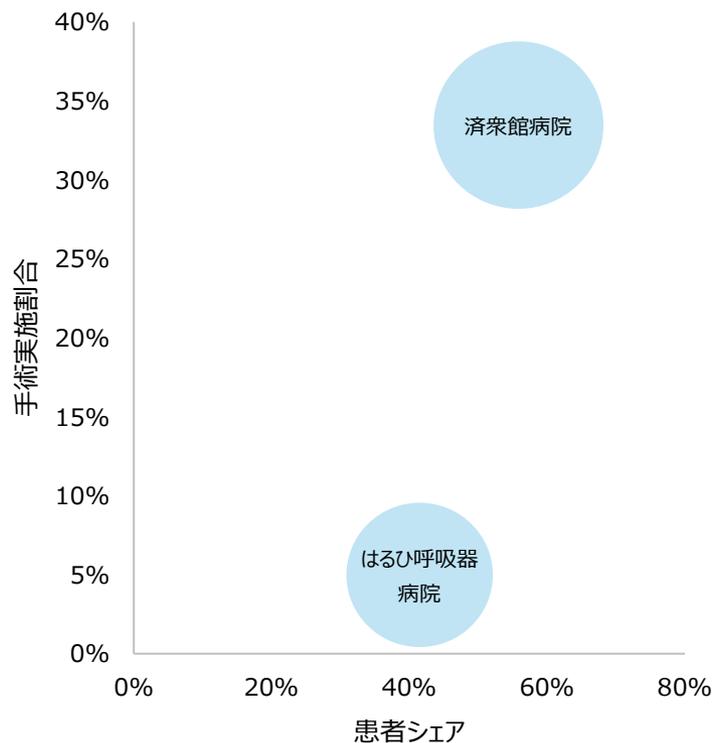


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

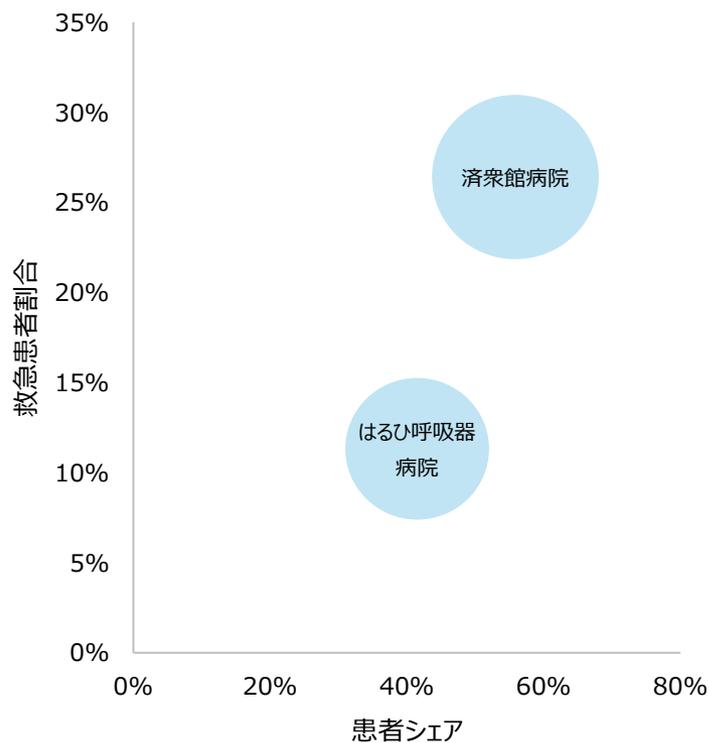
# 名古屋・尾張中部医療圏\_名古屋市以外 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア (退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

### 手術実施割合×患者シェア



### 救急患者割合×患者シェア



手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

# 医療需給総覧

version

1.0

- 本資料は各ページ下部に記載している機関の公表データを用いて、株式会社日本経営が作成した資料です。
- 本資料に提供されている内容は万全を期しておりますが、入手し得る資料および情報に基づいて作成したものであり、その内容の正確性や安全性を保証するものではありません。
- 本資料の使用は自己判断で行っていただくものとし、万一、貴社・貴法人が損害等を被った場合において、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料は、行政・医療機関等における検討・意思決定の目的を含め、転載・引用・配布いただけます（事前連絡不要）。ただし、転載・引用・配布の際は、転載先に本資料名および株式会社日本経営を出典として必ずご明記ください。なお、有償・無償を問わず、本資料の全部または一部を頒布・提供する行為は禁止します。  
記載例「出典元：医療需給総覧 ○○県△△医療圏（株式会社日本経営）」